

金立特別支援学校教室棟整備事業 特記仕様書

I 工事概要

1 工事場所 佐賀市

2 敷地面積 28,238.00㎡

3 地域地区 都市計画区域(○内・外) 準都市計画区域(・内・外) 用途地域等(第二種低層住居専用)○指定なし (・防火地域・準防火地域・法22条区域○指定なし)

4 建物用途 特別支援学校

5 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(m²)	建築面積(m²)	建築基準法別表第1区分	備考
教室棟	S	2	1,033.05	673.10	(三)	

6 工事種目

既存解体工事
教室棟増築工事
外構工事
電気設備工事
機械設備工事

II 建築工事仕様

1 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という)による。

(2) 本工事に電気設備、機械設備工事を含む場合の特記仕様書は別図による。

(3) 受注者は完了検査(中間検査を含む)には、特定行政庁(建築主事)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、ともに適用する。

(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す。

(4) □印は「国等による環境物品等の調達に関する法律(グリーン購入法)」の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品の調達に関する基本方針(令和5年2月版)」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。

(5) 関係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合は、その対応について、監督職員と協議すること。

(6) 形状寸法の単位は、特記無き限りミリメートルとする。

章	項目	特記事項
1	① 適用基準等	◎建築工事標準詳細図(令和4年版) ◎構内舗装・排水設計基準(平成31年版) ・擁壁設計標準図(平成12年版) ・敷地調査共通仕様書(令和4年改定) ◎エネルギーデザイン施設整備基準 (佐賀県福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアル) ◎施設におけるわかりやすいユニバーサルデザインのサイン (佐賀県県土づくり本部建築住宅課発行) ・土木工事等共通仕様書(佐賀県県土整備部) ・建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
	② 発生材の処理	・発注者に引渡しを要するもの(1.3.11) (・金属類・PCB含有物・)
		特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 ◎本工事は特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法第104号。以下「建設リサイクル法」という)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずる。 工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督職員と協議する。

工程ごとの作業内容

工程	作業内容
① 造成等	造成等の工事 ・有 ○無
② 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 ○有 ・無
③ 上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 ○有 ・無
④ 屋根	屋根の工事 ○有 ・無
⑤ 建築設備	建築設備・内装等の工事 ○有 ・無
⑥ その他	その他の工事 () 有 ・無

特定建設資材

廃棄物の種類	施設名称	所在地	搬出距離
○コンクリート塊	鞠丸信開発工業	佐賀市兵庫町大字西洲1674-3	約6km
・アスファルト・コンクリート塊			
・建設発生木材			
・			

・本工事は、建設リサイクル法等の対象工事外であるが分別解体等及び特定建設資材の再資源化等について適切な措置を講ずる。

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議すること。

・再生資源利用計画書および実施書は、建設副産物情報交換システム(コリス)にて作成し提出すること。

特定建設資材以外

廃棄物の種類	施設名称	所在地	搬出距離
・			
・			
・			
・			

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定にあたっては監督職員と協議すること。

③ 品質計画

施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算 (1.1.2)

基準風速(V0) (34) m/s

地表面粗度区分 ・ I ・ II ○III ・ IV

・上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する

・上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する

適用工種 ・ ALCA(外壁、屋根) ・ 押出成形セメント板(外壁)

・ 外壁石張(乾式) ・ 外装材(断熱工法)

・ 長尺金属板葺 ○折板葺

・ アルミ笠木 ・ ガラスブロック

・ シート防水(機械式) ・ 屋上緑化システム

・ ()

④ 設計GL

※図示による ・ 現状地盤の平均高さとし、監督職員の指示による

5 設備工事

の取り合い (1.1.7)

⑥ 材料の品質等

同等以上の材料・機材等の使用 (1.4.2)

本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。

ただし、製造業者が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。

材料・機材等の品質及び性能

本工事に於いて別表-2に示す材料を使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける

1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること

2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること

3) 安定的な供給が可能であること

4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること

5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

6) 販売、保守等の営業体制を整えていること

⑦ 環境への配慮 (1.4.1)

本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする

1) 合板、木質系フローリング、構造用合板、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、UV樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩材、断熱材、塗料、仕上塗材は、70%以上が揮発性有機化合物を含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「揮発性有機化合物の放散量」の区分に応じた材料を使用する

2) 接着剤及び塗料は、揮発性有機化合物の含有量が少ない材料を使用する

3) 接着剤は可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する

4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、揮発性有機化合物、70%以上が揮発性有機化合物を含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする

また、設計図書に規定する「揮発性有機化合物の放散量」は、次の通りとする

規制対象外

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種揮発性有機化合物発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

第三種品

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種揮発性有機化合物発散建築材料

② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣指定含有建材

本工事に使用する材料については、70%以上を含有しないものとする

公共工事の配慮事項

グリーン購入法(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項に留意すること

(基本方針一部抜粋) 2.1. 公共工事の【配慮事項】資材の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること

⑧ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)

○行う ・ 行わない

施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物、ホルムアルデヒド、シリカ、イソシアナート、スチレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。

1) 測定方法 ※バット型採取機器 ・ 70%型採取機器

2) 測定対象室 ※仕上表による ○対象室名(1・2階教室、作業室B、カメライ室、相談室)

3) 測定箇所数 ※仕上表による ○5か所

注) 測定方法は揮発性有機化合物用と、ホルムアルデヒド、シリカ用の2種類を用いる

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法及び新工法は、以下のいずれかによるものとし、監督職員と協議すること

① NETISで認定された工法

② 公的機関の実験等により確認された工法

⑨ 特別な材料の工法及び新工法

⑩ 技能士 (1.5.2)

※本工事に必要な作業及びその作業に従事する職種について適用する。

ただし、これにより難しい場合は監督職員と協議すること。

※技能士の資格を証明する資料を監督職員に提出すること。

適用工事種類	職種	技能検定作業
仮設工事	とび	○とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ クラウド系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○シリコン防水工事作業
木工事	建築大工	○大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	○内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工	○鋼製下地工事作業
左官工事	左官	○左官作業
建具工事	建具製作	・ 木製建具手加工作業 ・ 木製建具機械加工作業
	ガラス施工	○ガラス工事作業
塗装工事	塗装	○建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	○アスファルト系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業
	表装	・ 表具作業 ・ 壁装作業
	畳製作	・ 畳製作作業
排水工事	配管	○建築配管作業
植栽工事	造園	○造園工事作業

⑪ 建設機械等

※建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械等を使用すること

※建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型・低振動型建設機械を使用すること

※建設機械を使用しないときは、エンジンを停止するなど建設機械稼働時間の抑制に努めること

※そのほか土木工事等共通仕様書(佐賀県県土整備部)「第1章第41節 環境対策」による

① 足場その他 (2.2.4)

※設置する足場、作業構台等は、関連工事等の関係者に無償で使用させる

② 監督員事務所 (2.3.1)

・ 設ける ※設けない

面積規模()㎡程度

監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースは間仕切壁等で仕切る

監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート貼り
内壁、天井	合板又は石膏ボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り、調合ペイント塗り

※現場事務所内に監督職員閲覧スペースを設け、施工計画書等を備えること

(現場事務所)

③ 工事用水

構内既存の施設 ※利用できる(※有償・無償) ・ 利用できない

④ 工事用電力

構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償・無償) ※利用できない

⑤ 指定仮設等

指定仮設の範囲(種類、箇所、規格、数量を明示)

※図示

上記に該当しない仮設については、全て任意仮設とし、請負者の創意工夫により施工すること。施工にあたっては、施工計画書に工法・数量等を明示し、監督職員に提出すること。

なお、任意仮設のため、仮設工法の変更に伴う数量変更や工期変更は行わない。

③ 埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)

C種の場合

(発生場所:)

(連絡先:)

(運搬: ・発生原因者側 ・本工事 km)

② 建設発生土の処理

○構外指示の場所

受け入れ施設(真生工業(株))

受け入れ場所での処置(敷きならし ※たい積)

搬出距離(~27) Km

処分費 ○有償 ・無償

上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する

・構内指示の場所 ※図示 ()

・処理方法 (敷きならし ※たい積)

4 5 7

特記仕様書(構造関係による)

4章 地業工事

5章 鉄筋工事

6章 コンクリート工事

7章 鉄骨工事

8 1 補強コンクリート造

ブロックの種類等 (8.2.2~5.8)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・ 空洞ブロックC16	・ 120	※400	※200	・ 無		
・	・ 150	・	・	・ 有		
・	・	・	・	・		

各部配筋 ※図示

モルタルの割合(容積比)

・ 標準仕様書(表8.2.1)による

・ セメント() : 砂()

目地仕上げ

・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ

モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲

・ 図示

2 コンクリート造 壁及び塀

ブロックの種類等 (8.3.2~4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・ 空洞ブロックC16	・ 120	※400	※200	・ 無		
・	・ 150	・	・	・ 有		
・ 空洞ブロック20	・ 120	※400	※200	・ 無		
・	・ 150	・	・	・ 有		

塀の厚さ

塀の高さが2m以下 ・ 120 ・

塀の高さが2mを超え ・ 150 ・

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示

各部の配筋 ※図示

化粧目地の有無 ・ 無 ・ 有

工法

コンクリート造積層壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造垂壁とする

8 3 ALCパネル

ALCパネルの区分等 (8.4.2~5)

区分	単位荷重 (N/m ²)		厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能	構法の種別
	正荷重	負荷重				
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・100	・100	・なし ・1時間	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・100	・100	・なし ・1時間	・C種 ・D種 ・E種
・屋根用	—	—	・100	・100	・30分 ・1時間	・F種
・床用	—	—	・100	・100	・1時間 ・2時間	—

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 ()

外壁、屋根パネルの構造
1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した構造

外壁パネル構造及び間仕切壁パネル構造における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
※ 図示

パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅
・10~20mm

伸縮調整目地への耐火目地材の充填
・適用する ・適用しない

4 押出成形セメント板 (ECP)

パネルの種類 (8.5.2~5)

パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	耐火性能
・外壁パネル	・F	・50	・450	・A種	・30分
	・D	・60	・600	・B種	・1時間
	・T	・100	—	—	・2時間
・間仕切壁パネル	・F	・50	・450	・B種	・30分
	・D	・60	・600	・C種	・1時間
	・T	・100	—	—	・2時間

注) F: フラットパネル、D: デザインパネル、T: タイプスパネル、R: ロック充てん品

外壁、屋根パネルの構造
1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した構造

外壁パネル構造及び間仕切壁パネル構造における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
※ 図示

パネル相互の目地幅 長辺 () mm 短辺 () mm

出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅
※ 15

耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※ パネルの製造所の仕様

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。

	孔あけ及び欠き込みの大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅
	短辺	長辺	
パネルに孔あけを設ける場合	・パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	—	150mm以下
	・500mm以下	—	300mm以下
パネルに欠き込みを設ける場合	・パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	—	300mm以下
	・500mm以下	—	300mm以下

9 1 アスファルト防水

屋根保護防水 (9.2.2~5) (表9.2.3~9)

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレン厚さ0.15mm以上、又は、フラットシート70g/m ² 程度
・B-1 ※B-2 ・			・
・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレン断熱材3種bA (スラン層付)	※フラットシート70g/m ² 程度
・BI-1 ※BI-2		(厚さ) ・25mm ・50mm	・

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
厚さ () mm以上

立上り部への断熱材及び絶縁用シート ・設置しない ・設置する

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下80mm以上
床タイル張り ※水上80mm以上

立上り部の保護
・乾式保護材
窯業系パネルI類 厚さ () mm
幅 () mm
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による
・コンクリート押え
・レンガが押え (・JIS A 1250)
・モルタル押え (屋内等)

屋根露出防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗材	脱気装置
・D-1 ・D-2			(種類) ・製造所の仕様	(種類) ※製造所の指定
・DI-1 ※DI-2		標準仕様書9.2.2(9) (種類) ・製造所の仕様 (厚さ) ※25mm	(使用量) ※製造所の指定	(接地数量) ※製造所の指定

高日射反射率防水の適用 [G] ・適用する ・適用しない

改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7から標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
厚さ () mm以上

絶縁断熱工法の場合の、ルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ 図示

2 改質アスファルトシート防水

屋内防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料
・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1				(種類) ※製造所の仕様 (使用量) ※製造所の仕様
・AS1-T1 ・AS1-J1		標準仕様書9.3.2(3)(イ) (種類) (厚さ) ※25mm ・50mm	・設ける (製造所の仕様) ・設けない	・

高日射反射率防水の適用 [G] ・適用する ・適用しない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
厚さ () mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
厚さ () mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
厚さ () mm以上

押え金物
※7M²鋼製 L-30×15×2.0(mm)程度

絶縁工法及び断熱断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・アスファルトフィング類の製造所の指定
設置数量 ・アスファルトフィング類の製造所の指定

施工標識
※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1~3)

種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材	S-F1 S-M1 S1-F1 S1-M1の仕上塗料
・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3				(種類) ・製造所の仕様 (使用量) ・製造所の仕様
・S1-F1 ・S1-F2			標準仕様書9.4.2(3)(イ)(b) (種類) (厚さ) ※25mm	・
・S1-M1			標準仕様書9.4.2(3)(イ)(a) (種類) (厚さ) ※25mm	・
・S1-M2		・発泡ポリエチレンシート	・	・

高日射反射率防水の適用 [G] ・適用する ・適用しない

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
・非歩行仕様
・軽歩行仕様

S1-M1及びS1-M2における防湿フィルム設置
・設ける
・設けない

S-M2又はS1-M2の立上り部工法
・接着工法 (立上り面のシート厚さ ※1.5mm)
・機械的固定方法

屋内防水

防水層の種類

種別	施工種別	保護層	平場のモルタル塗り厚	立上り部の保護モルタル塗り厚
・S-C1			・	・7mm以下

平場のモルタル塗りにおける床の目地割及び種類
目地割 ・目地割2m程度、最大目地間隔3m程度
目地の種類 ・押し目地

ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類 ・厚さ () mm以上

固定金具の材質及び寸法形状
※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面又は両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上
・ 図示

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ルーフィングシートの製造所の指定
設置数量 ・ルーフィングシートの製造所の指定

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う (・図示)
・行わない

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合)
・行う (・図示)
・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) の風圧力に対応した工法

施工標識
※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

⑨ 4 塗膜防水

防水層の種類 (9.5.3) (表 9.5.1、2)

種別	施工箇所	仕様塗材	保護層
・X-1		種類	※主材料の製造所の仕様
		使用量	※主材料の製造所の仕様
・X-2		種類	※主材料の製造所の仕様
		使用量	※主材料の製造所の仕様
・Y-1	※地下外壁防水		
・Y-2	※屋内防水		・適用する ・適用しない

高日射反射率防水の適用 ・適用する ・適用しない

ケラックム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・主材料の製造所の仕様
設置数量 ・主材料の製造所の仕様

ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2の工程数及び各工程の使用量
・主材料の製造所の仕様

施工標識
・監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

5 ケ酸質系塗布防水

防水層の種類 (9.6.1~4) (表9.6.1)

種別	施工場所	種別	施工箇所
※C-U1		・C-UP	

防水層の下地
壁 (※コンクリート打直し仕上げ(表6.2.4 B種))
天井部 (※コンクリート打直し仕上げ(表6.2.5 B種))

下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。
目地棒除去後、水洗い清掃し、ケ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、セメントを充填する。
・図示

型枠締付け材にコンが使用されている部位及び防水材の塗布面以外の下地処理
・図示

⑥ シーリング

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による (9.7.2) (表 9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
基礎打継、収縮目地	PS-2
既存土間取合部	
面戸廻り	MS-2
捨て笠廻り	

仕上げを行わない施工箇所
・図示

シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による

接着性試験
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

⑦ 保証

※防水工事については、10年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること
・防水工事については、()年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること

10 1 施工 (10.1.3、5)

粗面仕上げの場合のみみ込み部分の仕上げ ・図示

屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ
・行う (適用場所 ・すべて)
・行わない

2 石材等

天然石 (10.2.1、3) (表 10.2.1、2)

施工場所	等級	岩石の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ
	・1等品		※正方形に 近い矩形	・図示	・図示	・粗磨き ・本磨き
	・2等品		・図示			

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・あり ・なし

テラゾロック

施工場所	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示	・粗磨き ・本磨き

テラゾタイル

施工場所	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上げ
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型	

取り付用タイル、既調合の目地タイル、石表面処理材、裏打ち処理材
※石材施工業者の指定する製品

3 外壁湿式工法

石表面処理 ・適用する ・適用しない (10.2.2、3) (10.3.2、3)
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない

下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法
・あと施工アンカー、横筋横流し工法

受金物 材質 ※SUS304
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm

ドレインパイプの材質 ・樹脂製パイプ クロメックス巻き 25~35φ

アッカーの材質及び径 ※SS400 M12

あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

目地
一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書11.1.11による ・図示
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(9)による ・図示

4 内壁空積工法

受金物 材質 ※SUS340
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm

石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない

下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋横流し工法
・あと施工アンカー工法

アッカーの材質及び径 ※SS400 M12

あと施工アッカーの材質及び寸法 ()

目地
一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※6m程度ごと ・図示
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(9)による ・図示

5 外壁乾式工法 (10.2.2) (10.5.2、3) (表10.2.4)

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等
・図示 ・標準仕様書表10.2.4による
(方式 ・スライド方式 ・ロック方式)

石表面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない

だぼ用の穴の位置 ・標準仕様書10.5.2(2)(ア)による
・図示

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
1章 適用区分による風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3)
の風圧力に対応した工法

アッカーの材質及び形状
※ステンレス (SUS304) M10

あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

目地
目地幅(mm) ※8以上

シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9章7節による ・図示)
・適用しない

6 床及び階段の石張り (10.6.2~3)

透水性吸収防水材 床石張り ・適用する ・適用しない
床石張りの裏面処理 床石張り ・適用する ・適用しない
階段張り ・適用する ・適用しない

階段張りの裏面処理 床石張り ・適用する ・適用しない

目地
一般目地 目地幅(mm) 屋外 ・
屋内 ・
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示

7 笠木、甲板等の石張り (10.7.1~3)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法

特殊部位用金物
材質 ・SUS304
寸法等
引金物 ・標準仕様書10.2.2(1)(7)による
だぼ ・標準仕様書10.2.2(1)(7)による
かすがい ・標準仕様書10.2.2(1)(7)による
受金物 ・標準仕様書10.2.2(1)(9)による

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等
アッカー ・図示 ・標準仕様書表10.2.4に準ずる
(方式 ・スライド方式 ・ロック方式)

石表面処理 ・適用する ・適用しない

乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による

石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない

アッカーの材質及び径 ・ステンレス (SUS304) M10

あと施工アッカーの材質及び寸法
種類 ・
材質 ・
寸法 ・

目地 (湿式工法)
一般目地 目地幅(mm) ※6以上
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書11.1.11による ・図示
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(9)による ・図示

目地 (乾式工法)
目地幅(mm) ※8以上
シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9章7節による ・図示)
・適用しない

⑪ 1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示 (11.1.3) (表11.1.1)

目地寸法 ※標準仕様書9.7.3による

② セメント目地によるタイル張り

タイル工事

タイルの形状、寸法等 (11.2.2、3、7)

施工箇所	種類	形状/寸法	吸水率による区分		うわぐすり		役物色		再生材		耐凍耐滑	
			Ⅰ	Ⅱ	有	無	有	無	有	無	有	無
玄関床	JIS A 5029	300角	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・行う ※行わない

見本焼き ・行う ※行わない

下地タイル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法 ・目荒し工法 (高圧洗浄)

壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のエントタイル ・タイル張り ・タイル張り

既製調合タイル
タイル下地としたタイル工事に使用する張付け用タイルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

③ 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.3.2~4、7)

施工箇所	種類	形状/寸法	吸水率による区分		うわぐすり		役物色		再生材		耐凍耐滑	
			Ⅰ	Ⅱ	有	無	有	無	有	無		
1F、2F 男子便所	汚垂石	600×900×t6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・行う ※行わない

見本焼き ・行う ※行わない

接着剤のタイル放散量 ※F☆☆☆☆

目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ケラックム系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※変成シリコン系シーリング材
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材
その他目地 ※変成シリコン系シーリング材

下地調整塗料塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法 ・目荒し工法 (高圧洗浄)

※磁器製 (ノスリップタイル)
(150×60×8)

④ 階段滑り止め

12 木工事	① 表面仕上げ (12.1.4)	表面仕上げの種類別 適用箇所 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種
	② 材料	現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・ B種 保存処理木材 ・ 使用する (仕様樹種 :) 間伐材等 ・ 使用する (仕様樹種 :)
	③ 産地等	○県産木材 ※使用する (仕様樹種 : すぎ) ・ さがの木 ※使用する (仕様樹種 :) ・ 地域材 ※使用する (仕様樹種 : 県産木材以外) ○県産材製材品 (板材) の規格 施工箇所 働き幅×厚さ×長さ 樹種 等級 加工形状 床材 135×20×1,950 すぎ節有り 四面本実 エンドマッチ 内壁材 105×12×1,950 すぎ節有り 本実 小口カット無 105×12×1,950 すぎ節有り 本実 目透し・小口カット無 外壁材 135×20×3,950 すぎ節有り 相決り 小口カット無 135×20×3,950 すぎ節有り 鏝張り 裏加工・小口カット無 (被り20)
	④ 製材	(12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用針葉樹製材 施工箇所 寸法 mm 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ※A種 ・ B種 ※2級 ※A種 ・ B種 ○JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用針葉樹製材 施工箇所 寸法 mm 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・ B種 見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・ B種 ・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 mm 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※1等 ※10%以下 ・ ・
	⑤ 造作用集成材	・ JAS 1083 (製材) 以外の製材 施工箇所 寸法 mm 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 (造作材の場合) ・ 適用する ※A種 ・ A種 ・ B種 ・ B種 ・ ・

6 造作用単板積層材	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 mm 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下
	「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 mm 化粧薄板の厚(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ・化粧薄板 ・芯材 ※15%以下
	・ JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 mm 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り ・天然木加工 ・適用する ・塗装加工 ・適用しない ・無し (等級 :)
	・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 mm 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・有り ・天然木加工 ・適用する ※14%以下 ・塗装加工 ・適用しない ・無し ()
	・ JAS0306に基づく直行集成板 (CLT) 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 樹種 寸法 間伐材等の適用
	・「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 品名 厚さ mm 単板の樹種 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ※5.5 ・しな ・ワン ※1類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上
	「合板の日本農林規格」による構造用合板 施工箇所 厚さ mm 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※12 9 ※2級 以上 ※1類 ・特類 以上
	「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 品名 厚さ mm 単板の樹種 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ・1類 ・適用する ・特類 ・適用しない
	「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 厚さ mm 化粧板に使用する単板の樹種 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ・1類 ・適用する ・2類 ・適用しない
	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 品名 厚さ mm 接着の程度 単板の樹種 化粧加工の方法 防虫処理 ・適用する ・適用しない

8 接合具等	・P-ティクレスト 施工箇所 厚さ mm 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性 ※P又はM 難燃性による区分 ※15 ※1347
	・ JAS 0360に基づく構造用P 施工箇所 品名 寸法 (mm)
	・ MDF 施工箇所 厚さ mm 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 間伐材等の適用
	造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2) ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
	諸金物 ・かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書表12.2.3~5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度) (形状 : 寸法 : 材質 :)
	接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添付 (12.2.2、3) されていないものとする。 ・ JAS 0360 に基づく構造用Pの放散量 ※F☆☆☆☆

9 接着剤	・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1、2) 適用部位 : () ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 K2・K3・K4 ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部位 処理の方法 薬剤の種類 ※標準仕様書12.3.1(f)(b) ・ JIS K 15711に適合又は同等品
	・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理 適用部位 : () ・合板の加圧注入処理の適用 適用部位 : () ・防虫処理 ・行う ・行わない
	11 床板張り 木材 (70-リングは標準仕様書19章5節による) (12.6.1~2) ※県産木材 (板材) ・
12 壁及び天井下地 木材 壁仕上げ ※県産木材 (板材) ・ 図示 (12.7.1~2) 壁仕上げ以外 ※図示	

13 屋根及び土工事	1 長尺金属板葺 施工場所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性 めっき付着量等の種類及び記号 厚さ mm 屋根葺形式 ※ JIS G 3322 の屋根用コイル (GGLCCR-20-AZ150) ・ ・心木なし 瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 下葺材料 ※777アルミ-フィンク 940 ・改質777アルミ-フィンク 下葺材 (・一般タイプ ・複層タイプ ・粘着層タイプ)
	2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2、3) (表 13.2.1) 施工場所 形式 山高、山ピッチ 耐久による区分 材料による区分 厚さ mm 軒先面耐火性能 ・重ね形 80~91 () 種 ※鋼板製 0.6 () 有り ・ 30分 ※はげ縮め形 ・かん合形 無し () 無し
	材料 ※ JIS G 3322 の屋根用コイル (GGLCCR-20-AZ150) ・ () 断熱材 () 有り 種別 : グラスウール 厚さ (mm) : 100 耐火性能 ・無し 40フレームに JIS G 3322 以外の鋼材を直接外気の影響を受けないで屋外で使用する場合は表面処理 (標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種)
	折板のけば納め ※けば納めによる方法 工法 1章 適用区分による風圧力の (() 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) の風圧力に対応した工法 ※留付金具は溶融亜鉛めっき、またはステンレスとする (13.4.2、3)
	3 粘土瓦葺 施工箇所 種類 産地 役物瓦の種類 雪留め瓦 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 ・適用する ・適用しない 椽瓦の防災瓦の使用 ・適用する ・適用しない JIS A 5208に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない 瓦棟木 材質 ・杉 寸法 ・幅21mm×高さ15mm以上 棟補強用心材 材質 ・杉 寸法 ・幅40mm×高さ30 瓦緊結用釘及びねじ 種類 () 径 () 長さ () 棟補強等に使用する金物等 材質 ・スチール製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 ・図示 工法 1章 適用区分による風圧力の (() 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) の風圧力に対応した工法 風耐力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ・図示 瓦棟木の留付け工法 ・図示 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF形用冠伏せ棟 ・のし積み棟
	共通事項

金立特別支援学校教室棟整備事業

特記仕様書 (建築新営) その4

縮尺 A1 : -
A3 : -

設計 令和 年 月 日

佐賀県県土整備部建築住宅課

一級建築士 登録 第 号

図番号 A

⑬ ④ とい

⑤ 保証

⑭ ① ステンレスの表面仕上げ

⑭ ② 7Mn2Al及び7Mn2Al合金の表面処理

⑭ ③ 鉄鋼の亜鉛めっき

⑭ ④ 軽量鉄骨天井下地

⑭ ⑤ 軽量鉄骨壁下地

⑮ ① 珪藻土

⑮ ② 珪藻土

⑮ ③ 珪藻土

⑮ ④ 珪藻土

⑮ ⑤ 珪藻土

⑮ ⑥ 珪藻土

⑮ ⑦ 珪藻土

⑮ ⑧ 珪藻土

⑮ ⑨ 珪藻土

⑮ ⑩ 珪藻土

⑮ ⑪ 珪藻土

⑮ ⑫ 珪藻土

⑮ ⑬ 珪藻土

⑮ ⑭ 珪藻土

⑮ ⑮ 珪藻土

⑮ ⑯ 珪藻土

⑮ ⑰ 珪藻土

⑮ ⑱ 珪藻土

⑮ ⑲ 珪藻土

⑮ ⑳ 珪藻土

⑮ ㉑ 珪藻土

⑮ ㉒ 珪藻土

⑮ ㉓ 珪藻土

⑮ ㉔ 珪藻土

⑮ ㉕ 珪藻土

⑮ ㉖ 珪藻土

⑮ ㉗ 珪藻土

⑮ ㉘ 珪藻土

⑮ ㉙ 珪藻土

⑮ ㉚ 珪藻土

⑮ ㉛ 珪藻土

⑮ ㉜ 珪藻土

⑮ ㉝ 珪藻土

⑮ ㉞ 珪藻土

⑮ ㉟ 珪藻土

⑮ ㊱ 珪藻土

⑮ ㊲ 珪藻土

⑮ ㊳ 珪藻土

⑮ ㊴ 珪藻土

⑮ ㊵ 珪藻土

⑮ ㊶ 珪藻土

⑮ ㊷ 珪藻土

⑮ ㊸ 珪藻土

⑮ ㊹ 珪藻土

⑮ ㊺ 珪藻土

⑮ ㊻ 珪藻土

⑮ ㊼ 珪藻土

⑮ ㊽ 珪藻土

⑮ ㊾ 珪藻土

⑮ ㊿ 珪藻土

⑮ ① 珪藻土

⑮ ② 珪藻土

⑮ ③ 珪藻土

⑮ ④ 珪藻土

⑮ ⑤ 珪藻土

⑮ ⑥ 珪藻土

⑮ ⑦ 珪藻土

⑮ ⑧ 珪藻土

⑮ ⑨ 珪藻土

⑮ ⑩ 珪藻土

⑮ ⑪ 珪藻土

⑮ ⑫ 珪藻土

⑮ ⑬ 珪藻土

⑮ ⑭ 珪藻土

⑮ ⑮ 珪藻土

⑮ ⑯ 珪藻土

⑮ ⑰ 珪藻土

⑮ ⑱ 珪藻土

⑮ ⑲ 珪藻土

⑮ ⑳ 珪藻土

⑮ ㉑ 珪藻土

⑮ ㉒ 珪藻土

⑮ ㉓ 珪藻土

⑮ ㉔ 珪藻土

⑮ ㉕ 珪藻土

⑮ ㉖ 珪藻土

⑮ ㉗ 珪藻土

⑮ ㉘ 珪藻土

⑮ ㉙ 珪藻土

⑮ ㉚ 珪藻土

⑮ ㉛ 珪藻土

⑮ ㉜ 珪藻土

⑮ ㉝ 珪藻土

⑮ ㉞ 珪藻土

⑮ ㉟ 珪藻土

⑮ ㊱ 珪藻土

⑮ ㊲ 珪藻土

⑮ ㊳ 珪藻土

⑮ ㊴ 珪藻土

⑮ ㊵ 珪藻土

⑮ ㊶ 珪藻土

⑮ ㊷ 珪藻土

⑮ ㊸ 珪藻土

⑮ ㊹ 珪藻土

⑮ ㊺ 珪藻土

⑮ ㊻ 珪藻土

⑮ ㊼ 珪藻土

⑮ ㊽ 珪藻土

⑮ ㊾ 珪藻土

⑮ ㊿ 珪藻土

⑯ ① 珪藻土

⑯ ② 珪藻土

⑯ ③ 珪藻土

⑯ ④ 珪藻土

⑯ ⑤ 珪藻土

⑯ ⑥ 珪藻土

⑯ ⑦ 珪藻土

⑯ ⑧ 珪藻土

⑯ ⑨ 珪藻土

⑯ ⑩ 珪藻土

⑯ ⑪ 珪藻土

⑯ ⑫ 珪藻土

⑯ ⑬ 珪藻土

⑯ ⑭ 珪藻土

⑯ ⑮ 珪藻土

⑯ ⑯ 珪藻土

⑯ ⑰ 珪藻土

⑯ ⑱ 珪藻土

⑯ ⑲ 珪藻土

⑯ ⑳ 珪藻土

⑯ ㉑ 珪藻土

⑯ ㉒ 珪藻土

⑯ ㉓ 珪藻土

⑯ ㉔ 珪藻土

⑯ ㉕ 珪藻土

⑯ ㉖ 珪藻土

⑯ ㉗ 珪藻土

⑯ ㉘ 珪藻土

⑯ ㉙ 珪藻土

⑯ ㉚ 珪藻土

⑯ ㉛ 珪藻土

⑯ ㉜ 珪藻土

⑯ ㉝ 珪藻土

⑯ ㉞ 珪藻土

⑯ ㉟ 珪藻土

⑯ ㊱ 珪藻土

⑯ ㊲ 珪藻土

⑯ ㊳ 珪藻土

⑯ ㊴ 珪藻土

⑯ ㊵ 珪藻土

⑯ ㊶ 珪藻土

⑯ ㊷ 珪藻土

⑯ ㊸ 珪藻土

⑯ ㊹ 珪藻土

⑯ ㊺ 珪藻土

⑯ ㊻ 珪藻土

⑯ ㊼ 珪藻土

⑯ ㊽ 珪藻土

⑯ ㊾ 珪藻土

⑯ ㊿ 珪藻土

⑰ ① 珪藻土

⑰ ② 珪藻土

⑰ ③ 珪藻土

⑰ ④ 珪藻土

⑰ ⑤ 珪藻土

⑰ ⑥ 珪藻土

⑰ ⑦ 珪藻土

⑰ ⑧ 珪藻土

⑰ ⑨ 珪藻土

⑰ ⑩ 珪藻土

⑰ ⑪ 珪藻土

⑰ ⑫ 珪藻土

⑰ ⑬ 珪藻土

⑰ ⑭ 珪藻土

⑰ ⑮ 珪藻土

⑰ ⑯ 珪藻土

⑰ ⑰ 珪藻土

⑰ ⑱ 珪藻土

⑰ ⑲ 珪藻土

⑰ ⑳ 珪藻土

⑰ ㉑ 珪藻土

⑰ ㉒ 珪藻土

⑰ ㉓ 珪藻土

⑰ ㉔ 珪藻土

⑰ ㉕ 珪藻土

⑰ ㉖ 珪藻土

⑰ ㉗ 珪藻土

⑰ ㉘ 珪藻土

⑰ ㉙ 珪藻土

⑰ ㉚ 珪藻土

⑰ ㉛ 珪藻土

⑰ ㉜ 珪藻土

⑰ ㉝ 珪藻土

⑰ ㉞ 珪藻土

⑰ ㉟ 珪藻土

⑰ ㊱ 珪藻土

⑰ ㊲ 珪藻土

⑰ ㊳ 珪藻土

⑰ ㊴ 珪藻土

⑰ ㊵ 珪藻土

⑰ ㊶ 珪藻土

⑰ ㊷ 珪藻土

⑰ ㊸ 珪藻土

⑰ ㊹ 珪藻土

⑰ ㊺ 珪藻土

⑰ ㊻ 珪藻土

⑰ ㊼ 珪藻土

⑰ ㊽ 珪藻土

⑰ ㊾ 珪藻土

⑰ ㊿ 珪藻土

15 続き	7	仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料の揮発性有機化合物放散量 ※F☆☆☆☆ (15.6.2)	13	こまい壁塗り	のり ・土壁用ののり ・ふのり ・ごんなんそう ・ ・ ・ ・砂壁用ののり ・ふのり ・ごんなんそう ・ ・合成高分子系混和剤 色土 ・土物仕上げに用いる土色の種類 () ・大津仕上げに用いる土壁の種類 () 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色、製造したもの 下塗りの調合 ・標準仕様書表15.11.2 塗厚 ・標準仕様書表15.11.8による ・建築基準法に基づく耐力壁のある場合 () こまい壁の工程 ・A種 ・B種 ・こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・わりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 ・こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 ちりじゃく ・図示	16	① 防火戸 ② 見本の製作等 ③ 防犯建物部品 ④ 7mm以下製建具	※建具表による (16.1.3) 建具見本の製作 ・行う (建具符号 :) (16.1.4) ・行わない 建具見本製作の目的等 ・ ・ ・ ・ 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号 :) ・行わない ③ 防犯建物部品 ・適用する (※建具表による) (16.1.6) ・適用しない ④ 7mm以下製建具 性能等級 (16.2.2~5) (表16.2.1~2) 外部に面する建具の種別 (コンクリート系下地及び鉄骨下地) ○A種 (建具符号 : ※建具表による) ・B種 (建具符号 : ※建具表による) ・C種 (建具符号 : ※建具表による) 外部に面する建具の種別 (木下地) ・D種 (建具符号 : ※建具表による) ・E種 (建具符号 : ※建具表による) 上記によらない場合 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () (建具符号・建具表による) 防音ドア、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) ○適用しない 断熱ドア、断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) ○適用しない 枠の見込み寸法 ○建具表による ステンレス鋼板 ・SUS304、SUS340J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ・HL 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ※図示 ・水貯め式 ・排水水 工法 水切り板、ぜん板 ※図示 木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する	⑦ 鋼製建具 性能等級 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2) 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号・建具表による) ○適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 (建具符号・建具表による) ・S-5 (建具符号・建具表による) ・S-6 (建具符号・建具表による) 防音ドア、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号・建具表による) ○適用しない 断熱ドア、断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号・建具表による) ○適用しない 耐震ドア ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号・建具表による) ○適用しない 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板 ・SUS304、SUS340J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ・HL 鋼板類の厚さ ・標準仕様書表16.4.2 使用箇所 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ○建具表による 性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号・建具表による) ○適用しない (16.2.2) (16.5.2~4)
	8	ALC等の場合の 下地処理	内壁目地の形状 ※V形目地付き (15.6.4)							
	9	マスキング塗料塗り	種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗り : EP-G ・B種 ・A種) (15.7.2)							
	10	せっこう プラー塗り	下塗り ・既調合プラー (下塗り用) ・現場調合プラー (下塗り用) (15.8.3) 上塗り ・既調合プラー (上塗り用) ・しっくい塗り							
	11	ロッカー吹付け	ロッカーの揮発性有機化合物放散量 ※F☆☆☆☆ (15.12.2、3) 接着剤の揮発性有機化合物放散量 ※F☆☆☆☆ 吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25 色彩 ・着色 ※原色							
	12	しっくい塗り	しっくい ・既調合材料 色しっくい ・適用する ・適用しない ・現場調合材料 下地 ・せっこうボード ・せっこうボード ・モルタル塗り ・木ずり ・こまい土壁 ・下塗りをせっこうプラーとし上塗りに使用する場合 既調合しっくいの調合 ・せっこうボード下地 ・標準仕様書表15.10.1 ・モルタル下地 ・標準仕様書表15.10.2 ・せっこうボード下地 ・製造所の仕様による 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ・木ずり下地 ・標準仕様書表15.10.1 ・せっこうプラー下地、こまい下地 ・標準仕様書表15.10.2 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ・なで切り仕上げ ・パタン仕上げ							

⑧ 続き

鋼板 ※垂鉛めつき鋼板 ・ 鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ ステンレス鋼板
 ステンレス鋼板 ・ SUS304, SUS340J1L, 又はSUS443J1 ・
 ステンレス製のくつずりの仕上げ ○HL

鋼板の厚さ ※標準仕様書表16.5.11による

召合せ、縦小口包み板の材質 ○鋼板 ※ステンレス鋼板

性能等級 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)
 簡易気密型ドアセット
 ・適用する (建具符号 ・ 建具表による)
 ○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性
 ○S-4 (建具符号 ・ 建具表による)
 ・ S-5 (建具符号 ・ 建具表による)
 ・ S-6 (建具符号 ・ 建具表による)

防音ドア、防音サッシ
 ・適用する 遮音性の等級 ()
 (建具符号 ・ 建具表による)
 ○適用しない

断熱ドア、断熱サッシ G
 ・適用する 遮熱性の等級 ()
 (建具符号 ・ 建具表による)
 ○適用しない

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板 ・ SUS304, SUS340J1L, 又はSUS443J1 ・
 ステンレス製のくつずりの仕上げ ・ HL

表面仕上げ ○HL程度 ・ 鏡面仕上げ

ステンレス鋼板の曲げ加工
 ○普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)

10 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率※B種 ・ A種 (16.7.2~4) (表16.7.1)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
 ※F☆☆☆☆

・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量
 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)による

表面材の合板の種類

合板の種類	規格	備考
※普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗 (※ラフ程度) 不透明塗料塗 (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・ 1級 ・ 2級)	
・ 天然木	樹名 ()	
化粧合板 G	接着の程度 (・ 1級 ・ 2級)	
・ 特殊加工	化粧加工の方法 (・ オパールレイ ・ プリント ・ 塗装)	
化粧合板 G	接着の程度 (・ 1級 ・ 2級)	
・ MDF G		

表面板の厚さ ※標準仕様書表16.7.61による

引戸の召合せかまちのいんろう付きの適・適用しない ・ 適用する

・ かまち戸 かまち樹種 ()
 鏡板樹種 ()
 見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による

・ ふすま 張りの種別 (・ I型 ・ II型)
 上張り (押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
 ・ 押入等の裏側は雲花紙程度
 縁仕上 ・ 塗り縁 生地縁 (素地)
 ・ 生地縁 (ケトンリヤ塗装)
 見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による

・ 戸ぶすま (表面材の仕上げ ・ 建具表による)
 (見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による)

・ 紙張り障子 (見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による)

枠、くつずりの材料 ・ 建具表による

⑪ 建具用金物 (16.8.2~4) (表16.8.1)

○マスター ※製作する (※新規 ○既存にあわせる)
 鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き)

※シリンダー錠
 ※レバーハンドル 材質 ※7Mニッケル合金 ・ ステンレス ・ 黄銅
 座金 ※丸座 ・ 長座
 ・ 握り玉 材質 ※ステンレス

○本締り錠 (品質、性能、試験方法) 建築材料等品質性能表による

・ 空錠
 ※レバーハンドル 材質 ※7Mニッケル合金 ・ ステンレス ・ 黄銅
 座金 ※丸座 ・ 長座
 ・ 握り玉 材質 ※ステンレス

・ ゲレン錠
 レバーハンドルの材質 ※垂鉛合金 ・ ステンレス
 製造所 ※図示

・ ビホット錠
 カバー部の材質 ・ 垂鉛合金 ※ステンレス

・ フロア錠 ・ Grade1 ※Grade2
 カバー部の材質 ※ステンレス

・ ビンクローザー (丁番型)
 材質 ・ 鋼 (焼付け塗装)

・ ビンクローザー (ビホット型)
 材質 ・ 鋼 (焼付け塗装)

○ドアローザ - Grade1 ※Grade2
 材質 ※7Mニッケル合金

○押棒、押板
 材質 ○ステンレス ・ 黄銅 ・ 合成樹脂

・ アムストップ
 材質 ・ 鋼 (鉛めつき) ※ステンレス

○戸当り
 材質 ※垂鉛合金程度 ・ ステンレス ・ 黄銅
 あり止め (フカ) 付き ・ 適用する ・ 適用しない

○クレント
 材質 ※建具製造所の仕様による

・ 挿煙ホーラー (※埋込 ・ 露出)

・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3

○引き戸用駆動装置 (16.9.2、3)

性能値
 ※標準仕様書表16.9.11による
 (防錆 ・ 適用しない ○適用する)

・ 以下による
 種類、開閉方式 () 耐電圧 ()
 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) ()
 防錆 () 電源 ()

・ 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
 性能値
 ※標準仕様書表16.9.21による
 (防錆 ・ 適用しない ・ 適用する)

・ 以下による
 耐電圧 () 温度上昇 ()
 耐久性 (サイクル) () 防錆 ()
 電源 ()

・ 引き戸用検出装置
 性能値
 ※標準仕様書表16.9.31による
 (防錆 ・ 適用しない ・ 適用する)

・ 以下による
 放射無線周波数電磁界耐性 ()
 耐電圧 () 防錆 ()
 防滴 () 電源 ()

引き戸用検出装置の種類 ・ 建具表による (表16.9.4)
 タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ
 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・ 大形押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ

凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない

⑫ 自動ドア
開閉装置

⑬ 自閉式上吊り引戸装置

性能 ※標準仕様書表16.10.1による (16.10.3) (表16.10.1)
 ・ 以下による
 手動開き力 ()
 手動閉じ力 ()
 閉じ速度の調整 ()
 制動区間 ()
 開閉繰返し ()
 耐衝撃性 ()

シャッターの種類	耐風圧強度	備考
・ 管理用シャッター	() Pa	※障害物感知装置 (自動閉鎖型)
・ 外壁用防火シャッター	() Pa	※危害防止機構
・ 屋内用防火シャッター		
・ 防煙シャッター		

開閉機能による種類 ※上部電動式 (手動併用)

電動シャッターにおける急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所
 ※図示による

電動式にシャッターにおける障害物感知装置の設置箇所
 ※図示による

屋内用防火シャッターもしくは防煙シャッターにおける危害防止機構
 標準仕様書16.11.2(4)(a)かつ(b)による
 (設置箇所 ・ 建具表による)

リモコンの有無 ・ 無 ・ 有 (・ 建具表による ・ リモコン個数 () 個)

電動式の場合の電源
 ※三相200V 0.75kw以下 (過電流保護装置付)

管理用シャッターのシャッターケース
 ・ 設ける ・ 設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板
 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融垂鉛めつき鋼板及び鋼帯)
 ・ JIS G 3312 (塗装溶融垂鉛めつき鋼板及び鋼帯)
 めっき付着量 ※Z12又はF12

ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のガイド、両掛りに用いるスイッチ類のふたの材質
 ステンレス鋼板 ・ SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1

14 重量シャッター

15 軽量シャッター

開閉方式 (16.12.2~4)
 ※手動式 ・ 上部電動式 (手動併用)

シャッターケース ・ 設ける ・ 設けない

安全装置
 電動シャッターの障害物感知装置
 (設置箇所 ・ 建具表による)

耐風圧強度 () Pa

スラットの材質
 ・ JIS G 3312 (塗装溶融垂鉛めつき鋼板及び鋼帯)
 めっき付着量 (※Z06又はF06)
 ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%7Mニッケル-垂鉛合金めつき鋼板及び鋼帯)
 めっき付着量 (※AZ90)

スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オパールレベリング形

ガイドレール ・ 座板の材質 ・ ステンレス (SUS304)
 ・ 溶融垂鉛めつき鋼板

電動式の場合の危害防止機構 ※有 (障害物感知装置自動閉鎖型)

電動式の場合の電源 ※単相100V (過電流保護装置付)

16 オパールヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	・ 125	※バラス式	・ スタンダード形	・ 溶融垂鉛めつき鋼板
・ アルミタイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ロケット形	※ステンレス鋼板
・ アルミ-ガラスタイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	
	・ 50		・ パーシャル形	

オパールヘッドドアの障害物感知装置
 (設置箇所 ・ 建具表による)

⑰ ガラス (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)

○フロントガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
 ※建具表による

○型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による

○網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
 ※建具表による

・ 合わせガラス
 材料の板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
 ※建具表による
 形状による種類 ・ 平面合わせガラス ・ 曲面合わせガラス
 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
 ・ I類 ・ II類 ・ II-2類 ・ III類

○強化ガラス
 形状による種類及び材料板ガラス種類による名称 ※建具表による
 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ III類

・ 熱線吸収板ガラス
 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・ 建具表による
 性能による種類 ・ 1種 ・ 2種

○複層ガラス
 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
 ○建具表による
 断熱性による区分
 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6
 日射取得性、日射遮蔽性による区分
 ・ G
 ○S
 乾燥気体の種類
 ○空気 ・ アルゴン

・ 熱線反射ガラス
 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
 ・ 建具表による
 日射熱遮蔽性による区分
 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)
 ・ A種 ・ B種
 映像調整 ・ 行わない ・ 行う

・ 倍強度ガラス
 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
 ※建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
7Mニッケル製	※シーリング材 (SR-1) ・ ガラスケット ○「グレイズン」チャンセル形	※建具の製造所の仕様による ・ 図示
銅製及び銅製軽量	※シーリング材 (SR-1) ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示
ステンレス製	※シーリング材 (SR-1) ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示
樹脂製	※シーリング材 (SR-1) ・ ガラスケット ・ 「グレイズン」チャンセル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

18 ガラス用フィルム

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
・ 日射調整フィルム G	・ SC-1	・ SC-2	
・ 低放射フィルム	・ LE	-	
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1	・ GI-2	
・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1	・ GD-2	
・ ガラス貫通防止フィルム	・ DF		

品質はJIS A 5759による

19 衝突防止表示

形状、寸法、材質 ※図示 (20.2.11)

17 カーテンウォール工事	1 取付方法、性能等	<p>取付方法 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドル方式 <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>耐震性能</th> <th>耐風圧性</th> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> <th>耐火性</th> </tr> <tr> <td>水平方向 (kH)</td> <td>垂直方向 (kV)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>・ 30分 ・ 1時間</td> </tr> </table> <p>耐温度差性 ・ 80℃ ・ 70℃ ・ 60℃</p> <p>耐風圧性 1章 適用区分による風圧力の (・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3) の風圧力に対応した工法</p> <p>主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)</p> <table border="1"> <tr> <th>支間距離 (h)</th> <th>耐風圧性能</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>4m以下</td> <td>・ たわみ量が ±(1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること</td> <td>部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。</td> </tr> <tr> <td>4mを超える</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>性能の確認及び判定方法 ・ 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける</p>	耐震性能	耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)												・ 30分 ・ 1時間	支間距離 (h)	耐風圧性能	状態	4m以下	・ たわみ量が ±(1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。	4mを超える																	
	耐震性能	耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性																																								
水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)																																														
						・ 30分 ・ 1時間																																									
支間距離 (h)	耐風圧性能	状態																																													
4m以下	・ たわみ量が ±(1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。																																													
4mを超える																																															
2 鉄筋カーテンウォール	<p>金属材料の種類 (17.2.2~5)</p> <p>※アルミ材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材</p> <p>シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ・ 図示</p> <p>ガラスの取付け材料</p> <table border="1"> <tr> <th>シーリング</th> <th>種類</th> <th>SR-2</th> <th>SR-1</th> </tr> <tr> <td>・ 構造がスケルトン</td> <td>支持方法</td> <td>・ 4辺支持</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>施工箇所</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>材質</td> <td>・ クロコレン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>寸法 (mm)</td> <td>・ H型</td> <td>・ Y型</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス板厚</td> <td>()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>支持枠の厚さ</td> <td>()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ウレタン材の寸法</td> <td>()</td> <td></td> </tr> </table> <p>断熱材 [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 図示</td> </tr> </table> <p>製品の寸法許容差 ・ 標準仕様書表 17.2.11 による</p> <p>見え掛り部の仕上げ アルミ材の場合 規格等 標準仕様書 16.2.31 による 種別 (標準仕様書表 14.2.11 による) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 鋼材及びステンレス鋼材の場合</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォール製造所の仕様による</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差</p> <table border="1"> <tr> <th>目地の幅</th> <th>目地の心の通り</th> <th>目地両側の段差</th> <th>各階の基準墨から各部材までの距離</th> </tr> <tr> <td>・ ±3mm</td> <td>・ 0~2mm</td> <td>・ 0~2mm</td> <td>・ ±3mm</td> </tr> </table> <p>耐火処理 適用部位 ・ 図示 材料、種別 ・ 図示</p>	シーリング	種類	SR-2	SR-1	・ 構造がスケルトン	支持方法	・ 4辺支持			施工箇所	・ 図示			材質	・ クロコレン系			寸法 (mm)	・ H型	・ Y型		ガラス板厚	()			支持枠の厚さ	()			ウレタン材の寸法	()		種類	厚さ (mm)	施工箇所			・ 図示	目地の幅	目地の心の通り	目地両側の段差	各階の基準墨から各部材までの距離	・ ±3mm	・ 0~2mm	・ 0~2mm	・ ±3mm
シーリング	種類	SR-2	SR-1																																												
・ 構造がスケルトン	支持方法	・ 4辺支持																																													
	施工箇所	・ 図示																																													
	材質	・ クロコレン系																																													
	寸法 (mm)	・ H型	・ Y型																																												
	ガラス板厚	()																																													
	支持枠の厚さ	()																																													
	ウレタン材の寸法	()																																													
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																													
		・ 図示																																													
目地の幅	目地の心の通り	目地両側の段差	各階の基準墨から各部材までの距離																																												
・ ±3mm	・ 0~2mm	・ 0~2mm	・ ±3mm																																												

3 PCカーテンウォール	<p>コンクリート (17.3.2~5) (表17.3.1~2)</p> <p>種類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート</p> <p>品質 設計基準強度 Fc ※30N/mm2</p> <p>スランプ ※12cm</p> <p>気乾単位容積質量 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3を超え2.1t/m3以下 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m4以下 単位水量の最大値 ※185kg/m2</p> <p>鉄筋 種類の記号 ※SD295 (・)</p> <p>補強鉄線 径 (mm) ※3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 継目寸法</p> <p>シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等</p> <p>耐火目地材</p> <p>断熱材 [G]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラスの取付け材料</p> <table border="1"> <tr> <th>構造がスケルトン</th> <th>施工箇所</th> <th>図示</th> </tr> <tr> <td></td> <td>材質</td> <td>・ クロコレン系 ・ EPDM系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>寸法 (mm)</td> <td>・ H型 ・ Y型 ・ C型</td> </tr> </table> <p>先付けの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面仕上材 (・ セラミックタイル ・ 石材) ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 大理石 () <p>耐火処理 適用部位 ・ 図示 材料、種別 ・ 図示</p> <p>製品の見え掛り部の寸法許容差</p> <table border="1"> <tr> <th>辺長</th> <th>対角線長の差</th> <th>版厚</th> <th>開口部内法寸法</th> <th>ねじれ、反り</th> <th>曲がり</th> <th>面の凹凸</th> <th>先付け金物の位置</th> </tr> <tr> <td>・ ±3mm</td> <td>・ 0~5mm</td> <td>・ ±2mm</td> <td>・ ±2mm</td> <td>・ 0~5mm</td> <td>・ 0~3mm</td> <td>・ 0~3mm</td> <td>・ 0~5mm</td> </tr> </table> <p>PCカーテンウォールの仕上げ</p> <p>構造がスケルトンを用いる場合のアンカ溝の寸法及び寸法許容差 (mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>図示</th> </tr> </table> <p>配筋 ・ 図示</p> <p>躯体付金物の取付け位置の寸法許容差</p> <table border="1"> <tr> <th>鉛直方向</th> <th>水平方向</th> </tr> <tr> <td>・ ±10mm</td> <td>・ ±25mm</td> </tr> </table> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差</p> <table border="1"> <tr> <th>目地の幅</th> <th>目地の心の通り</th> <th>目地両側の段差</th> </tr> <tr> <td>・ ±5mm</td> <td>・ ±0~3mm</td> <td>・ 0~4mm</td> </tr> </table> <p>各階の基準墨から各部材までの距離 ・ ±5mm</p> <p>ガラスの取付け方法 ・ ガラスの取付け材が構造用ガラス等で使用する場合は、排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う</p>	種類	厚さ (mm)	施工箇所				構造がスケルトン	施工箇所	図示		材質	・ クロコレン系 ・ EPDM系		寸法 (mm)	・ H型 ・ Y型 ・ C型	辺長	対角線長の差	版厚	開口部内法寸法	ねじれ、反り	曲がり	面の凹凸	先付け金物の位置	・ ±3mm	・ 0~5mm	・ ±2mm	・ ±2mm	・ 0~5mm	・ 0~3mm	・ 0~3mm	・ 0~5mm	図示	鉛直方向	水平方向	・ ±10mm	・ ±25mm	目地の幅	目地の心の通り	目地両側の段差	・ ±5mm	・ ±0~3mm	・ 0~4mm
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																									
構造がスケルトン	施工箇所	図示																																									
	材質	・ クロコレン系 ・ EPDM系																																									
	寸法 (mm)	・ H型 ・ Y型 ・ C型																																									
辺長	対角線長の差	版厚	開口部内法寸法	ねじれ、反り	曲がり	面の凹凸	先付け金物の位置																																				
・ ±3mm	・ 0~5mm	・ ±2mm	・ ±2mm	・ 0~5mm	・ 0~3mm	・ 0~3mm	・ 0~5mm																																				
図示																																											
鉛直方向	水平方向																																										
・ ±10mm	・ ±25mm																																										
目地の幅	目地の心の通り	目地両側の段差																																									
・ ±5mm	・ ±0~3mm	・ 0~4mm																																									

18 塗装工事	① 材料	<p>内部に使用する塗料は、原則水性系のもとする (18.1.3)</p> <p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (箇所 :)</p>																													
	② 素地ごしらえ	<p>(18.2.2~7)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・ B種 透明塗りの場合 ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DPのみ)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>珪藻土面及びせつこうアスター面</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DPのみ)</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面</td> <td>目地：継目処理工法 ※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>及びその他ボード面</td> <td>目地：継目処理工法以外 ※B種 ・ A種</td> </tr> </table>	下地面等	種別	木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・ B種 透明塗りの場合 ※B種 ・ A種	鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・ A種 ・ B種	鉄鋼面 (DPのみ)	・ A種 ・ B種 ・ C種	垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	珪藻土面及びせつこうアスター面	※B種 ・ A種	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※B種 ・ A種	押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種	コンクリート面 (DPのみ)	・ A種 ・ B種	せつこうボード面	目地：継目処理工法 ※A種 ・ B種	及びその他ボード面	目地：継目処理工法以外 ※B種 ・ A種							
下地面等	種別																														
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・ B種 透明塗りの場合 ※B種 ・ A種																														
鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・ A種 ・ B種																														
鉄鋼面 (DPのみ)	・ A種 ・ B種 ・ C種																														
垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																														
珪藻土面及びせつこうアスター面	※B種 ・ A種																														
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※B種 ・ A種																														
押出成形セメント板面	・ A種 ・ B種																														
コンクリート面 (DPのみ)	・ A種 ・ B種																														
せつこうボード面	目地：継目処理工法 ※A種 ・ B種																														
及びその他ボード面	目地：継目処理工法以外 ※B種 ・ A種																														
③ 錆止め塗料塗り	<p>(18.3.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>工程の種類</th> <th>塗料の種類</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 SOP</td> <td>見え掛け部分 ※A種 ・ B種 見え隠れ部分 ※B種 ・ A種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>標準仕様書表 18.3.3 C種及びD種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>見え掛け部分 ※A種 ・ B種 見え隠れ部分 ※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛</td> <td>SOP 鋼製建具 ※A種 ・ B種 めっき 鋼製建具以外 ※B種 ・ A種</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鋼面</td> <td>DP - 標準仕様書表 18.3.3 B種 EP-G 鋼製建具 ※A種 ・ B種 鋼製建具以外 ※B種 ・ A種</td> <td>C種</td> </tr> </table>	下地面等	工程の種類	塗料の種類	鉄鋼面 SOP	見え掛け部分 ※A種 ・ B種 見え隠れ部分 ※B種 ・ A種	A種	DP	標準仕様書表 18.3.3 C種及びD種		EP-G	見え掛け部分 ※A種 ・ B種 見え隠れ部分 ※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	垂鉛	SOP 鋼製建具 ※A種 ・ B種 めっき 鋼製建具以外 ※B種 ・ A種	※A種 ・ B種	鋼面	DP - 標準仕様書表 18.3.3 B種 EP-G 鋼製建具 ※A種 ・ B種 鋼製建具以外 ※B種 ・ A種	C種												
下地面等	工程の種類	塗料の種類																													
鉄鋼面 SOP	見え掛け部分 ※A種 ・ B種 見え隠れ部分 ※B種 ・ A種	A種																													
DP	標準仕様書表 18.3.3 C種及びD種																														
EP-G	見え掛け部分 ※A種 ・ B種 見え隠れ部分 ※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																													
垂鉛	SOP 鋼製建具 ※A種 ・ B種 めっき 鋼製建具以外 ※B種 ・ A種	※A種 ・ B種																													
鋼面	DP - 標準仕様書表 18.3.3 B種 EP-G 鋼製建具 ※A種 ・ B種 鋼製建具以外 ※B種 ・ A種	C種																													
④ 塗装	<p>(18.4.2~18.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> </tr> <tr> <td>合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外 ※A種 ・ B種 木部屋内 ※B種 ・ A種 鉄鋼面 ※B種 ・ A種 垂鉛めっき鋼面 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリアッカー (CL)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 - 垂鉛めっき鋼面 -</td> <td>上塗り等級 () 級</td> </tr> <tr> <td>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面 ※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ウレタン樹脂ニス塗り (UC)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ステイン塗り</td> <td>・ ビンステイン塗り ・ オイルステイン塗り (OS)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>高日射反射率塗料 [G] ・ 適用する (屋上又は屋根面の金属面) ⊖ 適用しない 屋根用高日射反射率塗料 (JIS K 5675) 種類 ・ 2種 等級 () 級 塗付け量 (kg/m²) ・ 塗料製造所の仕様による</p> <p>クリアッカー塗り (CL) A種の工程2の適用 ・ 適用する (着色剤 ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) ⊖ 適用しない</p> <p>ウレタン樹脂ニス塗り (UC) の工程1の適用 ・ 適用する ⊖ 適用しない</p> <p>オイルステイン塗りの工程等</p>	塗装	種別	塗料の種類	合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外 ※A種 ・ B種 木部屋内 ※B種 ・ A種 鉄鋼面 ※B種 ・ A種 垂鉛めっき鋼面 -		クリアッカー (CL)	※B種 ・ A種	-	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	※B種 ・ A種	-	耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 - 垂鉛めっき鋼面 -	上塗り等級 () 級	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面 ※B種 ・ A種	-	合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B種 ・ A種	-	ウレタン樹脂ニス塗り (UC)	※B種 ・ A種	-	ステイン塗り	・ ビンステイン塗り ・ オイルステイン塗り (OS)	-	木材保護塗料塗り (WP)	※B種 ・ A種	-
塗装	種別	塗料の種類																													
合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外 ※A種 ・ B種 木部屋内 ※B種 ・ A種 鉄鋼面 ※B種 ・ A種 垂鉛めっき鋼面 -																														
クリアッカー (CL)	※B種 ・ A種	-																													
アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	※B種 ・ A種	-																													
耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 - 垂鉛めっき鋼面 -	上塗り等級 () 級																													
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面 ※B種 ・ A種	-																													
合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B種 ・ A種	-																													
ウレタン樹脂ニス塗り (UC)	※B種 ・ A種	-																													
ステイン塗り	・ ビンステイン塗り ・ オイルステイン塗り (OS)	-																													
木材保護塗料塗り (WP)	※B種 ・ A種	-																													
5 ファ素樹脂塗装	<p>打放しコンクリート面保護工法 (下塗材) 水性 浸透性吸水防止材 (上塗材) ・ 水性ファ素樹脂グラー ・ 水性ファ素樹脂グラー-クリアー</p>																														
6 焼付塗装	<table border="1"> <tr> <th>素材</th> <th>焼付種別</th> <th>仕上げ</th> <th>コート</th> <th>ペーキング</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>・ アルミ材</td> <td>・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂</td> <td>・ ソリッド ・ メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス</td> <td>・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂</td> <td>・ ソリッド ・ メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 垂鉛めっき鋼板</td> <td>・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂</td> <td>・ ソリッド ・ メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	素材	焼付種別	仕上げ	コート	ペーキング	部位	・ アルミ材	・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック				・ ステンレス	・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック				・ 垂鉛めっき鋼板	・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック									
素材	焼付種別	仕上げ	コート	ペーキング	部位																										
・ アルミ材	・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック																													
・ ステンレス	・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック																													
・ 垂鉛めっき鋼板	・ ファ素樹脂 ・ ウレタン樹脂 ・ アクリル樹脂	・ ソリッド ・ メタリック																													

19 内装工事	① 接着剤	<p>ビニルシート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) ※F☆☆☆☆</p> <p>接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする</p> <p>施行箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示</p>																																									
	2 下地の工法	<p>標準仕様書 19.2.3 (7)~(9) 以外の下地の工法 (19.2.3) ・ 図示</p>																																									
③ ビニル床シート [G]	<p>(19.2.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>○ 無地 ○ マーブル柄 ○ 柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ・ 熱溶接工法</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	○ 無地 ○ マーブル柄 ○ 柄物	※2.0																																			
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																								
※FS (複層ビニル床シート)	○ 無地 ○ マーブル柄 ○ 柄物	※2.0																																									
4 ビニル床タイル [G]	<p>(19.2.2、3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 300 × 300</td> <td>※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>・ 柄物</td> <td>・ 450 × 450</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※KT (コンポジションビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 500 × 500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOB (置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ (mm)	備考	・ TT (単層ビニル床タイル)	・ 無地	・ 300 × 300	※2		・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 柄物	・ 450 × 450			※KT (コンポジションビニル床タイル)		・ 500 × 500			・ FOA (置敷きビニル床タイル)					・ FOB (置敷きビニル床タイル)																
種類の記号	色柄	寸法	厚さ (mm)	備考																																							
・ TT (単層ビニル床タイル)	・ 無地	・ 300 × 300	※2																																								
・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 柄物	・ 450 × 450																																									
※KT (コンポジションビニル床タイル)		・ 500 × 500																																									
・ FOA (置敷きビニル床タイル)																																											
・ FOB (置敷きビニル床タイル)																																											
⑤ 特殊機能床材	<p>(19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>寸法</th> <th>性能</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 帯電防止床シート ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 帯電防止床タイル ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 視覚障害者用床タイル ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐動荷重性床シート ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 防滑性床シート ()</td> <td>○ 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防滑性床タイル ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	厚さ (mm)	寸法	性能	形状	備考	・ 帯電防止床シート ()						・ 帯電防止床タイル ()						・ 視覚障害者用床タイル ()						・ 耐動荷重性床シート ()						○ 防滑性床シート ()	○ 2					・ 防滑性床タイル ()					
種類	厚さ (mm)	寸法	性能	形状	備考																																						
・ 帯電防止床シート ()																																											
・ 帯電防止床タイル ()																																											
・ 視覚障害者用床タイル ()																																											
・ 耐動荷重性床シート ()																																											
○ 防滑性床シート ()	○ 2																																										
・ 防滑性床タイル ()																																											
⑥ ビニル幅木	<p>(19.2.2)</p> <p>材質の種類 ※軟質 ・ 硬質</p> <p>高さ (mm) ※60 ・ 75 ・ 100</p> <p>厚さ (mm) ※1.5以上</p>																																										
7 ゴム床タイル	<p>(19.2.2)</p> <p>種類 ・ 単層品 ・ 積層品</p> <p>色柄 ()</p> <p>厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0</p> <p>寸法 (mm) ()</p>																																										
8 カーペット敷き [G]	<p>(19.3.2) (表19.3.1) (表19.3.2)</p> <p>・ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> </tr> <tr> <td>・ ウェットカーペット ・ アキスミスカーペット</td> <td>・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット/ループパイル</td> </tr> </table> <p>色柄 ・ 模様のない無地</p> <p>パイル系の種類等 ・ 無地の織りじゅうたんの種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種)</p> <p>帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートソール工法 ・ つづり縫い</p> <p>下敷き材 ・ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>クッションカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 5~7</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td>・ 4~6</td> <td>・ グリッド工法</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・ カット/ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材 (グリッド工法の場合) ・ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>クッションカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	織り方	パイル形状	・ ウェットカーペット ・ アキスミスカーペット	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット/ループパイル	パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	・ カットパイル	・ 5~7	・ 全面接着工法	・ 適用する	・ ループパイル	・ 4~6	・ グリッド工法	・ 適用しない	・ カット/ループ併用																									
織り方	パイル形状																																										
・ ウェットカーペット ・ アキスミスカーペット	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット/ループパイル																																										
パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性																																								
・ カットパイル	・ 5~7	・ 全面接着工法	・ 適用する																																								
・ ループパイル	・ 4~6	・ グリッド工法	・ 適用しない																																								
・ カット/ループ併用																																											

19 続き

8 続き

・タイカベット

バリエーション	種別	施工場所	寸法	総厚さ	備考
※ループバリエーション	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	帯電防止及び防汚
・カットバリエーション	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	加工品
・カット/ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	

色柄 ※無地 ・柄物

タイカベット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

タイカベットの敷き方
平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・

見切り、押え金物 材質 () 種類 ()
形状等 ・図示 ・

9 合成樹脂塗床 (19.4.2、3) (表 19.4.1~8)

種別	施工箇所	工法	仕上の種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			・平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			・平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

10 フローリング張り G

単層フローリング (19.5.2~5) (表 19.5.1~6)

種類	工法	樹種	厚さ mm	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
○フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	※なら	15	板幅 75以上	○塗装品 ※無塗装品	・
	・釘留め工法 (直張り)	※なら	・12以上	板長さ 400以上		
	○接着工法 釘止め併用	※なら	○12以上			
・フローリング フロー等	・接着工法	※なら			・塗装品 ※無塗装品	

複合フローリング (19.5.2~5) (表 19.5.1~6)

種類	工法	樹種	厚さ (mm) / 大きさ	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用
天然木化粧	・釘留め工法 (根太張り)	※なら		・A種 ・B種	・適用する ・塗床品	・
	・釘留め工法 (直張り)	※なら		※C種	・適用しない ・塗床品	
	・接着工法	※なら		-		

フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書19.5.2

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワックス塗り
・オイルフィニッシュの上、ワックス塗り
・生地そのままワックス塗り

11 畳敷き

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (19.6.2) (表 19.6.1)
(畳床 : ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)

下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ソノコ) G

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、7-ホルムアルデヒド及びスズレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳 (畳表 ・C1 ・C2)

12 せっこうボード
その他ボード
及び合板張り

(19.7.2、3) (表 19.7.1)

規格名称	種類	厚さ等
・木毛系セメント板 G	※図示	・
・繊維強化セメント板 G	※図示	・
・火山性ガラス質複層板	※図示	・
・繊維板	※図示	・
・パーティクルボード G	※図示	・
・吸音材料	※図示	・
○せっこうボード製品	※図示	・

・普通合板 G

表板の樹種名 ・
板面の品質 ・
厚さ ※図示 ・
防虫処理 ・行方 ・行わない

・天然木化粧合板 G

化粧板の樹種名 ・
厚さ ※図示 ・
防虫処理 ・行方 ・行わない

・特殊加工化粧合板 G

化粧加工の方法 ・オバーレイ ・プリント ・塗装 ・
表面性能 ・
厚さ ※図示 ・
防虫処理 ・行方 ・行わない

せっこうボードの目地工法
目地工法の種類 ・仕上げ表による ○継目処理工法
突付け工法及び目隠し工法のエッジ ・ペーパーエッジ ・スクリューエッジ

・遮音シート材 ※アルミ系またはポリウレタン系シート材
・ジオコンボード (JIS A6914)

MDF、パーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量 ・標準仕様書19.7.2(2)(イ)
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

天井ボード (ロックアップ吸音板を除く) の重ね張りを行う場合 ※図示

合板類の張付け ※B種 ・A種

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.8.2、3)

施工箇所	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他	防火種別	商品名 (程度)
図示	・	・	・	・	○	・不燃 ○準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル・せっこうアスファルト面の素地ごしらえ ※B種 ・A種

コンクリート面の素地ごしらえ ※B種 ・A種

せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種

フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

○断熱材打込み工法

種類	厚さ (mm)	備考
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	
○押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スリ層なし)	○図示	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	
○グラスウール断熱材	○図示	

施工箇所
○床版 (・屋根スラブ下 ・接床床 (標準詳細図7-01-2) ○図示)
○壁 ○外壁内側部分 (標準詳細図7-01-2) 但し、下記を除く

○断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H
厚さ (mm) ※25 ・30
施工箇所 ○図示
※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ等の床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

15 床下地材

※乾式遮音二重床用床下地材 (樹脂製支柱式) ○断熱性床下地材

BL認定及び建築物の遮音性能基準と設計指針 (第2版) (日本建築学会) で規定する「床衝撃音レベルに関する適用等級」2級程度を有するものとし、製造所の仕様による

施工箇所	床仕上材天端高さ	遮音性能 (スラブ厚150mm)	
		軽重床衝撃音	重畳床衝撃音
・畳下地	・150 ・180	※LL-50	※
○フローリング類下地	・ ()	・	・

16 化粧塩ビシート

17 システム天井

種別	Tバーの材質	備考
・グリッドタイプ	・アルミニウム製	
・ラインタイプ	・鋼製	
	・ダブ	
・ロケットタイプ		

18 浴室天井材

材質	幅	備考
※硬質塩ビ製	※300	断熱材を裏打ちしたもの
・アルミニウム製 (準不燃品)	・100	付属品の材料は主製造所の仕様による

19 床下地材

下に示す製造所の商品程度とする ()

下に示す製造所の商品程度とする ()

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

20

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	寸法 mm	高さ mm	所定荷重 N	表面仕上げ材	備考
	・450角以上 ・600角以下	・100 ・120	・3000 ・5000	・帯電防止床タイプ ・タイカベット	
	・450角以上 ・600角以下	・100 ・120	・3000 ・5000	・帯電防止床タイプ ・タイカベット	
	・450角以上 ・600角以下	・100 ・120	・3000 ・5000	・帯電防止床タイプ ・タイカベット	

適用地震時水平力
1階及び地階 ※0.6G以上
中間階 (~ 階) ※0.6G以上 ・1.0G以上
最上階 (~ 階) ※1.0G以上

帯電防止床タイプ ・置数タイプ ・パネル一体タイプ
(パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする)

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(イ) (a)~(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度 ()
パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 ()
フリーアクセスフロアの寸法精度 ()

ローリングボード性能 ・適用する 適用室 ()
適用しない

ローリングボード試験
所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は1,000N以上 (任意)) による
繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下であること
(パネル面に目視による著しいわだち及び損傷がないこと。かつ、
使用上有害なものがたつきがないこと)

帯電防止性能 ・評価値 (U) ≥ 0.6以上 ・評価値 (U) ≥ 1.2以上

感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥ 1×10⁸ Ω
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

耐火性能 ・標準仕様書20.2.2(2)(a) ・

耐衝撃性能 ・標準仕様書20.2.2(2)(b) ・

耐燃焼性能 ・標準仕様書20.2.2(2)(d) ・

・2重床用複合フローリング用開口
適用室 ()
開口の数 フロア面積8㎡につき1ヶ所かつ予備開口を14㎡につき1ヶ所
開口の大きさ
コンセント (電源) : 2P15A接地極付×2
情報用モジュラージャック (電話) : 8極8芯×1
のついたフローリングが納まる大きさ
取付方法 フリーアクセスフロア製造所の仕様とする

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		総厚さ mm	パネル表面仕上げ	防火性能
・スリット式 (内蔵)	スリット	パネル		・ウレタン樹脂焼付 ・アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・不燃
・スリット式 (露出)					
・パネル式					
・スリットパネル式					

中心周波数500Hzの音についての透過損失 (dB) ・36未満 ・36以上

パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示 ・) ・なし

表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

ガラス留め材 ※ガラス留め材 ・シーリング

パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

2 可動間仕切り

20 続き	3 移動間仕切 (20.2.4)	<p>構造形式 操作方法 圧縮装置の操作方法 総厚さ mm 表面仕上材 遮音性 db/500Hz</p> <p>平行方向移動式・二方向移動式 手動式・電動式 フック式・ハンド式 60程度・100程度 鋼板・焼付塗装・壁紙張り 36未満・36以上</p> <p>ハル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による</p> <p>遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする</p> <p>ハルレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・ 図示</p> <p>移動間仕切の壁面当たり枠 ※適用する（製造所の仕様による）</p> <p>ハルをランナに取り付ける部品 ※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>ハルレール、ランナ ハル重量の5倍の荷重をハル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障がないものとする</p>	9 黒板及びホワイトボード [G] (20.2.9)	<p>種類 種類 寸法(mm) 色彩 形式</p> <p>黒板 ※焼付け ・ほうろう 鋼製 ・黒 平面 ・スクリーン付引分</p> <p>ホワイトボード ※ほうろう 1800×1800 白 ※平面 1800×900 黒 ※スクリーン付引分 ・曲面</p>	16 カテンレール (20.2.14)	<p>材料 ※7Mニウム製及び7Mニウム合金の押し出し成型材 ・ステンレス製</p> <p>カテンの形式 ○シングル ○ダブル ○片引き ○引分け</p> <p>レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90</p> <p>仕上げ ※7Mニウム</p> <p>形状 ※角形</p> <p>フック（ひるかん） ※鋼製 ・樹脂製</p> <p>溝型×深さ（mm） ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ○ 図示</p> <p>材質 ・集成材（仕上げ：塗装品） ・ 図示 ※7Mニウム製 押し出し型材（市販品） 種別（標準仕様書表14.2.1） ○BC-1 ・BC-2 色合い ○標準色（ ） ・特注色（ ） ・鋼製（仕上げ： ）</p> <p>材質 ※7Mニウム押し出し型材差込型 ○塩化ビニル製 ※シムバー ・焼付</p> <p>施工箇所 ※ 図示</p> <p>材質 ※7Mニウム押し出し型材 ○塩化ビニル製</p> <p>施工箇所 ※仕上表による</p> <table border="1"> <tr><th>材質</th><th>寸法</th><th>形式</th><th>外枠</th><th>内枠</th></tr> <tr><td>※7Mニウム製</td><td>※450×450</td><td>※一般型</td><td>※屋内外用</td><td>※額縁タイプ</td></tr> <tr><td>・</td><td>・600×600</td><td>・※屋内用</td><td>・目地タイプ</td><td>・目地タイプ</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・気密型</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>（品質・性能・試験方法）建築材料等品質性能表による</p> <table border="1"> <tr><th>材質</th><th>寸法</th><th>形式</th><th>備考</th></tr> <tr><td>※鋼製</td><td>・450×450</td><td>※一般型</td><td>・屋内外用 ・鍵付き</td></tr> <tr><td>※7Mニウム製</td><td>※600×600</td><td>・密閉型</td><td>※屋内用 ※鍵無し</td></tr> <tr><td>※ステンレス製</td><td>・</td><td>・結露防止型</td><td></td></tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等から構成したパッキンを装着したものである</p> <p>（品質・性能・試験方法）建築材料等品質性能表による</p> <p>23 造作家具 合板類、MDF、パーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 第三種品</p> <p>※市販品（埋込みタイプ）</p> <table border="1"> <tr><th>材質</th><th>仕上</th><th>寸法</th><th>厚</th><th>表示</th></tr> <tr><td>※鋼製</td><td>※焼付塗装</td><td>※W300×H900程度</td><td>※有り</td><td>※(○)文字表示</td></tr> </table> <p>25 くつふきマット 材質 受け枠 備考 ・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質7Mニウム合金製 ※ステンレス鋼(SUS304)製 （ノスリック型）</p> <p>26 ステンレス流し台 ※優良住宅部品(セキヨウキヤチン)</p> <p>上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付</p> <table border="1"> <tr><th>寸法</th><th>開戸</th><th>引き出し</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・W1200×D550～600×H800</td><td>※3枚</td><td>※1段</td><td>※ハル補付</td></tr> <tr><td>・W1500×D550～600×H800</td><td>※4枚</td><td>※1段</td><td></td></tr> <tr><td>・W1800×D550～600×H800</td><td>※4枚</td><td>※1段</td><td></td></tr> </table> <p>27 コロ台 ※優良住宅部品(セキヨウキヤチン)</p> <p>テープ貼付はステンレス製、バックガード（※有り 無し）</p> <table border="1"> <tr><th>寸法</th><th>開戸</th></tr> <tr><td>・W700×D550～600×H620</td><td>・2枚</td></tr> <tr><td>・W600×D550～600×H620</td><td>・1枚または2枚</td></tr> </table>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	※7Mニウム製	※450×450	※一般型	※屋内外用	※額縁タイプ	・	・600×600	・※屋内用	・目地タイプ	・目地タイプ	・	・	・気密型			材質	寸法	形式	備考	※鋼製	・450×450	※一般型	・屋内外用 ・鍵付き	※7Mニウム製	※600×600	・密閉型	※屋内用 ※鍵無し	※ステンレス製	・	・結露防止型		材質	仕上	寸法	厚	表示	※鋼製	※焼付塗装	※W300×H900程度	※有り	※(○)文字表示	寸法	開戸	引き出し	備考	・W1200×D550～600×H800	※3枚	※1段	※ハル補付	・W1500×D550～600×H800	※4枚	※1段		・W1800×D550～600×H800	※4枚	※1段		寸法	開戸	・W700×D550～600×H620	・2枚	・W600×D550～600×H620	・1枚または2枚	28 吊戸棚	※優良住宅部品(セキヨウキヤチン)
	材質	寸法	形式	外枠	内枠																																																																							
	※7Mニウム製	※450×450	※一般型	※屋内外用	※額縁タイプ																																																																							
	・	・600×600	・※屋内用	・目地タイプ	・目地タイプ																																																																							
	・	・	・気密型																																																																									
	材質	寸法	形式	備考																																																																								
	※鋼製	・450×450	※一般型	・屋内外用 ・鍵付き																																																																								
	※7Mニウム製	※600×600	・密閉型	※屋内用 ※鍵無し																																																																								
	※ステンレス製	・	・結露防止型																																																																									
	材質	仕上	寸法	厚	表示																																																																							
※鋼製	※焼付塗装	※W300×H900程度	※有り	※(○)文字表示																																																																								
寸法	開戸	引き出し	備考																																																																									
・W1200×D550～600×H800	※3枚	※1段	※ハル補付																																																																									
・W1500×D550～600×H800	※4枚	※1段																																																																										
・W1800×D550～600×H800	※4枚	※1段																																																																										
寸法	開戸																																																																											
・W700×D550～600×H620	・2枚																																																																											
・W600×D550～600×H620	・1枚または2枚																																																																											
4 トイレブース (20.2.5)	<p>表面材の種類 色柄 脚部 ドアエッジ、形状</p> <p>※メラミン樹脂系化粧板 ・ホリス樹脂系化粧板</p> <p>※無地 ・柄物</p> <p>※幅木タイプ ・</p> <p>※標準 ○R</p> <p>※7Mニウム製 ・ステンレス製 ・製造所の仕様</p> <p>吊り方式 ※中心吊、戸当たり付</p> <p>ハル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	10 鏡 (20.2.10)	<p>取付箇所 ○ 図示 寸法(mm) ○ 図示 厚さ(mm) ※5</p>	17 ブラインドボックス及びカテンボックス (壁ボックス出隅保護金物)	29 水切棚	※既製品 ステンレス製一般型																																																																						
5 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2)	<p>施工箇所 種類 寸法(mm) 厚さ(mm)</p> <p>屋内 ・塩化ビニル製 ※300×300 ・セラミックタイル [G] ※300×300 ・レジンコンクリート製 ※300×300</p> <p>屋外 ・セラミックタイル [G] ※300×300 ・レジンコンクリート製 ※300×300 ・コンクリート製 ※300×300</p> <p>視覚障害者用ブロック等の突起の形状およびその配列は JIS T 9251 による</p> <p>樹脂系点字紙（タイルカット用） 寸法 300角 500角 色 ※黄色</p> <p>樹脂系点字紙の留付は、両面からの挟込み方式または接着式</p>	11 表示 (20.2.11)	<p>衝突防止表示 ○設置する（設置箇所 ○ 図示） 形状・寸法 ○30φ 材質 ○ステンレス製 ・設置しない</p> <p>誘導標識、非常用進入口等の表示 ・消防法に適合する市販品</p> <p>室名札、ビュウラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等（案内用図記号は、JIS Z 8210による） ○ 図示による</p>	18 コーナビード（壁ボックス出隅保護金物）	30 フード (参考商品名：)	※市販品（レンジフード） ・標準詳細図6-11-2 ステンレス板厚 ※0.4 1.0																																																																						
6 階段滑り止め (20.2.7)	<p>材質 形状 幅(mm) 取付け工法 端部フラットエンド</p> <p>※ステンレス製(SUS304)タイプ型 ・黄銅製押し出し材 ・7Mニウム製押し出し材</p> <p>（ゴム又は合成樹脂） ・タイプ型</p> <p>※35程度 ・40程度 ・50程度</p> <p>○接着工法 ・埋込み工法</p> <p>※あり ※ビニル製 ステンレス製 なし</p>	12 煙突ライニング材 (20.2.13)	<p>煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 400℃まで 650℃まで</p> <p>工法 鋼製ユニット煙突（煙突用成形ライニング材） ・キャスト耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする</p>	19 天井見切縁	31 旗竿	材質 形式 高さ(mm) 操作方法 固定方法 ※7Mニウム合金製 ・テーパー式 ・同一断面式 ・																																																																						
7 床目地棒 (20.2.8)	<p>床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる ※ステンレス製 □型(幅40程度 A1.5)（標準詳細図4-31-1） ・ステンレス製 6×12（標準詳細図4-31-2） ・黄銅製 6×12（標準詳細図4-31-2）</p>	13 ブラインド (20.2.14)	<p>形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅 mm ボックス・レールの材質 寸法 取付箇所</p> <p>・横形 ・手動 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式 ※7Mニウム合金製 [G] ※25 ※鋼製 ・ 図示</p> <p>・電動 -</p> <p>・縦形 ・手動 ※2本操作 コード式 ・1本操作 コード式 ※7Mニウム合金製 ・80 ・100 ※7Mニウム合金製 ・ 図示</p> <p>・電動 -</p> <p>7Mニウム製 焼付け塗装仕上げ</p> <p>クロスラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <p>ホリス樹脂繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 [G]</p>	20 カテンレール	32 旗竿受金物	材質 ※ステンレス製 (SUS304)																																																																						
8 手すり (20.2.6)	<p>○集成材手すり</p> <table border="1"> <tr><th>形式</th><th>径</th><th>材料</th><th>仕上</th></tr> <tr><td>○1段</td><td>○35φ</td><td>※45φ</td><td>※タモ</td></tr> <tr><td>※2段</td><td>※35φ</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> <p>・既製手すり（樹脂製）</p> <table border="1"> <tr><th>形式</th><th>径</th><th>ブラケット</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・0段（1段）</td><td>※40φ</td><td>※7Mニウム合金製（心材共）</td><td>指づめ</td></tr> <tr><td>※0段（2段）</td><td>※34φ</td><td>・</td><td>防止材等</td></tr> </table> <p>点字表示板（ ）箇所 JIS T 0921に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による ※ホリス樹脂製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度 ・塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度</p>	形式	径	材料	仕上	○1段	○35φ	※45φ	※タモ	※2段	※35φ	・	・	形式	径	ブラケット	備考	・0段（1段）	※40φ	※7Mニウム合金製（心材共）	指づめ	※0段（2段）	※34φ	・	防止材等	14 ロールスクリーン (20.2.15)	<p>スクリーンの材質 操作方法 幅、高さ(mm) 取付箇所 品質等</p> <p>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</p> <p>・電動式 ・スプリング式 ・コード式</p> <p>幅、高さ(mm) 取付箇所 品質等 ・ 図示 ・ 図示 ・</p> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ホリス樹脂繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする</p>	21 天井点検口	33 車止め支柱	形式 材質 柱径、肉厚 mm 高さ mm ・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式																																														
形式	径	材料	仕上																																																																									
○1段	○35φ	※45φ	※タモ																																																																									
※2段	※35φ	・	・																																																																									
形式	径	ブラケット	備考																																																																									
・0段（1段）	※40φ	※7Mニウム合金製（心材共）	指づめ																																																																									
※0段（2段）	※34φ	・	防止材等																																																																									
共通事項	工事名 金立特別支援学校教室棟整備事業 図面名 特記仕様書（建築新営）その10	縮尺 A1：- A3：-	設計 令和 年 月 日	佐賀県県土整備部建築住宅課 一級建築士登録第 号	図番号 A 10																																																																							

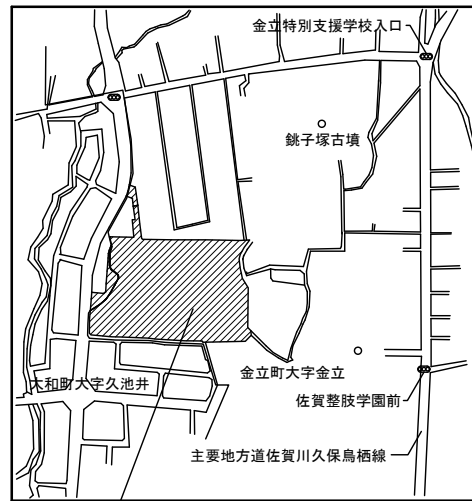
20 続き	42 洗面カウンター	材種 ○マニッシュ樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石	21 排水工事	① 屋外雨水排水	排水管用材料 (21.2.1、2) (表 21.2.1、2)	22 舗装工事	① 路床	路床の材料 (22.2.2~5) (表22.2.1)	5 カ-舗装	溶接金網 ※使用する
		奥行(mm) ・約450 ・約600 ○図示			材質 ・固定式 ・網入り磨き板ガラス ・縁入り磨き板ガラス			高さ ・500		備考 7mm製枠付き
43 防煙垂れ壁	44 屋外掲示板	・可動式 種類 材質 高さ 備考 ・垂直下降式 不織布 500 ガイドレール (巻取り式) (不燃認定品) 800 固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型) ・回転下降式 鋼板製又は7mm製 500 表面仕上げ 800 天井材張り	② 街きよ、縁石、側溝	② 埋戻し土	基礎の厚さ ・図示 ○呼び径300以下は100mm、呼び径300を超える場合は150mm	③ アスファルト舗装	② 路盤	路床の構成及び仕上り ○図示 ・	6 透水性アスファルト舗装	試験 コンクリート版厚さの試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
		・可動式 種類 材質 高さ 備考 ・垂直下降式 不織布 500 ガイドレール (巻取り式) (不燃認定品) 800 固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型) ・回転下降式 鋼板製又は7mm製 500 表面仕上げ 800 天井材張り			基礎の種類 ○図示 ・砂地業 ※砂利地業			凍土抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ○行わない		試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ○行わない 路床締固め度の試験 ・行う ○行わない 現場CBR試験 ・行う ○行わない
共通事項	工事名 図面名	金立特別支援学校教室棟整備事業			縮尺 A1: - A3: -	佐賀県県土整備部建築住宅課			図番号 A	
		特記仕様書(建築新営)その11				設計 令和 年 月 日	一級建築士 登録 第 号			11

22 続き	7 続き	・舗石舗装 種類 形状 厚さ (mm) 施工方法 基層 ※小舗石 (花こう岩) ・割石 ・図示 ※うろこ張り ※コンクリート版 ※70mm ・7スラブ混合物 ※50mm クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内	23 植栽及び屋上緑化工事
	8 砂利敷き	種別 ・A種 (施工範囲 : ・図示 ・通路) ・B種 (施工範囲 : ・図示 ・建物周囲)	
	9 路面標示用塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料) による 種類 施工 適用 色 幅 (mm) 塗布厚さ (mm) ・1種 常温 液状 ※白 ・150 ・1.5 ・2種 加熱 ※3種1号 熔融 粉体状	
	10 車止め	車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き 全面接着アンカー併用固定 (影込み30mm埋込み65mm以上)	
		低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料	
		適用する (施工箇所 ※図示)	
		・パーク堆肥 [G] 使用量 : 植栽基盤面積1m2あたり (・50L) 有機物の含有率 (乾物) : 70% 以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35 以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g 以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常が認められない 窒素全量 (現物) : 0.5% 以上 りん酸全量 (現物) : 0.2% 以上 加里全量 (現物) : 0.1% 以上 施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。 ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) [G] 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。 使用量 : 植栽基盤面積1m2あたり (・10L) 有機物の含有率 (乾物) : 35% 以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20 以下 pH : 8.5 以下 水分 : 50% 以下 窒素全量 (現物) : 0.8% 以上 りん酸全量 (現物) : 1.0% 以上 アルカリ分 (現物) : 15% 以下 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りではない) 施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。	
		5 樹木 (23. 3. 2) ※さかの樹 樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・ ・県内産苗木 樹種、寸法、株立数等 ※ ・ ・上記以外の樹種、寸法、株立数等 ※ ・	
		6 支柱 (23. 3. 2、3) 支柱材 ※丸太 (間伐材) [G] ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・図示 ・	

1 植栽地の確認等 (23. 1. 3) 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ・行わない 水溶性塩類 (EC) の試験 ・行う ・行わない	2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) 植栽 工法 有効土層の厚さ 整備範囲 土壌改良費 ・樹木 ※A種 樹高12m以上 ・葉張り部分 ・適用する ・B種 (※100 ・120 ・150) ・植栽部分 ・適用しない ・C種 樹高7m以上~12m未満 ※図示 ・D種 (※80 ・100) ・ ・樹高3m以上~7m未満 (※60 ・80) ・樹高3m未満 (※50 ・60) ※芝、※B種 ※20 ・植栽部分 ・適用する 地被類 ※図示 ・適用しない 但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする 植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・) ・設けない ※現場発生土の良質土 ・客土 ・適用する (施工箇所 ※図示) ・パーク堆肥 [G] 使用量 : 植栽基盤面積1m2あたり (・50L) 有機物の含有率 (乾物) : 70% 以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35 以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g 以上 pH : 5.5~7.5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常が認められない 窒素全量 (現物) : 0.5% 以上 りん酸全量 (現物) : 0.2% 以上 加里全量 (現物) : 0.1% 以上 施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。 ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) [G] 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。 使用量 : 植栽基盤面積1m2あたり (・10L) 有機物の含有率 (乾物) : 35% 以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20 以下 pH : 8.5 以下 水分 : 50% 以下 窒素全量 (現物) : 0.8% 以上 りん酸全量 (現物) : 1.0% 以上 アルカリ分 (現物) : 15% 以下 (ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りではない) 施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。	7 幹巻き用材料 (23. 3. 2) 材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも 8 芝 (23. 4. 2~3) 種類 ※コライバ ・ババ ・ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り 9 吹付けは種 (23. 4. 2) 種子の種類 発芽率 種子の量 (g/m ²) ※洋芝類 ※発芽率80%以上 (採取後2年以内) 10 地被類 (23. 4. 2) 樹種 コシバ 単位面積当たりのコシバ数 芽立数 11 屋上緑化 [G] (23. 5. 2、3) 植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 ・ 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ :) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 ・ (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による ・屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・ (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による 支柱 ・設置する (形式 ・図示 ・) かん水装置 ※設置する (種類 ・) 12 樹木札 樹木札図 13 新植樹木、芝及び地被類の枯補償 (23. 5. 5) ・引渡しの日から1年とする
--	---	--

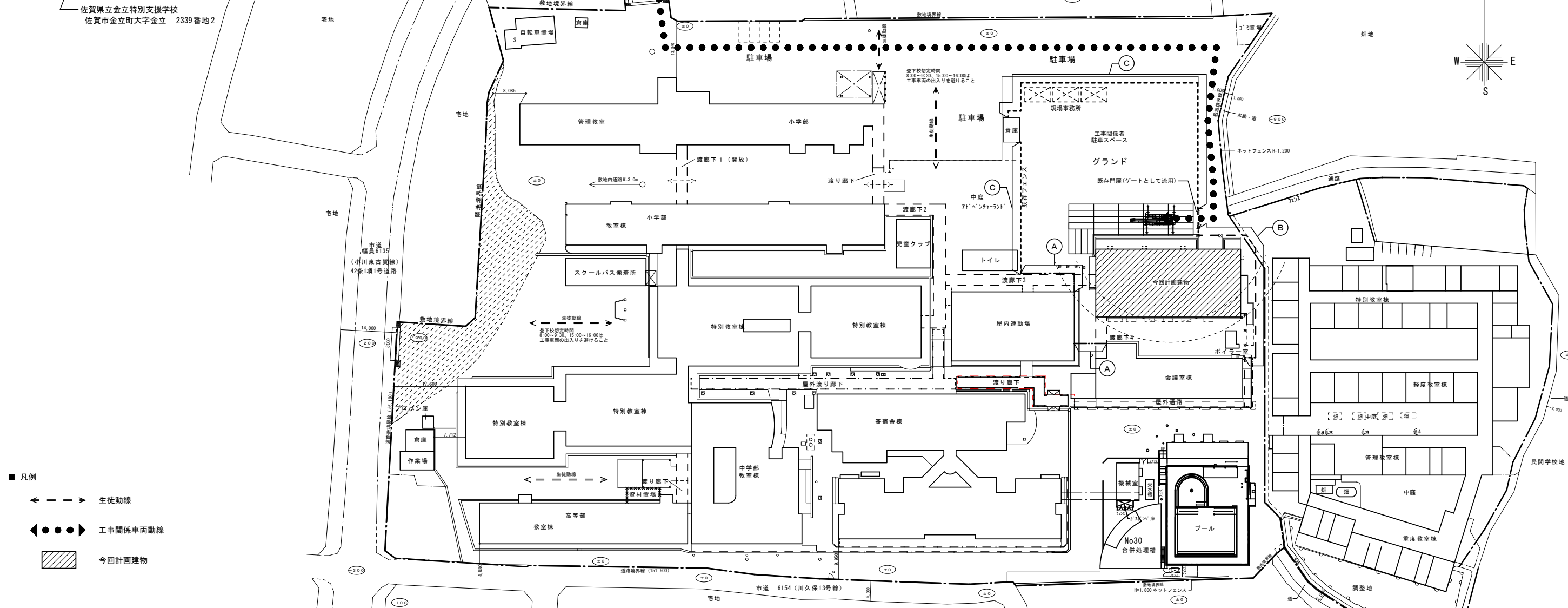
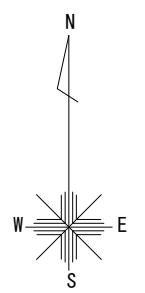
別表-1 設備工事との工事区分表	○印は本工事範囲とする
機器の基礎	電気関係 配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 屋上 テレビアンテナ基礎 避雷針の基礎 特記した基礎 機械関係 屋内設備 屋上設備 (架台、アンカーボルトを除く) 屋外設備 (") 架台・アンカーボルト 特記した基礎
開口部	梁、床、壁 貫通スラブ 補強を要するもの 補強を要しないもの 梁、床、壁 貫通部型枠 補強を要しないもの 軽量鉄骨下地 壁・天井ボード 補強を要しないもの 類の切込 (フレットボックスは除く) 埋込形分電盤、埋込形端子盤等の型枠 補強を要するもの 補強を要しないもの 上記開口部の遷出し 上記開口部の補強 スラブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む) OA707-配線器具用
点検口	床、壁、天井
外部取付	ガタ、ファン等の接続用フックを含む
防油堤	オイルシールスタックの防油堤、タコ基礎
床下水槽	タンクふた
ガス漏れ検知器	
消火栓組込み機器収納箱内配線整理用端子板	
湯沸室の排気フード	
換気扇	本体 取付枠
流し台	本体 (排水トラップ 共) 水栓
浴槽	
身障者用便所手摺り	
機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)	
機器付属の制御盤への電源供給配管配線	
自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	
自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線	
機器と付属操作スイッチ等との渡り配管配線	
機器と付属操作スイッチ等との渡り配管配線	
機器と付属操作スイッチ	
機器と付属操作スイッチの埋込ボックス	
煙感知器から連動制御盤を経て	
防煙ダンパ及び排煙口に至る配管配線	
小便器用節水装置制御盤以降の配管配線	
自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給	
自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と	
操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	
防火扉リリース	
電極棒	
配線ボックス及びふた	
別途機器などへの接続	
システム天井	ボード・天井
	照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート
電気錠	電気錠及び通電金具 キー及び制御盤
浄化槽	杭工事 土工事 基礎工事 電気工事
水道リモーターの配線	
水道リモーターの配線の結線と調査	

別表-2		品目	対象材料名	品目	対象材料名				
別表-2	床型枠用鋼製デッキプレート	標準仕様書、6章8節に規定する床型枠用鋼製デッキプレートを対象	屋上緑化システム	標準仕様書、23章5節屋上緑化及び改修標準仕様書9章6節に規定する屋上緑化改修工事を主とし、区分は下記による ① 屋上緑化システム(板状成形品タイプ) ② 屋上緑化軽量システム					
	鉄骨柱下無収縮モルタル	標準仕様書、7章2節に規定する無収縮モルタルを対象							
	無収縮グラウト材	改修標準仕様書、8章2節に規定する無収縮グラウト材とし、ブレイク形状及び現場調合形を対象		トップライト	一般庁舎の屋上に単体で設置するもので、ガラス等を採光部に用いた小規模の既製金属部材による製品(開口部は最大2,000mm角または、長辺が3,000mm以下のもの)とし30分以上の耐火性能を有するものを対象 また、耐火性の無い、透光性の合成樹脂系成形ドーム等を持つ製品であっても、下部に網入りガラスを用い、30分以上の耐火性能を有するものは対象 ただし、大型のトリプルや、特別の形状を持つ特注品及び上部に人が乗ることを想定したものは対象外				
	乾式保護材(防水立上部)	標準仕様書、9章2節に規定する乾式保護材を対象							
	既製調合モルタル(タイ工専用)	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合モルタルを対象		ボリマーセメントモルタル	改修標準仕様書、4章2節に規定するボリマーセメントモルタルを対象				
	既製調合目地材	標準仕様書、11章2節に規定する既製調合目地材とし、主として外装用を対象							
	ルーフレン	標準仕様書、13章5節に規定するルーフレンとし、コンクリート打ち込みタイプを対象		鋼鉄製ふた	公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)の当該事項に規定するマンホールふた・弁掛ふたを対象				
	吸水調整材(モルタル用)	標準仕様書、15章3節に規定する吸水調整材を対象							
	7Mミニ鋼製建具	標準仕様書、16章2節に規定する7Mミニ鋼製建具とし、一般的なビル用建具を対象 新たに形材を製作するものや金属カーナール及び防音キャップは対象外 但し、断熱キャップについては③(C種)におけるH-3以上を対象 ① 70-200-8-35 (A種) ② 70-240-8-35 (B種) ③ 100-280-2-50 (C種)							
	鋼製建具	標準仕様書、16章4節に規定する鋼製建具(標準型鋼製建具を含む)を対象とし、建具の分類は下記による ① 鋼製建具(簡易気密型を除く) ② 鋼製建具(簡易気密型)							
	鋼製軽量建具	標準仕様書、16章5節に規定する鋼製軽量建具(標準型鋼製軽量建具を含む)を対象とし、建具の分類は下記による ① 鋼製軽量建具(簡易気密型を除く) ② 鋼製軽量建具(簡易気密型)							
	鋼製軽量建具	標準仕様書、16章5節に規定する鋼製軽量建具(標準型鋼製軽量建具を含む)を対象とし、建具の分類は下記による ① 鋼製軽量建具(簡易気密型を除く) ② 鋼製軽量建具(簡易気密型)							
	ステンレス製建具	標準仕様書、16章6節に規定するステンレス製建具を対象とし、簡易気密型は対象外							
	錠前類	標準仕様書、16章8節に規定する錠前類及び標準型建具用のレバーハンドルを対象とし、下記による ① シリンダ錠(シリンダ錠) 標準型建具用を含む (レバーハンドル) 標準型建具用を含む ② シリンダ錠本締め錠							
	クロザー類	標準仕様書、16章8節に規定するクロザー類を対象とし、下記による ① ドアクロザー(標準型建具用を含む) ② ヒンジクロザー ③ フロアヒンジ							
	自動ドア機構	標準仕様書、16章9節に規定する自動ドア開閉装置(引き戸用)を対象とし、分類は湯沸室のフードの配管工事下記による							
	自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)	標準仕様書、16章10節に規定する自閉式上吊り引戸装置とし、主として身体障がい者等が使用する一般庁舎等の事務室の出入口、屋内用、屋外用の身体障がい者用便所の出入口を対象							
	重量シャッター	標準仕様書、16章11節に規定する重量シャッターを対象とし、種類は下記による ① 用途による種類：管理用シャッター、外壁用防火シャッター、屋内用防火シャッターを対象とし防炎シャッターは対象外 ② 開閉機能による種類：上部電動式(手動併用)及び上部手動式を対象 ③ スラットの形式による種類：インナーロック型を対象とし、オーバーラッピング型は対象外							
	軽量シャッター	標準仕様書、16章12節に規定する軽量シャッターを対象とし、開閉形式による種類は上部電動式(手動併用)、手動式を対象							
	オーバーヘッドドア	オーバーヘッドドア標準仕様書、16章13節に規定するオーバーヘッドドアを対象とし、JIS A 4715「オーバーヘッドドア構成部材」による種類は下記による。 ① セクション材料による区分：スチールタイプ、7Mミニ鋼タイプ、ファイバーグラスタイプを対象 ② 開閉方式による区分：バラス式、チェーン式、電動式を対象 ③ 強さによる区分：強さの区分50、75、100、125を対象 ④ 収納形式による区分：スイングード形、ローレット形、ハイライト形、バルチカル形を対象							
防水剤	標準仕様書、15章3節に規定する建具廻り等に使用するモルタルに混入する防水剤を対象								
現場発泡断熱材	標準仕様書、19章9節に規定する現場発泡断熱材でノンフロンを対象								
フリートレスフロア	標準仕様書、20章2節に規定するフリートレスフロアとし、使用用途は一般庁舎等の高さ600mm以下を対象とし、分類は下記による ① 3000N ② 5000N								
可動間仕切	可動間仕切標準仕様書、20章2節に規定する可動間仕切を対象とし、国土交通省大臣認定の「耐火構造間仕切」及び構造形式の空間の仕切り方のうち床置き形は対象外								
移動間仕切(スライディングドア)	標準仕様書、20章2節に規定する移動間仕切を対象とし、使用用途は主として一般庁舎用を対象								
トリアックス	標準仕様書、20章2節に規定するトリアックスを対象とし、使用用途は主として一般庁舎用を対象								
煙突用ライニング材	標準仕様書、20章2節に規定する煙突用成形ライニング材とし、コンクリート打ち込みを対象								
天井点検口	標準仕様書、14章4節に規定する軽量鉄骨天井地下等に取付ける天井点検口を対象 また外部軒天井に使用する場合は、その対応可能なものを対象とする								
床点検口	一般庁舎等の屋内及び外部玄関部分の歩行用としてコンクリート床スラブ用を対象とし、寸法は600角程度までとする								
グレーチング	標準仕様書、21章2節に規定するものとし、一般庁舎の構内に使用するグレーチングとしている。材質、用途による分類は下記による ① 材質による分類：鋼製グレーチング、ステンレス製グレーチングを対象とする ② 用途による種類：溝ふた(横断用、側溝用)、ますふた用、かさあげ用、U字側溝を対象とし、大スパン用及び荷重種別T-25用並びに床板用は対象外								
共通事項	工事名	金立特別支援学校教室棟整備事業			縮尺	A1： - A3： -	佐賀県県土整備部建築住宅課	図番号 A	
	図面名	特記仕様書(建築新営)その13			設計	令和 年 月 日			一級建築士 登録 第 号



敷地面積:	28,238.00	m ²
指定なし地域	27,180.00	m ²
第二種低層住宅専用地域	1,058.00	m ²

第二種低層住宅専用地域範囲を示す。

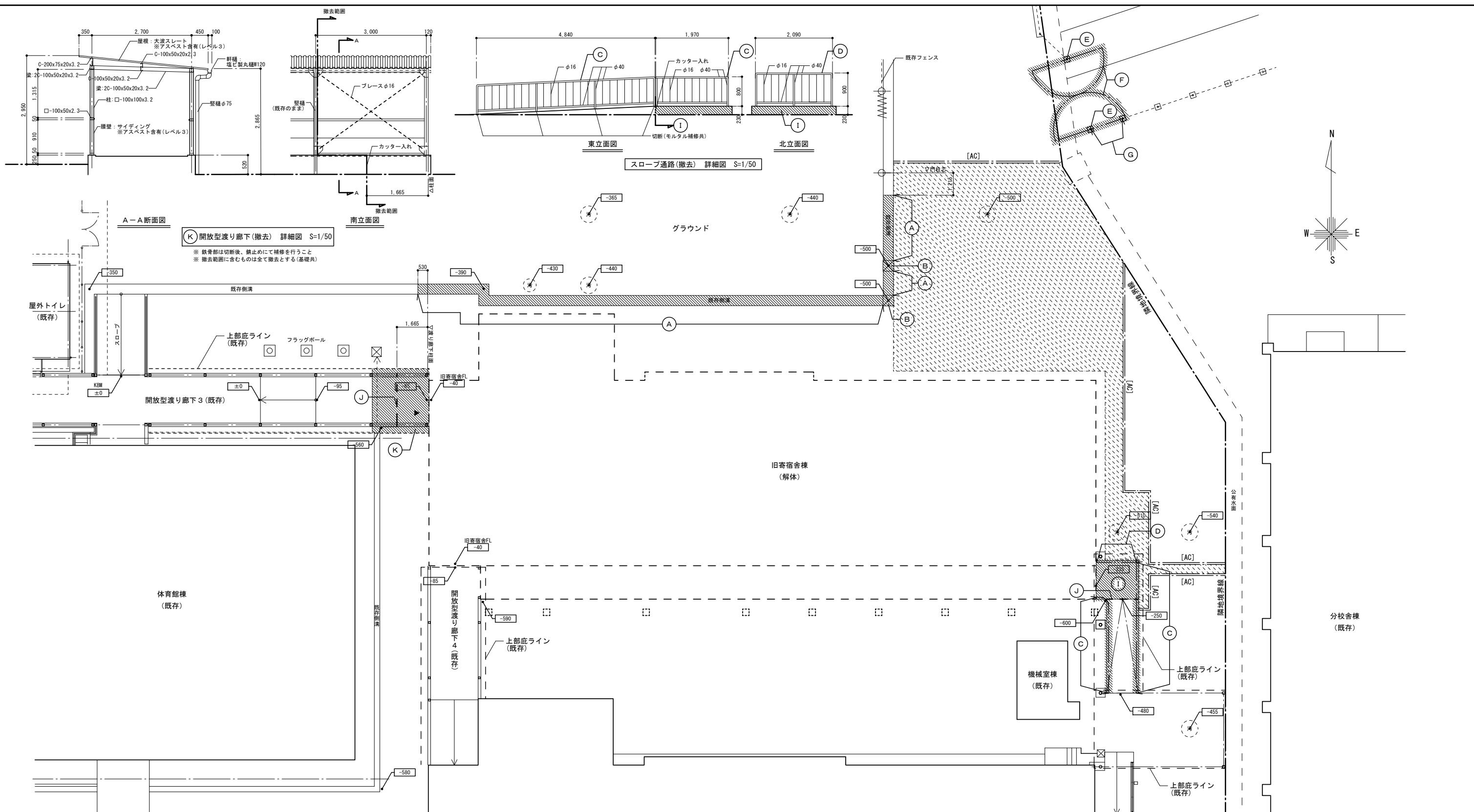


- 凡例
- 生徒動線
 - 工事関係車両動線
 - 今回計画建物

■ 指定仮設 凡例

記号	名称	仕様	期間	数量
A	仮囲い(A)	単管支柱+成形鋼板 H=2.0m	240日	25.6 m
B	仮囲い(B)	プラスチックフェンス H=1.2m(ウエイト共)	240日	47.0 m
C	仮囲い(C)	既存メッシュフェンスH=2.0mに白シート張り	240日	119.0 m
	仮設鉄板敷	1524×6096×t=22	180日	260.0 m ²
	交通誘導員	交通誘導員B	1人×180日	180 人

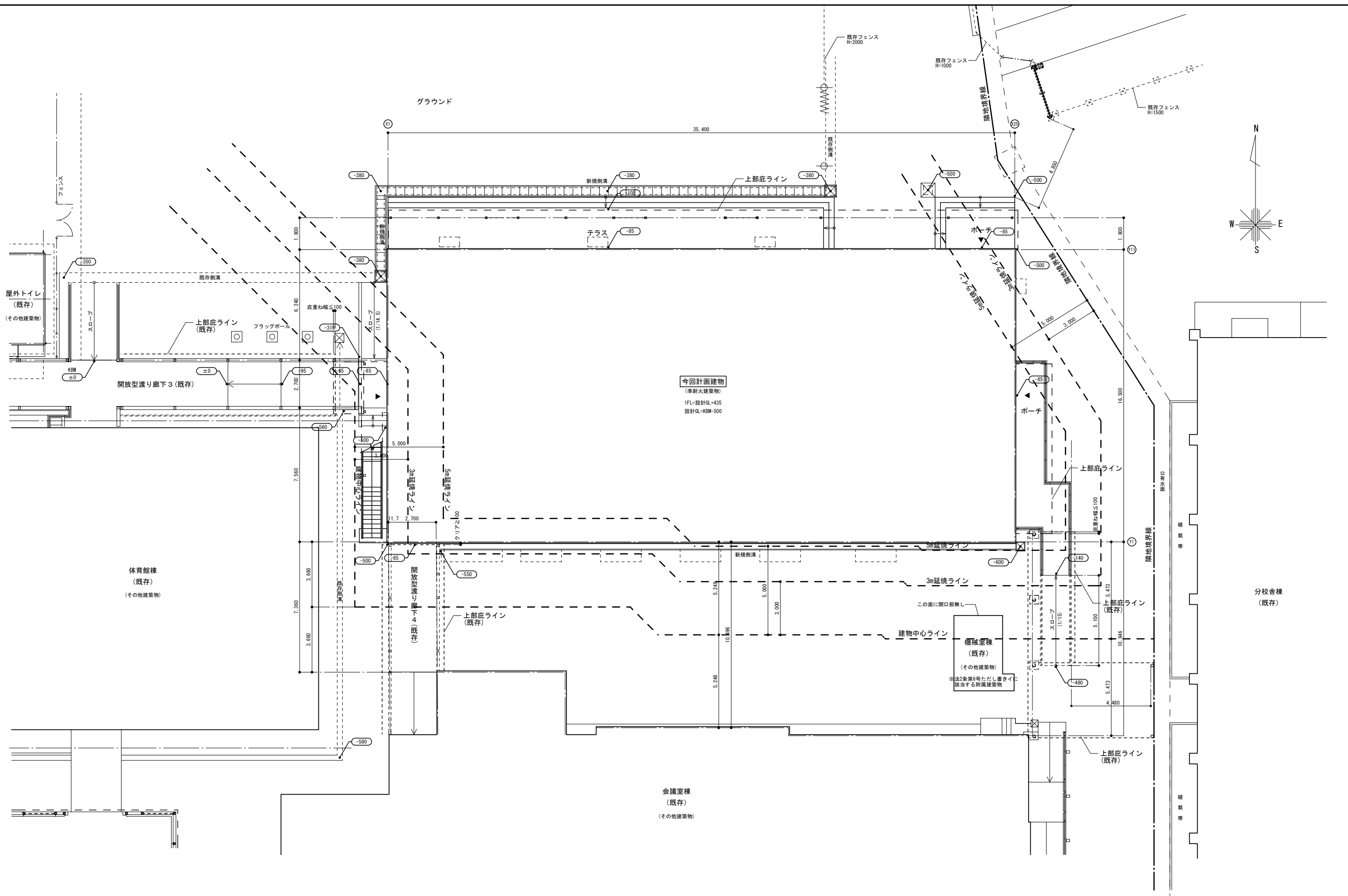
- 特記事項
- 朝夕は送迎車両が多く出入りするため、工事関係車両の出入りは極力その時間帯を避けること。
 - 学校敷地内では、常に就学児が通行しているため管理者と事前協議を行い、十分な安全対策を講ずること。
 - 現場へ工事関係車両を出入りさせる場合は、必ず出入口に待機させている交通誘導員に誘導させること。
 - 近隣への騒音、振動及び粉塵対策には十分配慮し、必要な措置を行うこと。高騒音工事は事前協議を行うこと。
 - 大型車両や反復車両が多い時及び敷地内の歩行者動線と交錯する部分などは、必要に応じて交通誘導員を安全管理上、適切な位置に移動して車両や歩行者を誘導する事。
 - 工事現場周辺の架空線、埋設物等については工事着手前に現状調査を行い、「地下埋設物架空線等上空施設の事故防止マニュアル」に基づき必要な措置をとること。
 - グラウンドは工事完了時に現状復旧を行うこと。
釘、ビス、がれき(コンクリートくず)、鉄くず等の撤去・清掃を行うこと。



■ 撤去物リスト

記号	名称	仕様	対応	記号	名称	仕様	対応
A	側溝	NSK型-2型 呼び名300	撤去・処分(コンクリート蓋 共)	J	モルタル面カッター入れ		
B	雨水枡	落蓋式溜枡 呼び名500	撤去・処分(グレーチング蓋 共)	K	開放型渡り廊下	※ 詳細図参照	撤去・処分(屋根・躯体・基礎 共)
C	手すり	スチール製 H=800	撤去・処分(切断・土間補修 共)				
D	手すり	ステンレス製 H=900	撤去・処分(切断・土間補修 共)				
E	メッシュフェンス扉用支柱	PCフェンス用 H=2200 基礎:300角	撤去・処分(基礎 共)				
F	メッシュフェンス扉	PCフェンス用 W2000×H1450	撤去・処分				
G	メッシュフェンス	PCフェンス W1850×H1500	撤去・処分				
H	メッシュフェンス支柱	PCフェンス用 H=1600 基礎:180角	撤去・処分(基礎 共)				
I	通路コンクリート土間	H=240程度	撤去・処分(モルタル 共) 撤去部補修 共				

※ 現況地盤レベルを示す。
 既存アスファルト舗装 撤去
 [AC] アスファルト カッター入れ



※ -*** 計画仕上レベルを示す。

設計変更年月日	1回 年 月 日	工事内容	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺	A1: 1/100	佐賀県県土整備部建築住宅課	図番	A
	2回 年 月 日				A3: 1/200			
	3回 年 月 日							
部分配置図					設計 年 月 日	一級建築士登録第 号		16

建物概要		各部仕様				準耐火建築物（ロ-2）認定番号						
工事種別	新築	屋根	形状	ハゼ式折板二重葺き H=85~91	樋	軒樋	塩ビ製 □前上り135型 ■前上り165限@口は採	部位	外壁（一般部）	要求条件	計画仕様	認定番号など
主要用途	特別支援学校		材料	上葺き材：塗装ガルバリウム鋼板 (■t=0.6 □t=0.8)		縦樋	カラーVP ■75φ □100φ	外壁（延焼の恐れのある部分）	防火構造	窯業系サイディング	GM-0944同等メーカー仕様	
構造	鉄骨造			裏貼り □有(オレフィン樹脂系フォームt=4) ■無		樋受金物	■SUS製 □アルミ製					
階数	2階			下葺き材：ガルバリウム鋼板素地 (■t=0.6 □t=0.8)		躯体	鋼製					
耐火建築物種別	□耐火建築物		内階段	裏貼り □有(オレフィン樹脂系フォームt=4) ■無		床下地	■コンクリートt=40	2階床	■A仕様	準耐火構造等	デッキプレート+コンクリート	H12告示第1400号
	■準耐火建築物（ロ-2）			断熱材		グラスウール10kg/m3 t=100	手摺	■アルミ製塩ビ被覆 □木製 □無	□B仕様	準耐火構造等	デッキプレート+コンクリート 吹付ロック-t=15	FP060FL-9128
	□その他建築物		外階段	タイトフレーム		溶融亜鉛めっき鋼板t=2.3 (■ビス止め □溶接)	躯体	鋼製(手摺付)	□A仕様	不燃材料	折板葺き+オレフィン樹脂系フォームt=4 塗装有：NM-4617(1) 塗装無：NM-4617(2)	
防火対象物種別	消防法施行令 別表第一(6)項二			鼻隠し		□有(塗装ガルバリウム鋼板 H=450 既製品) ■無	床材	チェッカープレート t=4.5	■B仕様	不燃材料	折板二重葺き+グラスウールt=100 H12告示第1400号, NM-8697	
特殊建築物種別	建築基準法 別表第一(三)			ケラバ包み		■有(塗装ガルバリウム鋼板 H=0.6□t=1.5) □無	上屋	□有() ■無	軒裏	不燃材料	屋根材表し	NM-8697
基礎種別	■直接基礎 □杭基礎			軒裏		折板裏面表し (裏貼材なし)	躯体仕上	■溶融亜鉛めっき素地 □ウレタン樹脂塗装	柱・梁	不燃材料	鉄骨	H12告示第1400号
最高高さ	8.313 m	小屋裏断熱材	GWt=50 (24kg/m3)	避難器具	垂直式救助袋	階段	準不燃材料以上	鉄骨	H12告示第1401号			
軒高	7.288 m	外壁	材料	窯業系サイディングt=16(ヨコ張り)	仕様・寸法	片持式アルミ製既製品 D=2100(Dは胴縁芯からの寸法)(吊り材有)	開口部(延焼の恐れのある部分)	要求条件:防火設備				
建築面積	673.10 m ²		仕上	メーカー仕様	庇1	商品名称	□AD-1 □AD-2-2 ■AD-R (樹共和アルフィン既製品同等)	■引違い窓	EB-2878-3同等	YKK BGE31同等		
延べ面積	1,033.05 m ²		工法等	透湿防水シート張り、金物留め通気工法現場ヨコ張り	庇2	先端仕様	□化粧樋 ■化粧材(樋なし)	■SUS製自動ドア+両袖FIX	H12告示第1360号			
			シーリング	■変成シリコンシーリング(窯業系外壁材専用品)		材質・寸法	鋼製 D=1580	■スチール製片引きハンガー戸	H12告示第1360号			
			笠木	■有(アルミ既製品) □無	屋根	ボルト式折板t=0.5H=88(ガルバリウム鋼板)(軒天：折板表し)	■スチール製両開き戸	H12告示第1360号				
		開口部	窓	アルミサッシ引違い窓(YKK EXIMA31, BGE31同等)	樋	無し	防火上主要な間仕切壁(耐火構造・準耐火構造)認定番号					
				アルミサッシFIX窓(YKK EXIMA31同等)	床材	土間コンクリート金ごて	部位	■A仕様	準耐火構造45分	GB-R12.5+9.5 両面貼	H12建告第1358号	
			出入口	アルミサッシハンガー戸、引き違い戸	手摺	SUS製(既製品)	防火上主要な間仕切壁	□B仕様	耐火構造60分	GB-F21+21 片面貼(階段部)	FP060NP-0007	
				SUS製自動ドア+両袖FIX	スロープ	グレーチング	ノンスリップグレーチング(樹脂製)	(令114条区画)				
			スチール製ハンガー戸	床材	土間コンクリート刷毛引き							
		外部巾木	コンクリート打放し補修 目地シーリング	手摺	SUS製(既製品)							
		小屋裏換気口	□有(アルミ製深型ベンドキャップ150φ防虫網、水切付) ■無	躯体	鋼製							
		テラス		床材	土間コンクリート金ごて							
					屋根	ハゼ式折板(塗装ガルバリウム鋼板t=0.6)(タイトフレームビス止め)						
					躯体仕上	■溶融亜鉛めっき素地 □ウレタン樹脂塗装						
				手摺	SUS製(既製品)							

建物求積図

〈建築面積〉

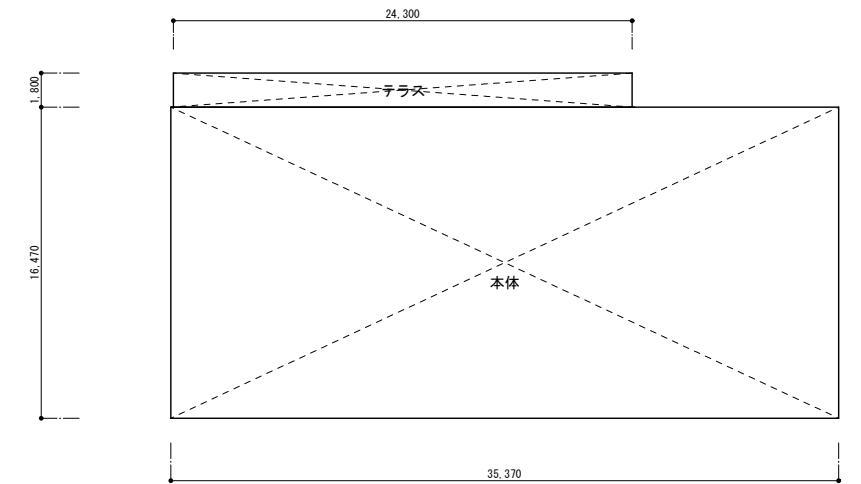
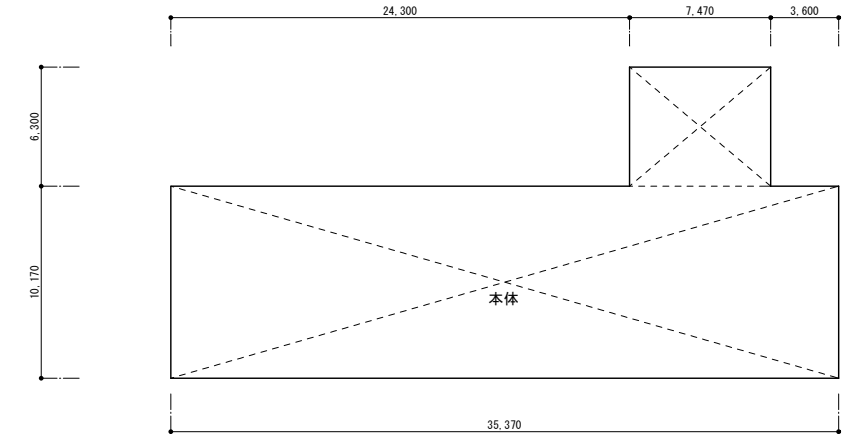
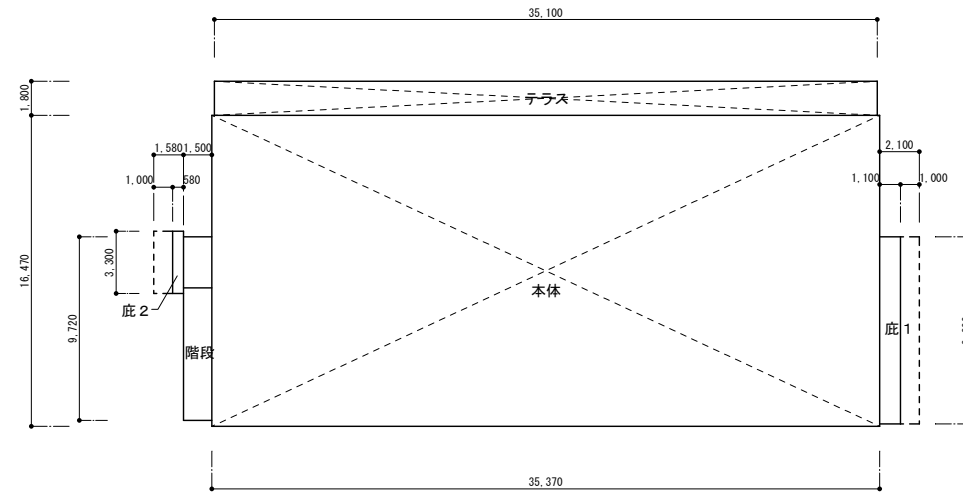
(申請建物)

(本体)	16.470×35.370	= 582.54
(テラス)	1.800×35.100	= 63.18
(庇1)	1.100×9.900	= 10.89
(階段)	9.720×1.500	= 14.58
(庇2)	0.580×3.300	= 1.914
合計		= 673.10 m ²

〈延床面積〉

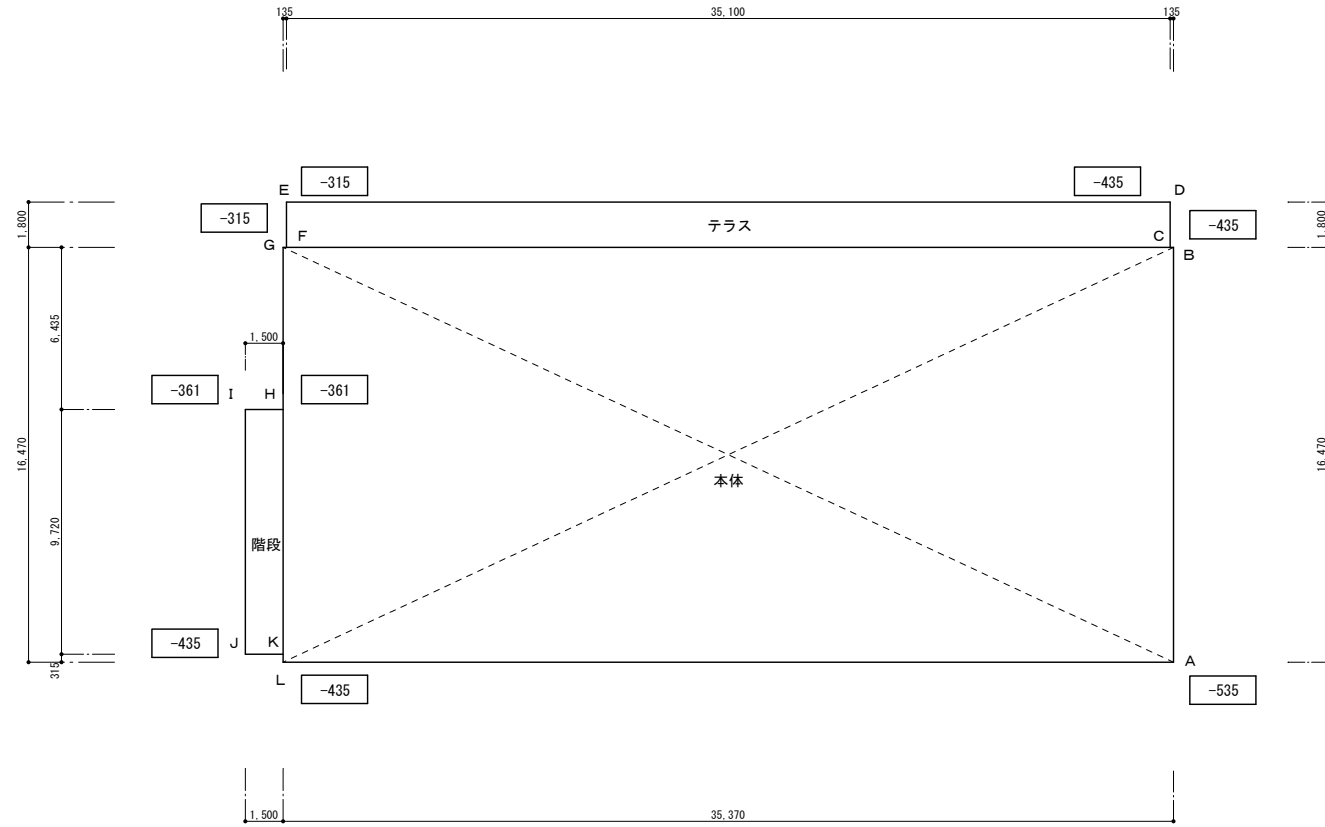
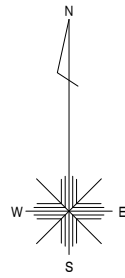
(申請建物)

(1F)	16.470×35.370+24.300×1.800	= 626.28 m ²
(2F)	10.170×35.370+6.300×7.470	= 406.77 m ²
合計		= 1,033.05 m ²



規格、モジュール、部材の形状、材質、機材等は、図面中の仕様・仕上としているが、関係法令に適合し、建物の安全性能や諸室の機能性等が本設計と同等以上であれば県と協議の上、各メーカー仕様によることができる

設計変更年月日	1回 年 月 日	工事名	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図番	A
	2回 年 月 日	図名	建物概要・建物求積図	設計	年月日	佐賀県土木整備部建築住宅課	
	3回 年 月 日					一級建築士登録第 号	17



地盤面算定図 S=1/150

凡例

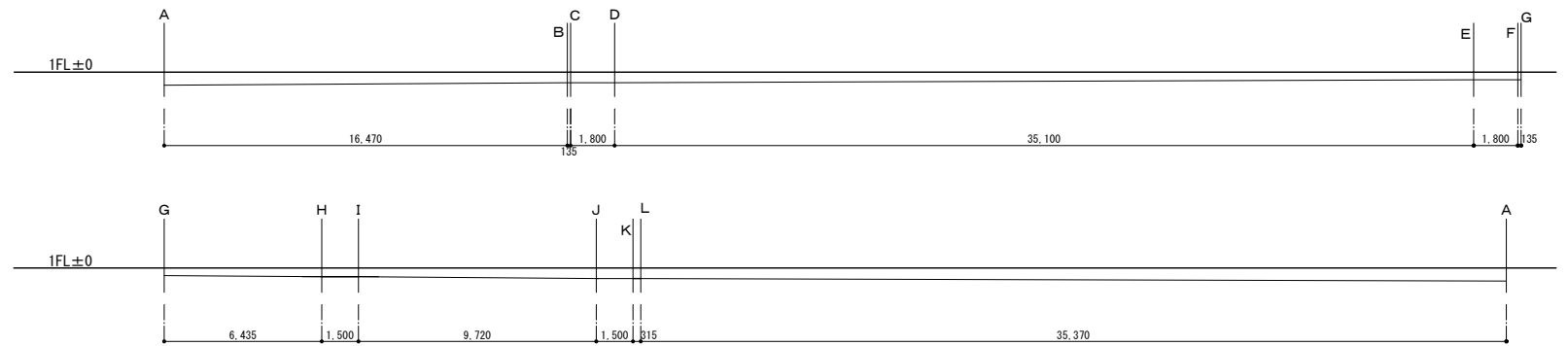
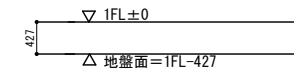
-○○○	1FL±0からの地盤高さを示す（建物廻り）
------	-----------------------

番号	底辺	高さ		倍面積
A—B	16.470	-0.535	-0.435	-15.9759
B—C	0.135	-0.435	-0.435	-0.1174
C—D	1.800	-0.435	-0.435	-1.5660
D—E	35.100	-0.435	-0.315	-26.3250
E—F	1.800	-0.315	-0.315	-1.1340
F—G	0.135	-0.315	-0.315	-0.0850
G—H	6.435	-0.315	-0.361	-4.3500
H—I	1.500	-0.361	-0.361	-1.083
I—J	9.720	-0.361	-0.435	-7.73712
J—K	1.500	-0.435	-0.435	-1.3050
K—L	0.315	-0.435	-0.435	-0.2740
L—A	35.370	-0.435	-0.535	-34.3089
小計	110.280			
倍面積合計				-94.2615
面積合計				-47.1307

周長 = 110.280m

地盤面 = -47.1307/110.280
= -0.427

地盤面 = 1FL-427mm

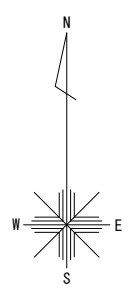
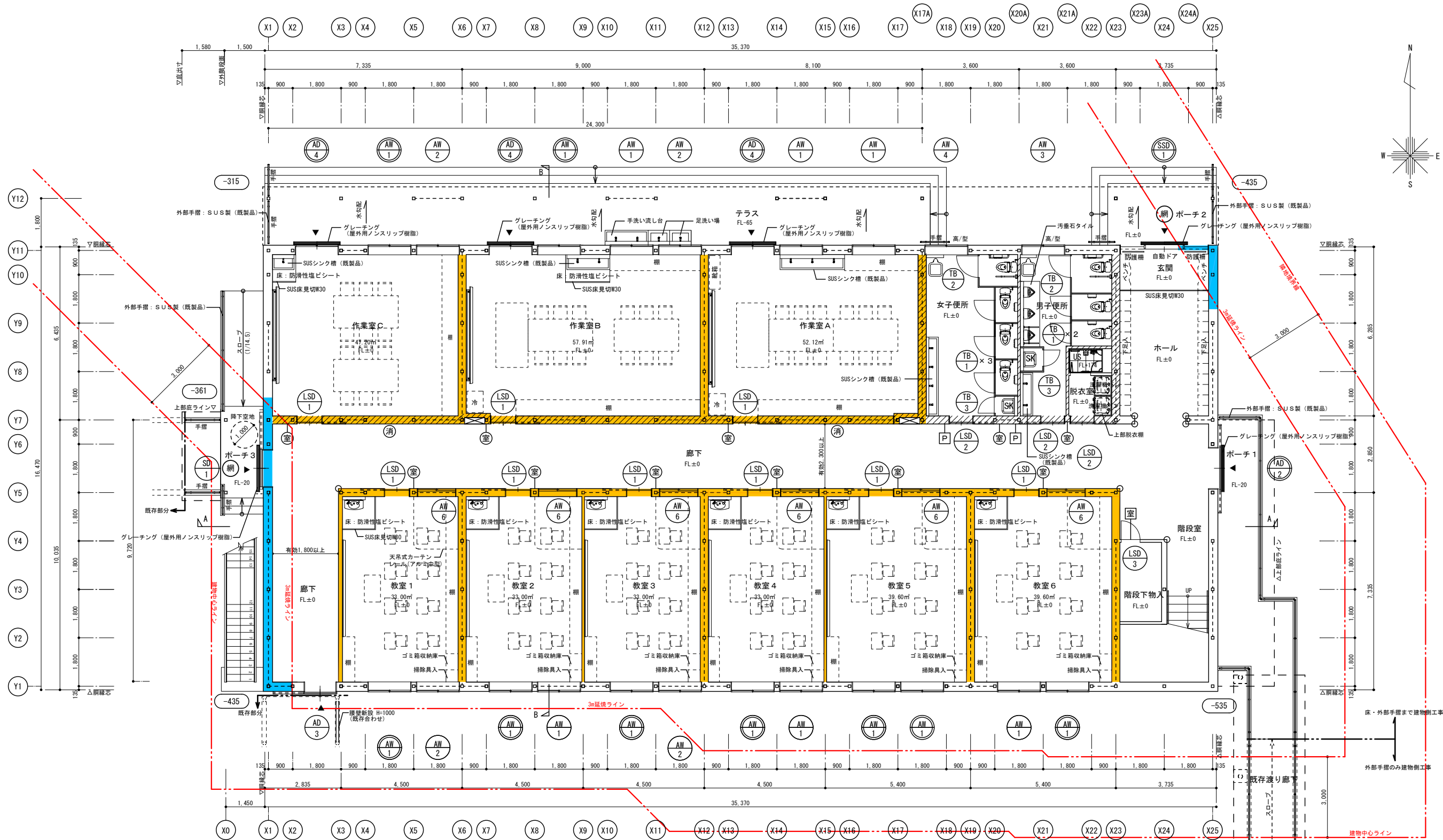


室内仕上表

階	室名	床高	天井高さ	床		壁 (外壁側) 【軸組: LGS】				壁 (間仕切壁) 【軸組: LGS】				天井 【軸組: LGS】				備考
				下地	仕上	下地	仕上	巾木	GW	下地	仕上	巾木	GW	下地	仕上	廻縁	GW	
1階	玄関	FL±0	2700	モルタル下地 A	磁質珪300角タイル	GB-R12.5	ビニルクロス	100角タイル H=100	■	GB-R9.5	ビニルクロス	100角タイル H=100	□	—	GB-P9.5 (天井)	塩ビ製	■	床見切り材SUS、防護柵、ビクチャーレール 一部腰上: シナ合板下地+掲示クロス貼
	ホール	FL±0	2700	合板t=9+4 A+ネダフォームt=50	長尺塩ビシートt=2	同上	同上	ゴム集成材+UC H=105	■	同上	同上	同上	□	—	同上	同上	■	ビクチャーレール 一部腰上: シナ合板下地+掲示クロス貼
	廊下	FL±0	2700	同上	同上	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	□	—	同上	同上	■	
	教室1~6	FL±0	2700	合板t=12 A+ネダフォームt=50	単層フローリングt=12 (一部: 防滑性塩ビシートt=2)	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	□	—	同上	同上	■	手洗い、面台 (ポストフォーム)、鏡、平面ホワイトボード
	作業室A	FL±0	2700	合板t=9+4 A+ネダフォームt=50	防滑性長尺塩ビシートt=2	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	□	—	同上	同上	■	上下ホワイトボード、面台 (ポストフォーム) SUSシンク槽 (既製品)
	作業室B	FL±0	2700	合板t=12 A+ネダフォームt=50	単層フローリングt=12 (一部: 防滑性塩ビシートt=2)	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	□	—	同上	同上	■	上下ホワイトボード、面台 (ポストフォーム) SUSシンク槽 (既製品)
	作業室C	FL±0	2700	同上	同上	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	□	—	同上	同上	■	上下ホワイトボード、面台 (ポストフォーム) SUSシンク槽 (既製品)
	脱衣室 (US)	FL±0	2500	合板t=9+4 A+ネダフォームt=50	防滑性ビニル床シート t=2	GB-NS12.5	ビニルクロス	シート立上H=100	■	GB-NS12.5 GB-R12.5	ビニルクロス	シート立上H=100	■	—	GB-D9.5 (天井)	同上	■	ユニットシャワー (US0812)、洗濯パン (2ヶ)
	女子便所	FL±0	2500	同上	同上	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	■	—	同上	同上	■	トイレブース、SUSシンク槽 (既製品) 面台 (ポストフォーム)、鏡
	男子便所	FL±0	2500	同上	同上	GB-NS12.5	ビニルクロス	同上	■	同上	同上	同上	■	—	同上	同上	■	トイレブース、SUSシンク槽 (既製品) 面台 (ポストフォーム)、鏡、小便器下部: 汚垂石タイル
	階段下物入	FL±0	-	同上	長尺塩ビシート t=2	-	GB-D12.5 (壁)	VB	■	-	GB-D12.5 (壁)	VB	□	—	階段裏表し (EP塗装)	-	■	
2階	廊下	FL±0	2700	防振マットt=4+合板t=12 B+ネダフォームt=50	長尺塩ビシート t=2	GB-R12.5	ビニルクロス	ゴム集成材+UC H=105	■	GB-R9.5 GB-R12.5	ビニルクロス	ゴム集成材+UC H=105	□	—	GB-P9.5 (天井)	塩ビ製	■	
	教室7~12	FL±0	2700	防振マットt=4+合板t=12 B+ネダフォームt=40	単層フローリング t=12 (一部: 防滑性塩ビシートt=2)	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	□	—	同上	同上	■	手洗い、面台 (ポストフォーム)、鏡、平面ホワイトボード
	カームダウン室	FL±0	2700	防振マットt=4+合板t=12 B+ネダフォームt=50	長尺塩ビシート t=2	同上	ガラスクロスボード (32kg/m3 t=25)	-	■	同上	ガラスクロスボード (32kg/m3 t=25)	-	■	—	同上	同上	■	
	倉庫	FL±0	2700	同上	同上	同上	ビニルクロス	ゴム集成材+UC H=105	■	同上	ビニルクロス	同上	□	—	同上	同上	■	
	脱衣室	FL±0	2500	同上	防滑性ビニル床シート t=2	GB-NS12.5	ビニルクロス	シート立上H=100	■	GB-NS12.5 GB-R12.5	ビニルクロス	シート立上H=100	□	—	GB-D9.5 (天井)	同上	■	ユニットシャワー (US0812)、洗濯パン (2ヶ)
	女子便所	FL±0	2500	同上	同上	同上	同上	同上	■	同上	同上	同上	■	—	同上	同上	■	トイレブース、SUSシンク槽 (既製品) 面台 (ポストフォーム)、鏡
	男子便所	FL±0	2500	同上	同上	GB-NS12.5	ビニルクロス	同上	■	同上	同上	同上	■	—	同上	同上	■	トイレブース、SUSシンク槽 (既製品) 面台 (ポストフォーム)、鏡、小便器下部: 汚垂石タイル
共通	階段室	FL±0	2500	同上	防滑性長尺塩ビシート t=2	GB-R12.5	ビニルクロス	ゴム集成材+UC H=105	■	同上	ビニルクロス	同上	□	—	GB-P9.5 (天井)	同上	■	階段: 手摺、ノンスリップ

内部仕上の略号・種類・認定番号 (参考)						複合下地の略号・種類・認定番号					
略号	種類	認定番号	略号	種類	認定番号	略号	種類	認定番号	略号	種類	認定番号
GB-R9.5	せっこうボード	QM-9828	GB-NC9.5 (壁)	不燃積層せっこうボード	NM-0441	VB	ビニル巾木 H=60		A	土間コンクリート金鍍押え	
GB-R12.5・15	せっこうボード	NM-8619	GB-P9.5 (天井)	吸音用あなあきせっこうボード	QM-9827	WB	木製巾木 15×45				
GB-F12.5・15・21	強化せっこうボード	NM-8615	GB-H9.5・12.5・15	硬質せっこうボード	NM-9645	GW	グラスウール				
GB-D9.5 (壁)	化粧せっこうボード	QM-9824	DR9・12	ロックウール化粧吸音板	NM-8599				B	コンクリート山上t=60金鍍押え +デッキプレート日鉄EZ50 (ECO60)	H12告示第1400号
GB-D12.5 (壁)	化粧せっこうボード	NM-0128	ケイカル板	けい酸カルシウム板	NM-8578 (≥t=5)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り				
GB-S9.5・12.5	シージングせっこうボード (準不燃)	QM-0898	化粧ケイカル板	化粧けい酸カルシウム板	NM-8579 (≥t=6)	EP	合成樹脂調合エマルジョンペイント塗り				
GB-NS12.5	シージングせっこうボード (不燃)	NM-9639	ビニルクロス	ビニルクロス	QM-9405	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り		C	コンパネt=12 +ポリスチレンフォームt=20 +デッキプレート	
GB-D9.5 (天井)	化粧せっこうボード	QM-0524	ビニルクロス (不燃)	不燃壁紙	NM-9899	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り				
GB-NC9.5 (天井)	不燃積層せっこうボード	NM-1864	SOP・EPなど	塗装	NM-8585	UC	水性ウレタンクリア塗り		D	硬質木片セメント板t=12 +木毛セメント板t=20 +デッキプレート	

- 共通事項
- 1: GWは24kg/m3品とする。
 - 2: 内装仕上は、全てF☆☆☆☆又は告示対象外材料にて施工する。よって、使用面積 (令第20条の7) の制限を受けない。
 - 3: 天井裏等は、全てF☆☆☆☆以上又は告示対象外材料にて施工する。
 - 4: 石綿及びクワロシリホスは使用しない。
 - 5: ライニング壁下地は、GB二重貼り使用の場合は片側をコンパネとしてよい。
 - 6: 間仕切壁にGWを入れる場合は、天井まで充填とする。(1F又は2Fの天井のみ)
 - 7: 天井仕上で一般と異なる重量のある天井下地は強度計算書を提出する。
 - 8: ネダフォーム下は調整代を見込む。
 - 9: 延焼ラインの外壁防火構造範囲で、上記8により目地を設ける場合はGB-R12.5を二重張りとする。
 - 10: 教室、作業室A、作業室B、作業室C、カームダウン室、相談室は、カーテンBOX、カーテンレール (シングル) を設置。
 - 11: 教室 (更衣スペース) は、吊下げカーテンレール設置。
 - 12: 杉板H=900はUC塗装仕上げとする。
 - 13: 巾木、見切縁はUC塗装とする。



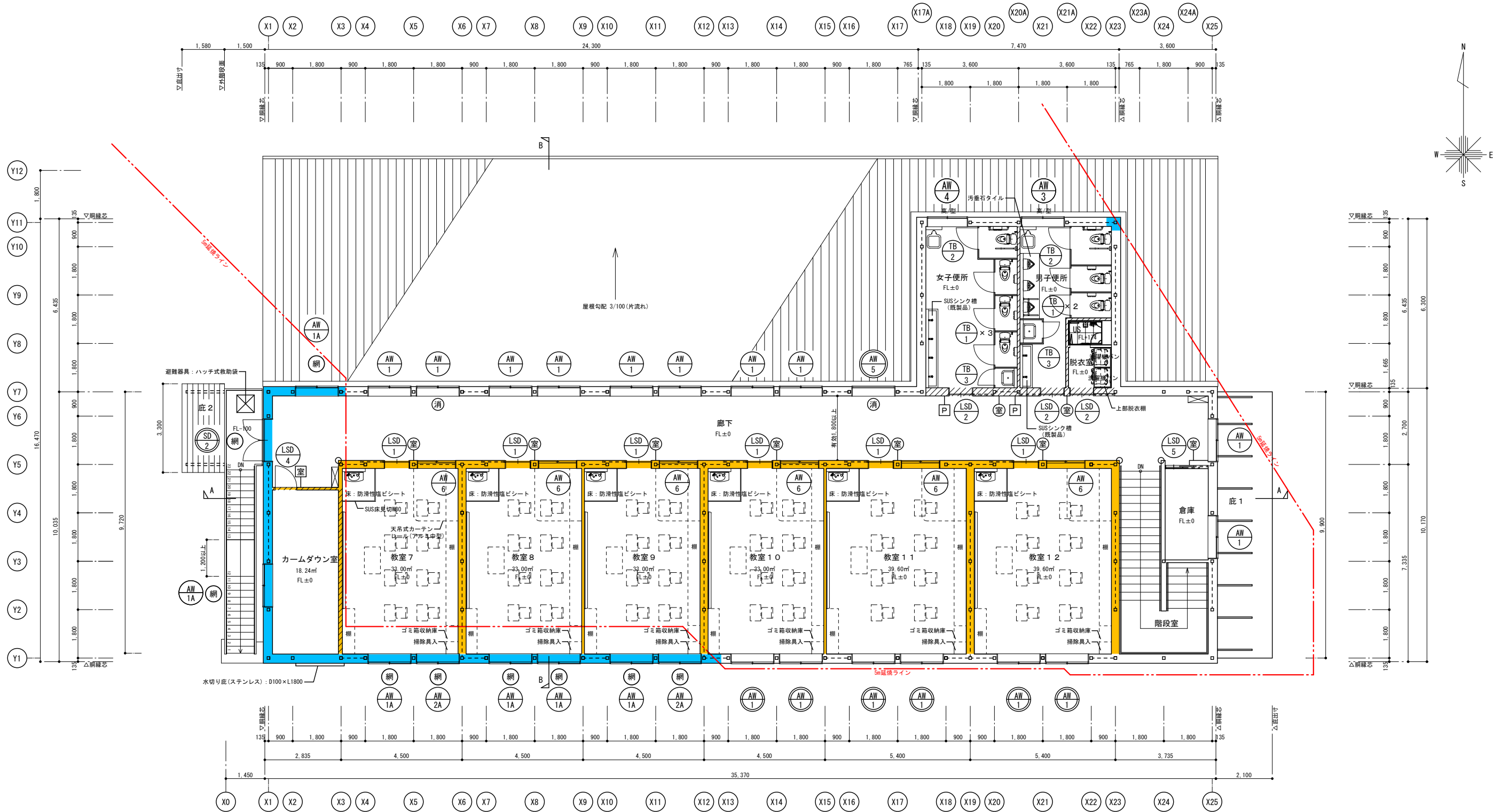
----	壁ブレースを示す
▲	外部出入口を示す
網	法第2条第9号の2ロに規定する防火設備を示す
■	防火上主要な間仕切壁を示す (令114条区画) ※小屋裏又は床裏に達せしめること (詳細はA-26図参照)
////	内部グラスウール24kg/m ³ t=50入りの間仕切壁を示す
⊗	パッケージ型消火器 W750×H1400×D250
○	消火活動上有効開口部を示す
○	コーナーガード位置を示す
⊙	消火器位置を示す

○○○○	FLからの高さを示す
■	外壁は防火構造範囲を示す (延焼ライン内)
----	別途工事を示す
※	※地盤面は 1FL-427
※	※火気使用室はなし
※	※消火器ボックスは壁埋込型とする

鋼製外階段 (手摺付)	鋼製内階段
有効巾: 900以上	有効巾: 1400以上
蹴上: 150	蹴上: 148.86
踏面: 260	踏面: 300
手摺: D=100以下	手摺: D=100以下

サイン凡例	
⊙	持出式室名札 アクリル板 W325×H80 11か所
⊙	平付式室名札 アクリル板 W300×H60 1か所
P	平付式ピクトサイン アクリル板 200×200 2か所

1階平面図 S=1/75



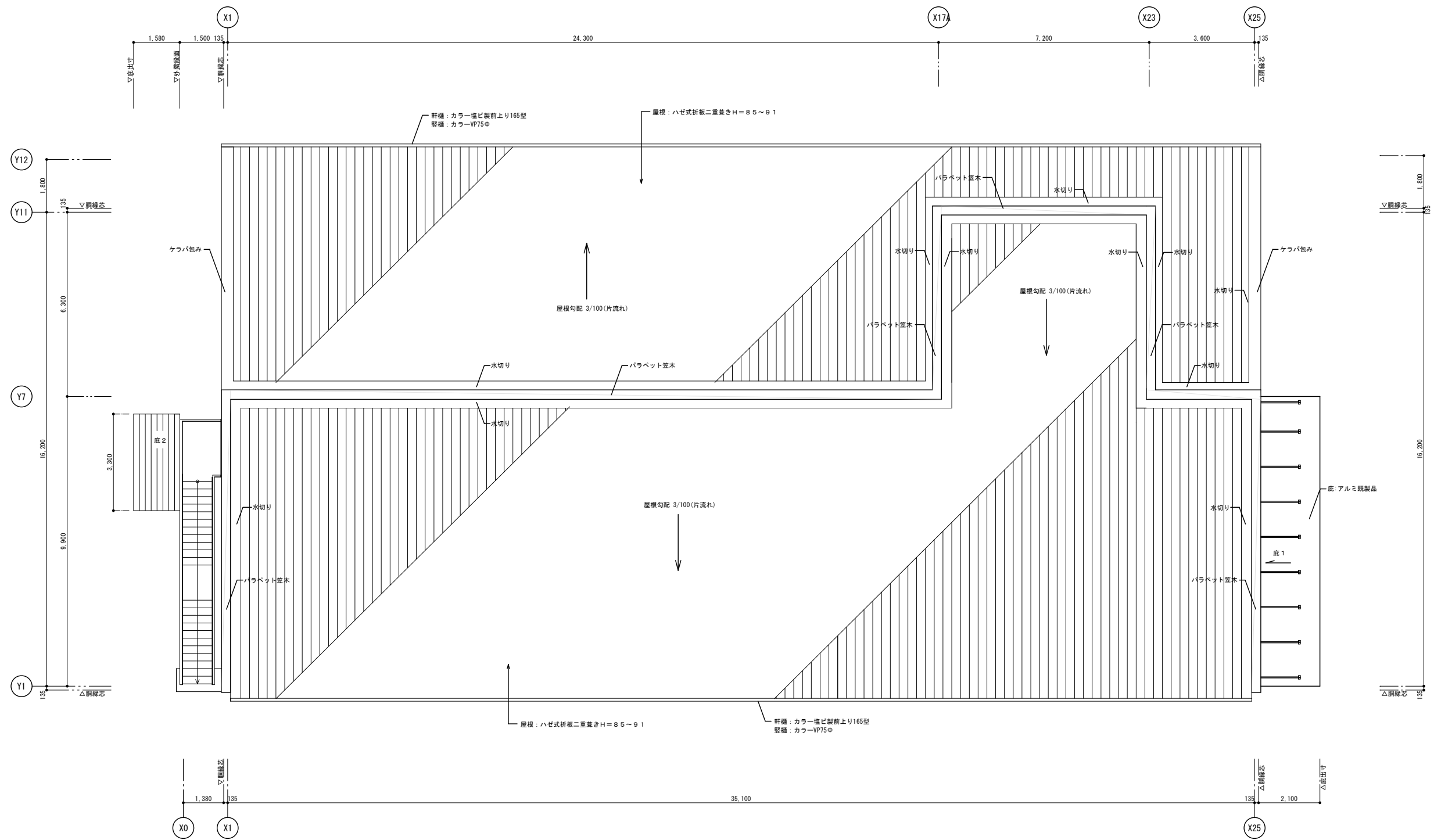
2階平面図 S=1/75

凡例	
----	壁ブレースを示す
▲	外部出入口を示す
○	法第2条第9号の2ロに規定する防火設備を示す
■	防火上主要な間仕切壁を示す (令114条区画) ※小屋裏又は天井裏に達せしめること (詳細はA-17図参照)
////	内部ガラスウール24kg/m ³ t=50入りの間仕切壁を示す
⊗	パッケージ型消火栓 W750×H1400×D250
○	消火活動上有効開口部を示す
○	コーナーガード位置を示す
⊙	消火器位置を示す

○○○○	FLからの高さを示す
■	外壁は防火構造範囲を示す (延焼ライン内)
----	別途工事を示す
※火気使用室はなし	
※消火器ボックスは壁埋込型とする	

サイン凡例	
⊙	持出式室名札 アクリル板 W310×H80 9か所
⊙	平付式室名札 アクリル板 W300×H60 1か所
⊙	平付式ピクトサイン アクリル板 200×200 2か所

⊙	持出式室名札 《参考図》	1/5	⊙	平付式室名札 《参考図》	1/5	⊙	平付式ピクトサイン 《参考図》	1/5



屋根伏図 S=1/75

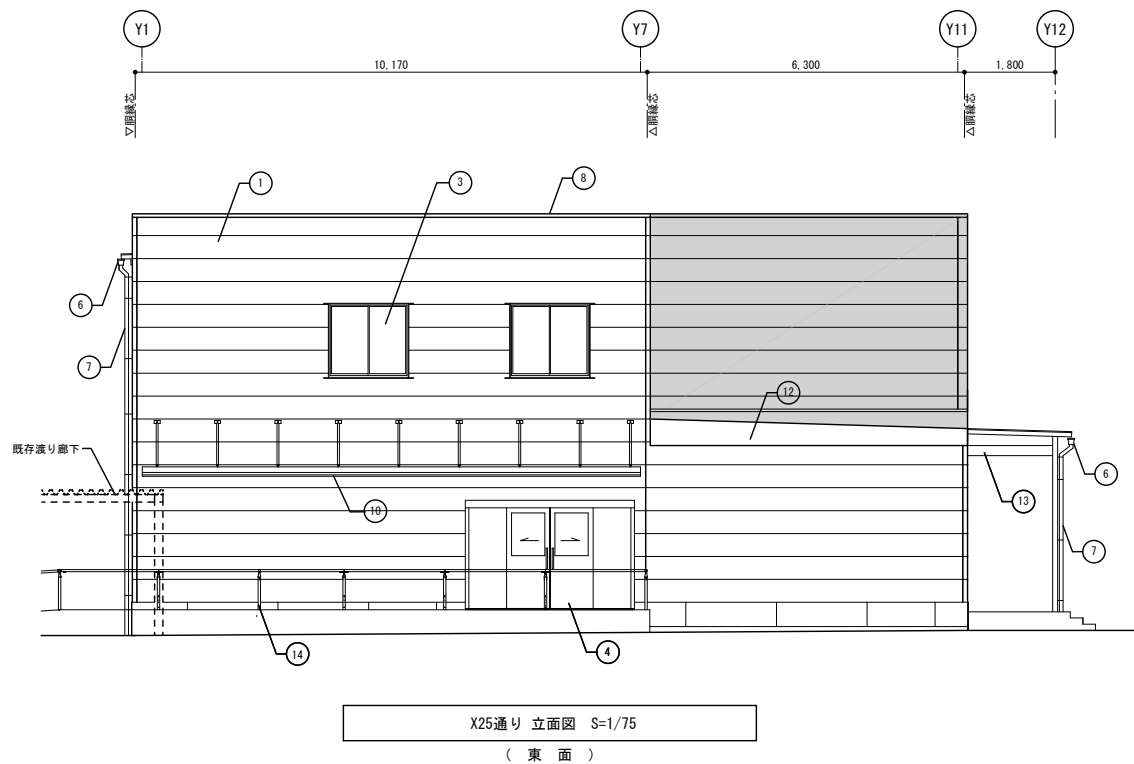
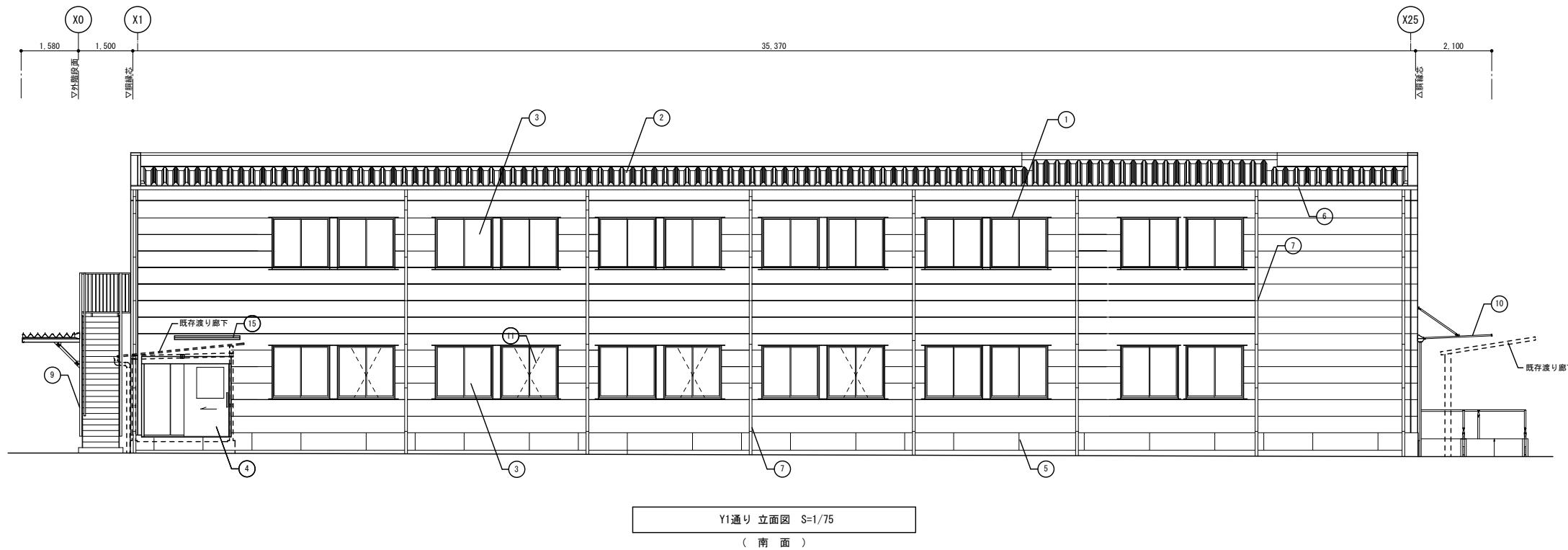
凡例		
水切り (雨押え)	塗装ガルバリウム鋼板t=0.6 (防露材裏貼)	※屋根部分詳細図参照
	水切り下地: 硬質木片セメント板t=12	
パラペット笠木	アルミ製 (既製品)	※屋根部分詳細図参照
ケラバ包み	塗装ガルバリウム鋼板t=0.6	※屋根部分詳細図参照
庇	アルミ既製品	

設計変更年月日	
1回	年月日
2回	年月日
3回	年月日

工事内容	
金立特別支援学校教室棟整備事業	
図面内容	
屋根伏図	

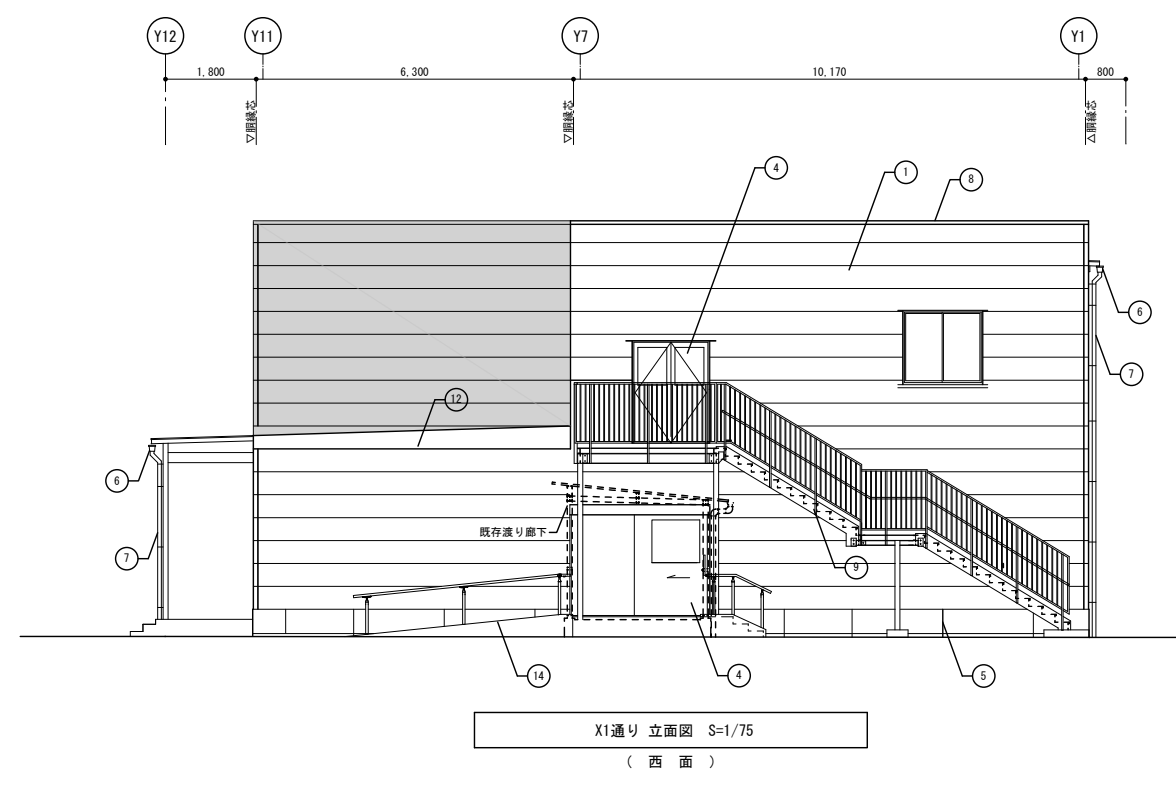
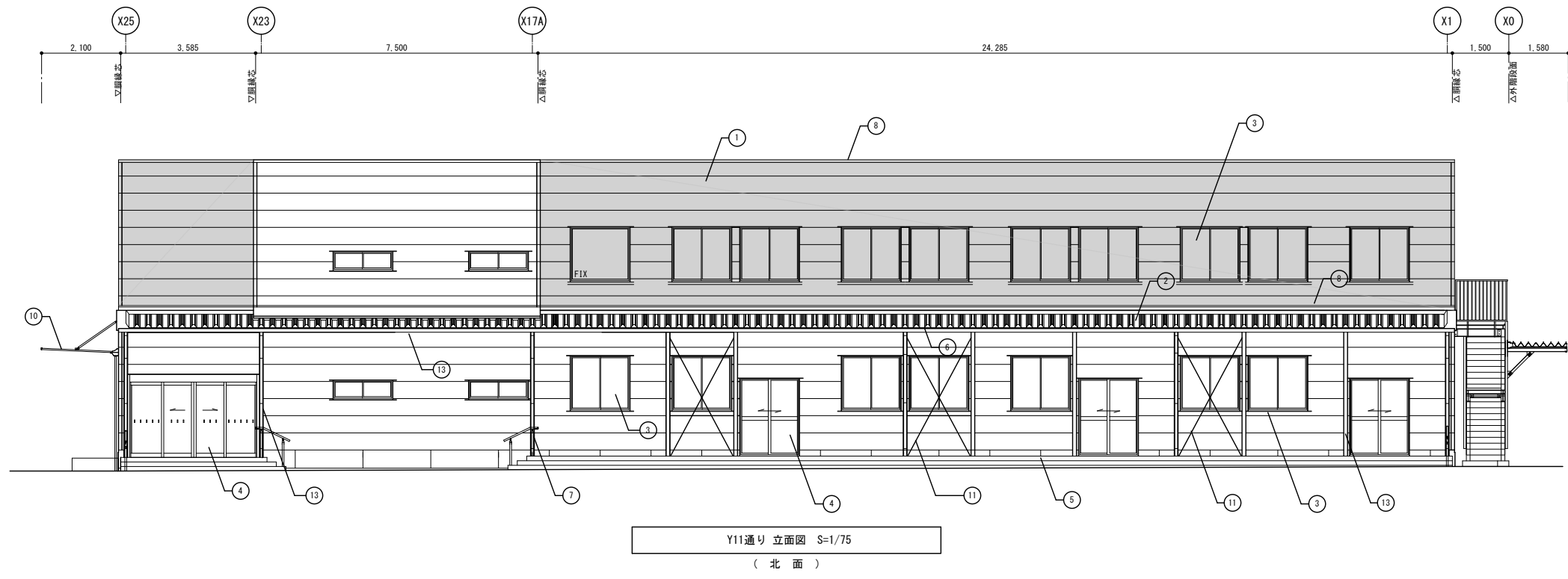
縮尺	
A1: 1/75	A3: 1/150
設計年月日	

佐賀県土木整備部建築住宅課	
一級建築士登録第 号	



外部仕上表		
①	外壁	窯業系サイディング
②	屋根	ハゼ式折板二重葺き
③	窓	アルミサッシ
④	出入口	アルミ製戸
⑤	外部巾木	コンクリート打ち放し補修 (誘発目地W=20@1800以内)
⑥	軒樋	塩ビ製
⑦	壁樋	塩ビ製
⑧	笠木	アルミ製
⑨	外部階段	鋼製 (メッキ塗装)
⑩	庇	片持式アルミ製既製品
⑪	ブレース	内部丸鋼ブレース
⑫	ケラバ包み	塗装ガルバリウム鋼板
⑬	柱・梁	鉄部 (メッキ塗装)
⑭	スロープ	コンクリート・SUS製手摺
⑮	水切り庇	ステンレス D100×L1800

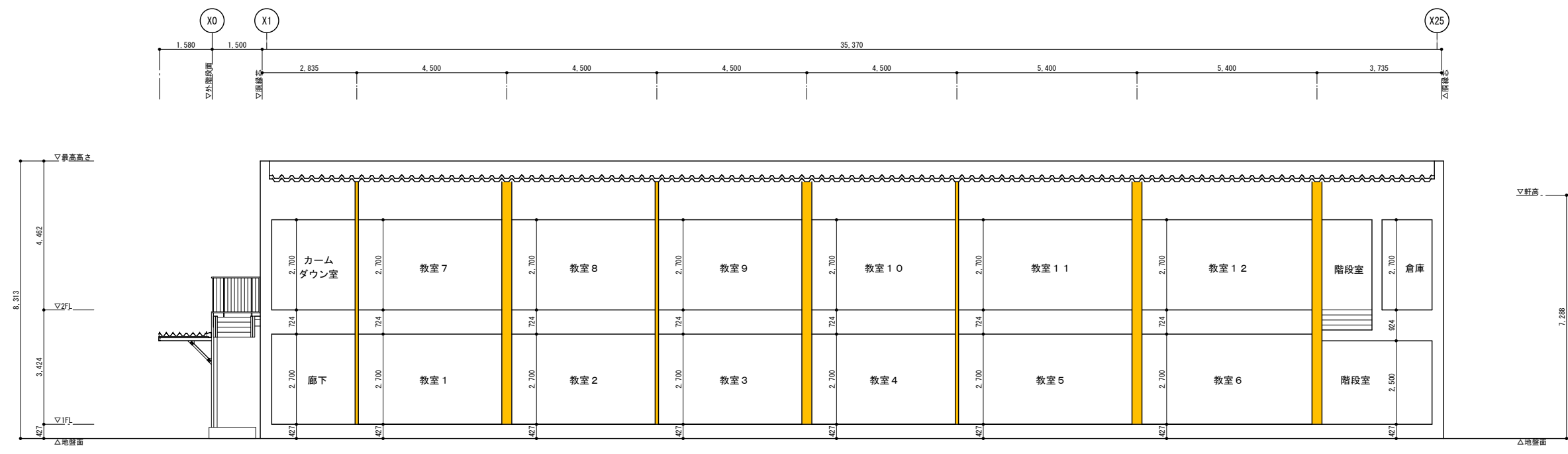
※外壁のタテ目地はメーカー仕様により施工すること
 ※外部使用の金物、ネジ、ビスは溶融亜鉛めっきまたはステンレスとする



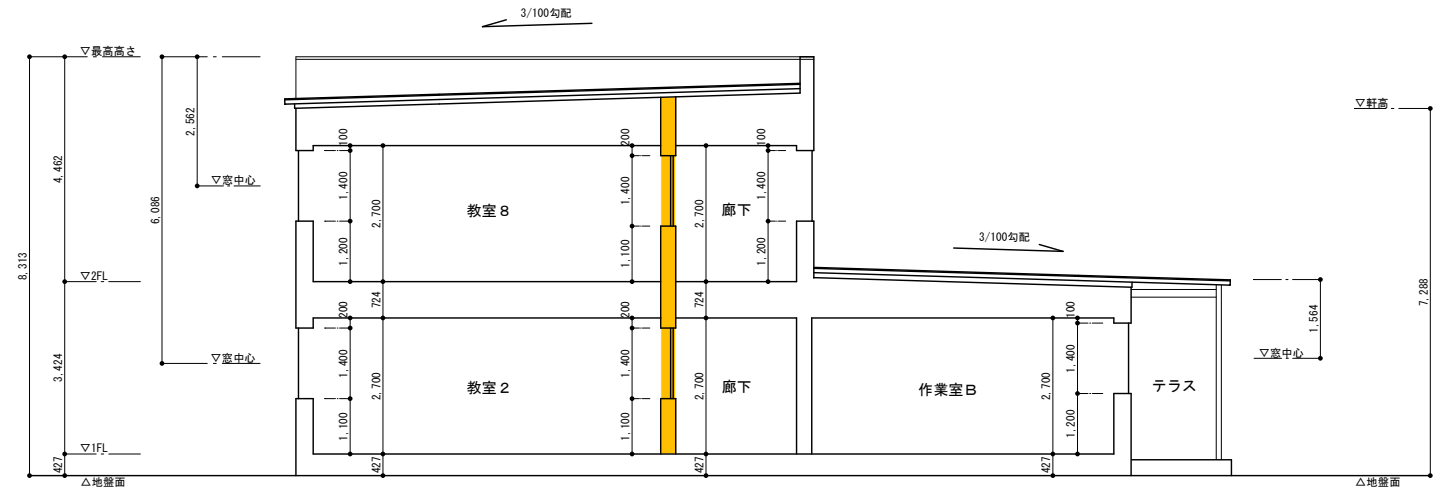
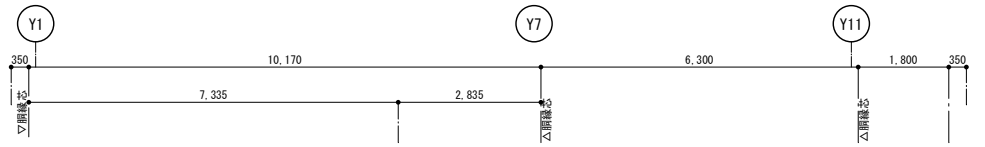
外部仕上表

①	外壁	窯業系サイディング
②	屋根	ハゼ式折板二重葺き
③	窓	アルミサッシ
④	出入口	SUS製自動ドア、アルミ製戸、スチール製戸
⑤	外部巾木	コンクリート打ち放し補修 (誘発目地W=20@1800以内)
⑥	軒樋	塩ビ製
⑦	壁樋	塩ビ製
⑧	笠木	アルミ製
⑨	外部階段	鋼製 (メッキ塗装)
⑩	庇	片持式アルミ製既製品
⑪	ブレース	内部丸鋼ブレース
⑫	ケラバ包み	塗装ガルバリウム鋼板
⑬	柱・梁	鉄部 (メッキ塗装)
⑭	スロープ	コンクリート・SUS製手摺

※外壁のタテ目地はメーカー仕様により施工すること
 ※外部使用の金物、ネジ、ビスは溶融亜鉛めっきまたはステンレスとする



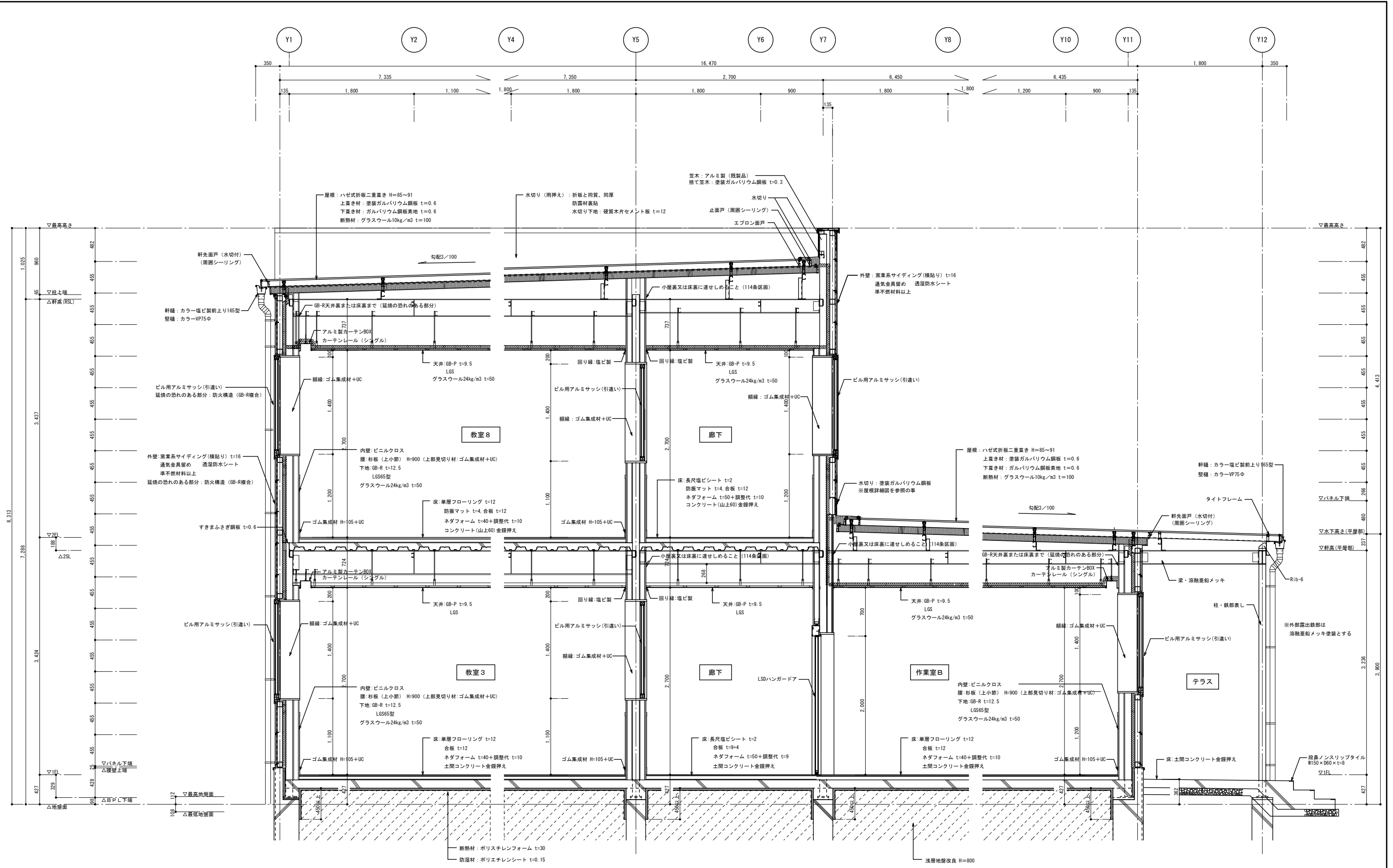
A-A 断面図 S=1/75



B-B 断面図 S=1/75

凡例

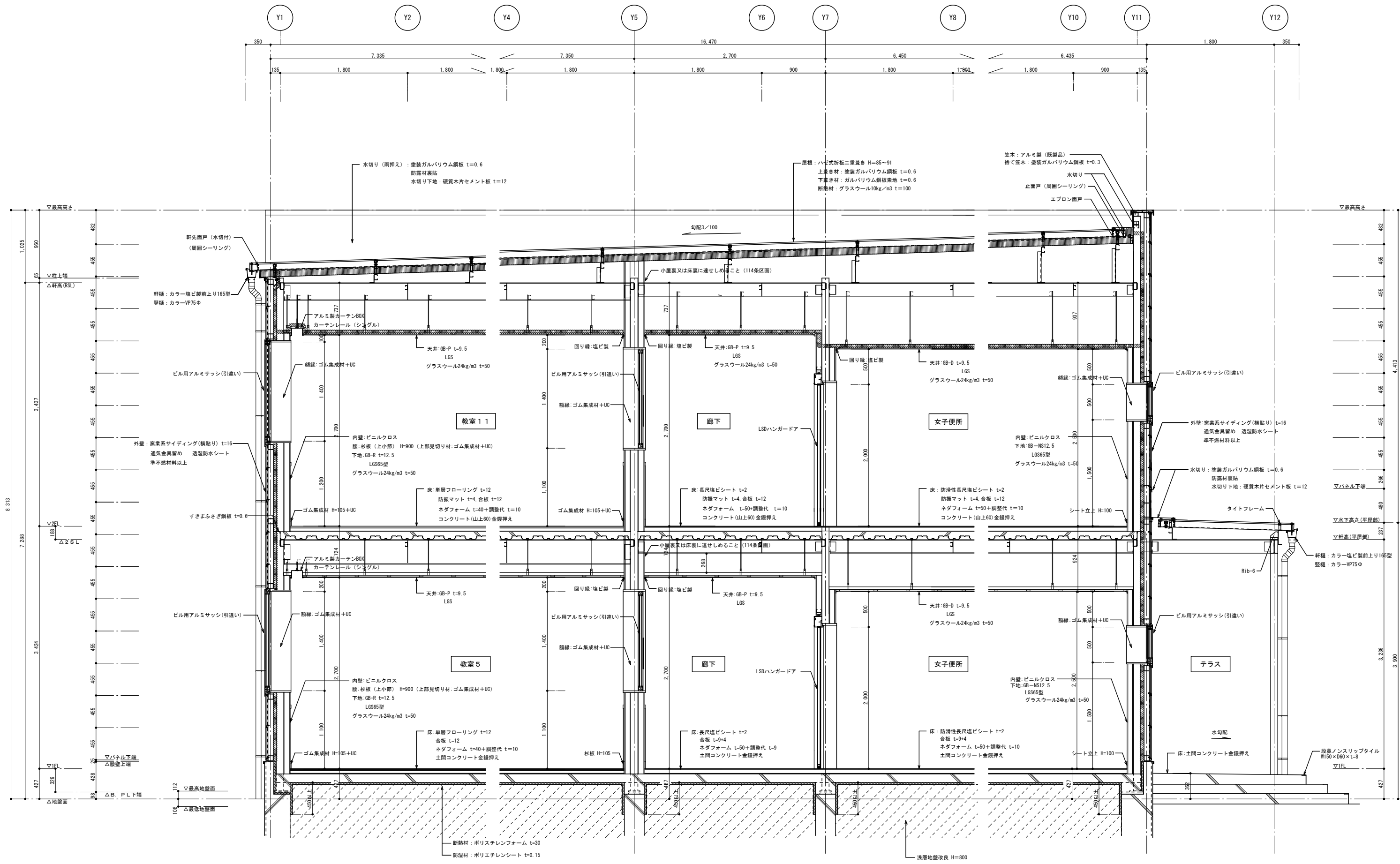
	防火上主要な間仕切壁を示す (令114条区画)
	※小屋裏又は床裏に達せしめること (詳細はA-26図参照)



矩計図(1) S-1/25

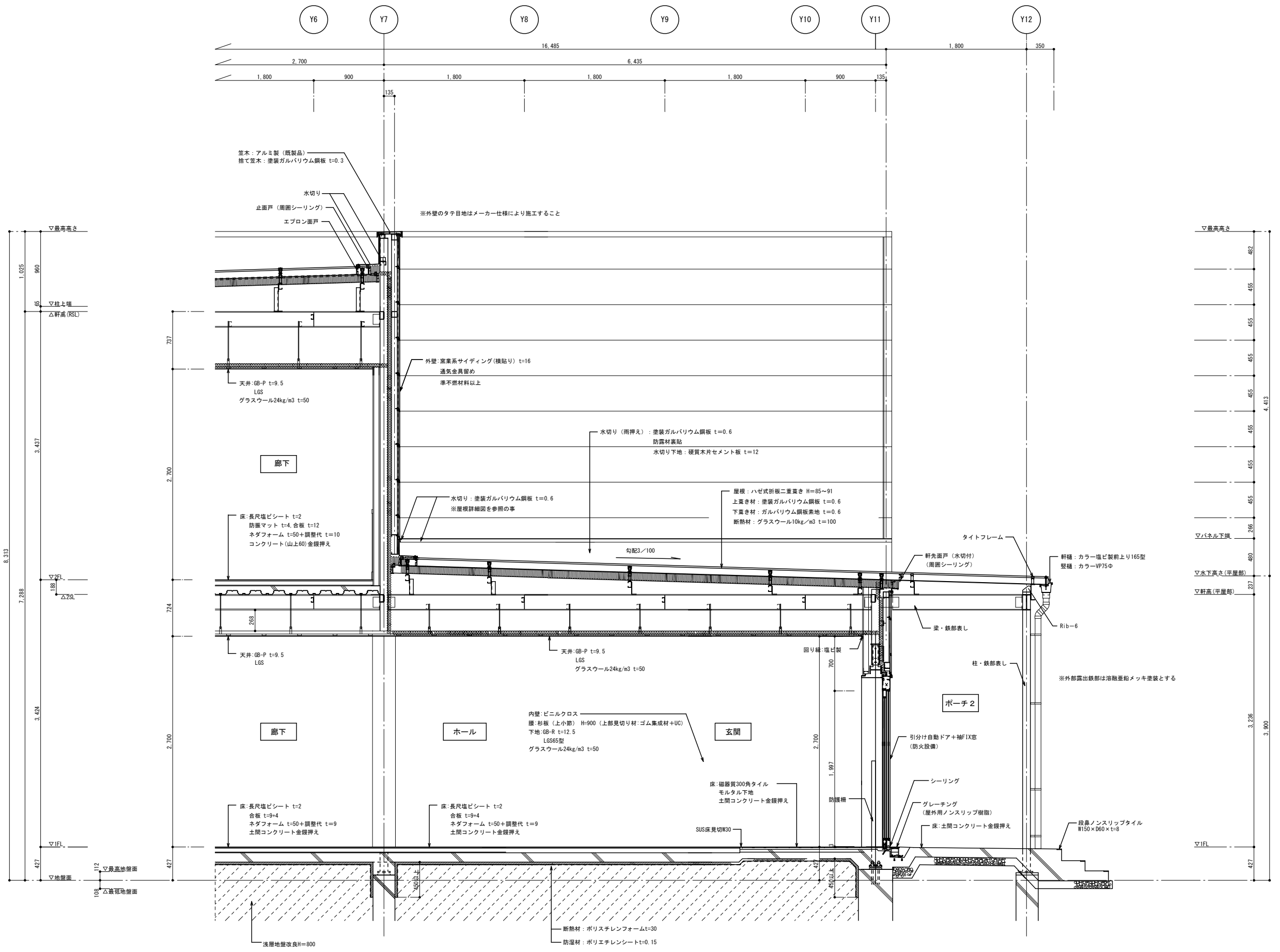
設計変更年月日	1回	年 月 日	H 事務	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺 A1: 1/25 A3: 1/50	佐賀県県土整備部建築住宅課	図 番 号 A
	2回	年 月 日					
	3回	年 月 日					
設計	年 月 日	図 番 号 A	縮尺 A1: 1/25 A3: 1/50	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺 A1: 1/25 A3: 1/50	佐賀県県土整備部建築住宅課	図 番 号 A

矩計図(1)



矩計図(2) S=1/25

設計変更年月日	1回	年 月 日	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺 A1: 1/25 A3: 1/50	佐賀県土木整備部建築住宅課	図号 A
	2回	年 月 日				
	3回	年 月 日				
設計年月日			矩計図(2)	設計年月日	一般建築士登録第 号	27



矩計図 (3) S=1/25

設計変更年月日 1回 年 月 日 2回 年 月 日 3回 年 月 日	工事名 金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺 A1: 1/25 A3: 1/50	図番 A
	図名 矩計図 (3)	設計 年 月 日	佐賀県県土整備部建築住宅課 一級建築士登録 第 号
			28

建具工事共通事項		各種建具の共通事項		標準建具金物		法規制の種類と符号					
一般事項		各種建具の共通事項		形式		その他金物					
1 建具工事に該当する範囲は建具キープランに明示する。造作家具を除くものとする。 2 扉は、指定の無い限り両面フラッシュとする。 3 握玉、レバーハンドルの高さは、建具表に記載の無い場合FL+1000とする。 4 引手、押板の高さは、建具表に記載の無い場合FL+1100とする。 5 排煙用オペレーターの高さは、建具表に記載の無い場合FL+1500以下とする。 6 建具操作の信号および電源の配線、配管、接続工事は設備工事とし、その他は建具工事とする。 7 扉の開き勝手、扉の位置は平面図、建具キープラン、平面詳細図等による。 8 各扉の丁番は、特記無き場合ステンレス製とし、鋼製建具の場合は旗丁番 127mm×3枚吊りとする。 9 ドアクローザ(DC)は、特記無き場合、露出型ヒューズ無しとする。また、取付け面についても特記無き場合、建具表に記載の室名側に取付ける。 10 枠およびドアガラの材質仕上は、特記無き場合、扉と同材とする。 11 親子扉および両開き扉のドアクローザ(DC)は、特記無き場合、片側設置(防火戸を除く)とする。 12 防火戸に取り付け、フロアヒンジ・オートヒンジ・ドアクローザ(DC)は、ストッパーなしとする。 13 両開きおよび親子開きの防火戸は、順位調整器付きとする。 14 キーシステムは下記による。 ○グランドマスターキー (GMK) 本/組 ○同一キー 本/組 ●マスターキー (MK) 3本/1組 ○マスターキーなし 15 記載の無い事項については、システム特記仕様書による。		■ 鋼製建具 1 建具表に記載の無い場合、扉の厚さは以下のように定める。(A: 扉面積㎡) 40mm(A≤2.5㎡)、45mm(2.5㎡<A≤3.5㎡)、 50mm(3.5㎡<A≤5㎡)、60mm(A>5㎡) 2 枠材厚さは、外部廻りt2.3、内部はt1.6とし、扉のフラッシュ板はt1.6とする。 ■ 鋼製軽量建具 1 鋼製軽量扉は、扉厚40mmベーパーハニカム芯、両面鋼板t0.6とする。 ■ 木製建具 1 建具表に記載の無い場合、扉厚さは36mmとする。		両・親子開き戸 片開き戸 片引き戸 引違い窓 引違い戸 たてすべり出し窓 内開き・片開き窓 内倒し・外倒し窓 外倒し・突出し窓(排煙窓) ガラリ		H L L H L L ドアハンガー・付属金物 戸車・レール 戸車・レール フリクションステー H H H - -		戸当たり、DC、フランス落とし 戸当たり、DC 引き手 引き手、網戸 引き手 カムラッチハンドル カムラッチハンドル トップラッチ アームストッパー(あおり止め) アーム ステアダンパー・オペレーター フラッシングまたは合フランジとする			
建具の種類と符号		ガラスの種類と符号		仕上の種類と符号		錠、金物等の種類と符号					
SD 鋼製扉 PW 樹脂製窓 SS 鋼製シャッター LSD 鋼製軽量扉 SG 鋼製ガラリ AS アルミ製シャッター SSD ステンレス製扉 SSG ステンレス製ガラリ SIW スライディングウォール AD アルミ製扉 AG アルミ製ガラリ P パーティション WD 木製扉 WG 木製ガラリ F 三方枠 AW アルミ製窓 PG 合成樹脂ガラリ TB トイレブース		FL フロート板ガラス L 合せガラス F 型板ガラス T 強化ガラス FWG 網入型板ガラス FT 強化型ガラス PWG 網入磨き板ガラス A 複層ガラス空気層 HG 熱線吸収ガラス AL アルミパネル無垢 RG 熱線反射ガラス AP アルミサンドイッチパネル LowE Low-Eガラス		A1 陽極酸化塗装複合被膜A1種 AE アクリル樹脂エナメル A2 陽極酸化塗装複合被膜A2種 UC 水性ウレタンクリア塗り HL ヘアライン OS オイルステン DP 耐候性塗装 FS 化粧フィルムシート貼 SOP 合成樹脂調合ペイント PPW ポリエステル化粧合板 FE フタル酸樹脂エナメル MPW メラミン化粧合板		DL 本締錠 GL グレモン錠 H 丁番 LL レバーハンドル錠 EL 非常用錠 FH フロアヒンジ ML モノロック (非常開装置付本締錠) PH ピボットヒンジ DML 本締錠付モノロック E 電気錠 LH ラバトリーヒンジ C ケースハンドル DHL 表示錠 GH グレビティヒンジ CH ケースハンドル錠 SL 空錠 DC ドアクローザ		特 特定防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第1号 防 防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第1号 特 特定防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第2号 防 防火設備(常時閉鎖式)令112条第19項第2号 (遮煙性能) 特1 特定防火設備(随時閉鎖式・煙感連動式・遮煙性能) 防1 防火設備(随時閉鎖式)令112条第19項第2号 (遮煙性能) 網 法第2条第9号の2口に規定する防火設備 不 不燃扉(常時閉鎖式)			
符号	取付場所	法規制	AW 1	AW 1A	AW 2	AW 2A	AW 3	AW 4	AW 5	AW 6	
数量	形式		31	6	4	2	2	2	2	1	
姿図											
仕上	見込	A1	70	A1	70	A1	70	A1	70	A1	70
ガラス種類	厚さ(mm)	T4(内)+A6+LowE4(外)		PWG6.8(内)+A6+LowE5(外)		T4(内)+A6+LowE4(外)		PWG6.8(内)+A6+LowE5(外)		FT4	
特記										合成樹脂 T4	
符号	取付場所	法規制	SSD 1	AD 2	AD 3	AD 4	SD 1	SD 2			
数量	形式		1	1	1	3	1	1			
姿図											
仕上	見込	HL	100	A1	100	A1	70	D P	100	D P	100
ガラス種類	厚さ(mm)	PWG6.8		T4(内)+A6+LowE4(外)		T4(内)+A6+LowE4(外)		D P		PWG6.8	
特記		自動ドアエンジン・センサー、付属金物、シリンドラーサムターン錠		ドアハンガー・付属金物、引棒、シリンドラーサムターン錠		ドアハンガー・付属金物、引棒、錠錠		ドアハンガー・付属金物、引棒、錠錠		錠錠装置(常時閉鎖)、指はさみ防止	
符号	取付場所	法規制	LSD 1	LSD 2	LSD 3	LSD 4	LSD 5	TB 1	TB 2	TB 3	
数量	形式		15	6	1	1	1	1	10	4	4
姿図											
仕上	見込	焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		焼付塗装		MPW	
ガラス種類	厚さ(mm)	T4		FT4		T4		FT4		MPW	
特記		ドアハンガー・付属金物、引棒、シリンドラーサムターン錠		ドアハンガー・付属金物、引棒		ドアハンガー・付属金物、引棒		ドアハンガー・付属金物、引棒		GH、ステンレス巾木、表示錠	

設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

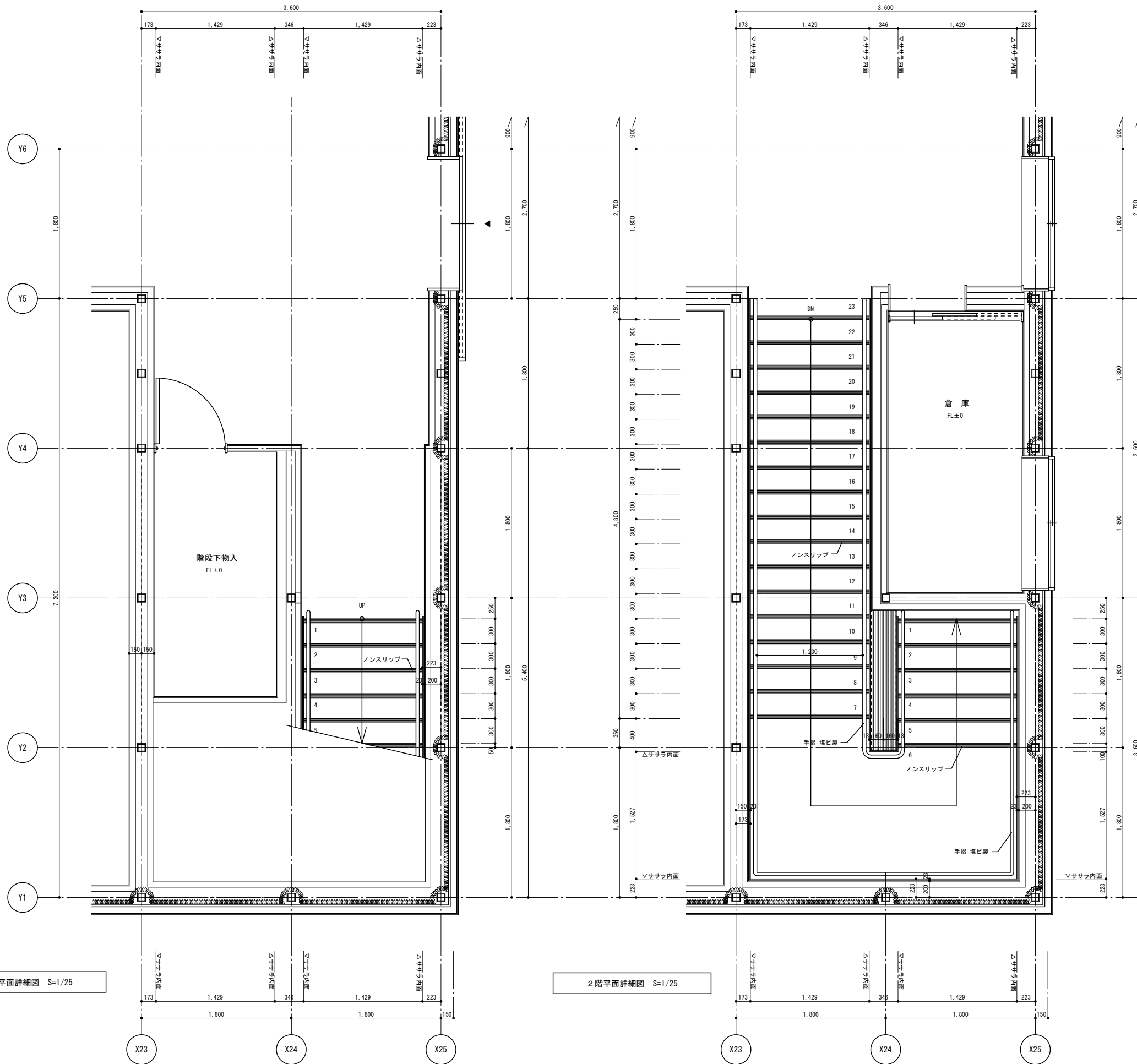
工事名	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	図番	A
図面名	建具表	設計	年月日	佐賀県土木整備部建築住宅課	9

外部建具表														
建具符号		建具の種類と符号				ガラスの種類と符号				仕上の種類と符号				
建具種類 AW 1 建具番号	SD 鋼製扉 LSD 鋼製軽量扉 AD アルミ製扉 WD 木製扉 AW アルミ製窓 PW 樹脂製窓 SG 鋼製ガラリ SSG ステンレス製ガラリ	AG アルミ製ガラリ PG 合成樹脂ガラリ SS 鋼製シャッター AS アルミ製シャッター SIW スライディングウォール SID スライディングドア	FL フロート板ガラス F 型板ガラス FWG 網入型板ガラス PWG 網入磨き板ガラス HG 熱線吸収ガラス RG 熱線反射ガラス T 強化ガラス FT 型板強化ガラス	L 合せガラス LowE Low-Eガラス A 複層ガラス空気層 AL アルミパネル無垢 AP アルミサンドイッチパネル	A1 陽極酸化塗装複合被膜A1種 A2 陽極酸化塗装複合被膜A2種 HL ヘアライン DP 耐候性塗装 SOP 合成樹脂調合ペイント FE フタル酸樹脂エナメル	AE アクリル樹脂エナメル UC 水性ウレタンクリア塗り OS オイルステン FS 化粧フィルムシート貼 PPW ポリエステル化粧合板 MPW メラミン化粧合板	符号	取付場所	形式	姿図	仕上	見込	ガラス種類 厚さ(mm)	排煙有効面積 (m2)
AW1	1階:教室、作業室A、作業室B、作業室C 2階:教室、カムダウン室、廊下	AW2 AW2A	1階:教室1、教室3、作業室B、作業室C 2階:教室7、教室9	AD4	1階:作業室A、作業室B、作業室C	SSD1	1階:玄関	AD2	1階:廊下	SD2	2階:廊下	AW5	2階:廊下	
	引違い窓	引違い窓	引違い戸	引分け自動ドア+袖FIX窓	引分けハンガー戸	両開き戸	FIX窓							
	A1	A1	A1	HL	A1	DP	A1							
	AW-1:T4(内)+A6+LowE4(外)/AW-1A:PWG6.8(内)+A6+LowE5(外)	AW-2:T4(内)+A6+LowE4(外)/AW-2A:PWG6.8(内)+A6+LowE5(外)	上部:T4(内)+A6+LowE4(外) 下部:アルミパネル	PWG6.8	T4(内)+A6+LowE4(外)	PWG6.8	T4(内)+A6+LowE4(外)							
	S1a S1b	S2	S3											
	V1	V2	V3											
	L1	L2												
	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7							

法規チェック (根拠法令は■が対象)													
階	室名	計算式	面積 (m2)	換気計算 (法28条2項)			採光計算 (■法28条1項 ■令116条の2 1項一号)			排煙計算 (■令128条の3の2 一号)			
				必要面積 (m2)	計画面積 (m2)	判定	必要面積 (m2)	計画面積 (m2)	判定	必要面積 (m2)	計画面積 (m2)	判定	
1階	教室1、3	7.335 × 4.500	33.00	A × 1/20 = 1.65 <	V1 × 1 + V2 × 1 = 1.89	OK	A × 1/5 = 6.60 <	(L1 × 1 + L2 × 1) × 3.0 = 12.21	OK	A × 1/50 = 0.66 <	S1a × 1 + S2 × 1 = 0.81	OK	
	教室2、4	7.335 × 4.500	33.00	A × 1/20 = 1.65 <	V1 × 2 = 1.96	OK	A × 1/5 = 6.60 <	L1 × 2 × 3.0 = 12.60	OK	A × 1/50 = 0.66 <	S1a × 2 = 0.84	OK	
	教室5、6	7.335 × 5.400	39.60	A × 1/20 = 1.98 >	V1 × 2 = 1.96 ... 換気設備設置	OK	A × 1/5 = 7.92 <	L1 × 2 × 3.0 = 12.60	OK	A × 1/50 = 0.79 <	S1a × 2 = 0.84	OK	
	作業室A	6.435 × 8.100	52.12	A × 1/20 = 2.60 <	V1 × 2 + V3 × 1 = 3.31	OK	A × 1/5 = 10.42 <	L1 × 2 × 3.0 = 12.60	OK	A × 1/50 = 1.04 <	S1b × 2 + S3 × 1 = 1.06	OK	
	作業室B	6.435 × 9.000	57.91	A × 1/20 = 2.89 <	V1 × 2 + V2 × 1 + V3 × 1 = 4.22	OK	A × 1/5 = 11.58 <	(L1 × 2 + L2 × 1) × 3.0 = 18.51	OK	A × 1/50 = 1.16 <	S1b × 2 + S2 × 1 + S3 × 1 = 1.45	OK	
	作業室C	6.435 × 7.335	47.20	A × 1/20 = 2.36 <	V1 × 1 + V2 × 1 + V3 × 1 = 3.24	OK	A × 1/5 = 9.44 <	(L1 × 1 + L2 × 1) × 3.0 = 12.21	OK	A × 1/50 = 0.94 <	S1b × 1 + S2 × 1 + S3 × 1 = 0.96	OK	
2階	教室7、9	7.335 × 4.500	33.00	A × 1/20 = 1.65 <	V1 × 1 + V2 × 1 = 1.89	OK	A × 1/5 = 6.60 <	(L1 × 1 + L2 × 1) × 3.0 = 12.21	OK	A × 1/50 = 0.66 <	S1b × 1 + S2 × 1 = 0.88	OK	
	教室8、10	7.335 × 4.500	33.00	A × 1/20 = 1.65 <	V1 × 2 = 1.96	OK	A × 1/5 = 6.60 <	L1 × 2 × 3.0 = 12.60	OK	A × 1/50 = 0.66 <	S1b × 2 = 0.98	OK	
	教室11、12	7.335 × 5.400	39.60	A × 1/20 = 1.98 >	V1 × 2 = 1.96 ... 換気設備設置	OK	A × 1/5 = 7.92 <	L1 × 2 × 3.0 = 12.60	OK	A × 1/50 = 0.79 <	S1b × 2 = 0.98	OK	
	カムダウン室	6.435 × 2.835	18.24	A × 1/20 = 0.91 <	V1 × 1 = 0.98	OK	A × 1/20 = 0.91 <	L1 × 1 × 3.0 = 6.30	OK	A × 1/50 = 0.36 <	S1b × 1 = 0.49	OK	

消防無窓階の検討				
階	必要面積 (m2)	判定	計画面積 (m2)	判定
1階	626.28 × 1/30 = 20.87	<	F1 × 8 + F3 × 3 + F4 × 1 + F5 × 1 = 26.34	有窓階
2階	406.66 × 1/30 = 13.55	<	F1 × 6 + F6 × 1 + F7 × 1 = 17.64	有窓階

●採光補正係数の算定 (1階)
 ※逆算法、K=3.0の場合のD(水平距離)を算出
 無指定:D/H×10-1.0=3.0より(h寸法は断面図参照)
 D=(3.0+1.0)/10×6.086=2.4344
 必要全面水平距離:D=(2.4344+0.35)=2.7844
 よって 本設計は 全面水平距離D=2.800m以上確保できるため K=3.0とする。



1階平面詳細図 S=1/25

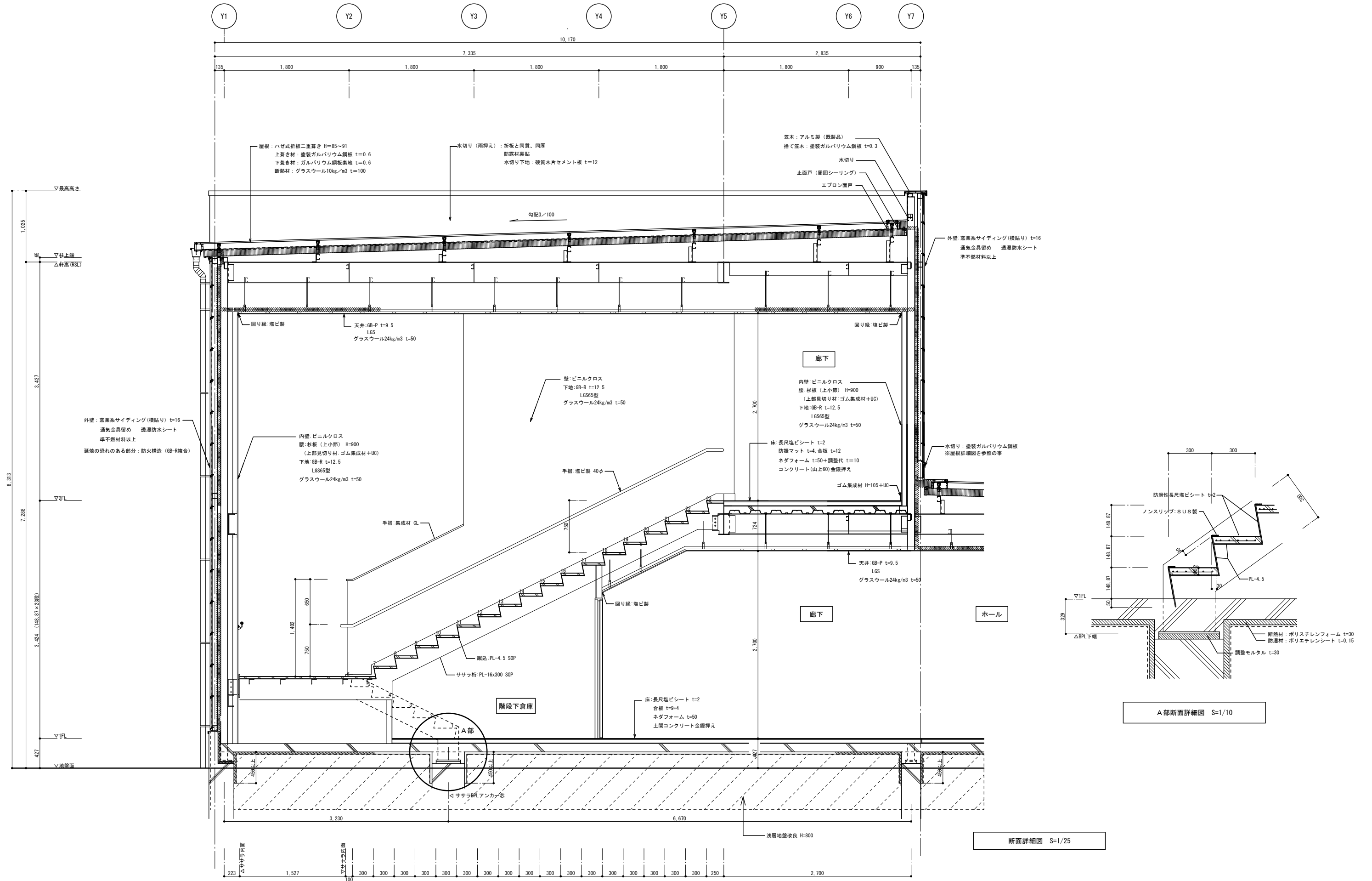
2階平面詳細図 S=1/25

設計変更年月日	
1回 年 月 日	
2回 年 月 日	
3回 年 月 日	

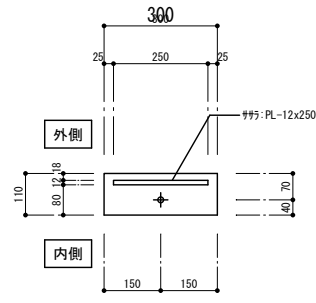
図番	1
図名	内部階段 平面詳細図

縮尺	A1: 1/25 A3: 1/50
設計	年月日

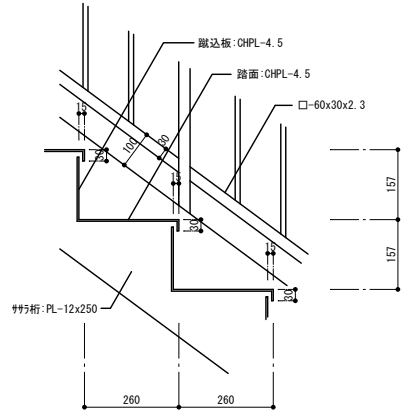
佐賀県県土整備部建築住宅課
一級建築士登録第 号



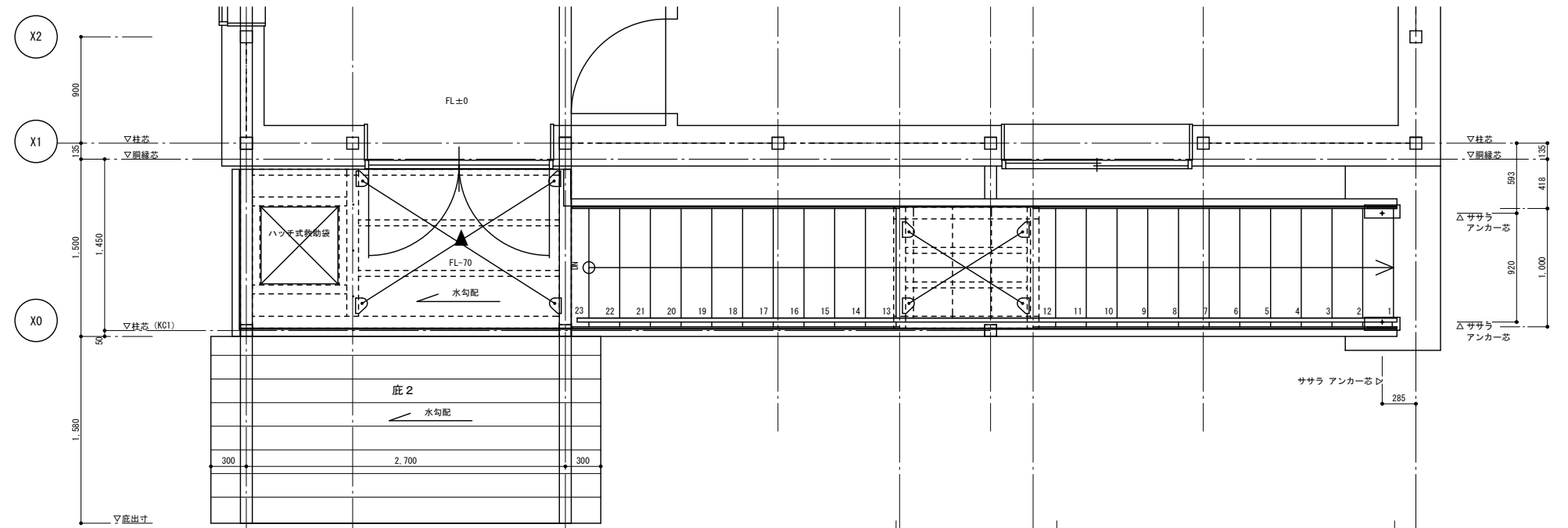
設計変更年月日 1回 年 月 日 2回 年 月 日 3回 年 月 日	工事名 金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺 A1: 1/10-25 A3: 1/20-50	図番 A
	図名 内部階段 断面詳細図	設計 年 月 日	一級建築士登録 第 号
	1階建築士登録 第 号	32	



B部 BPL詳細図 S=1/10

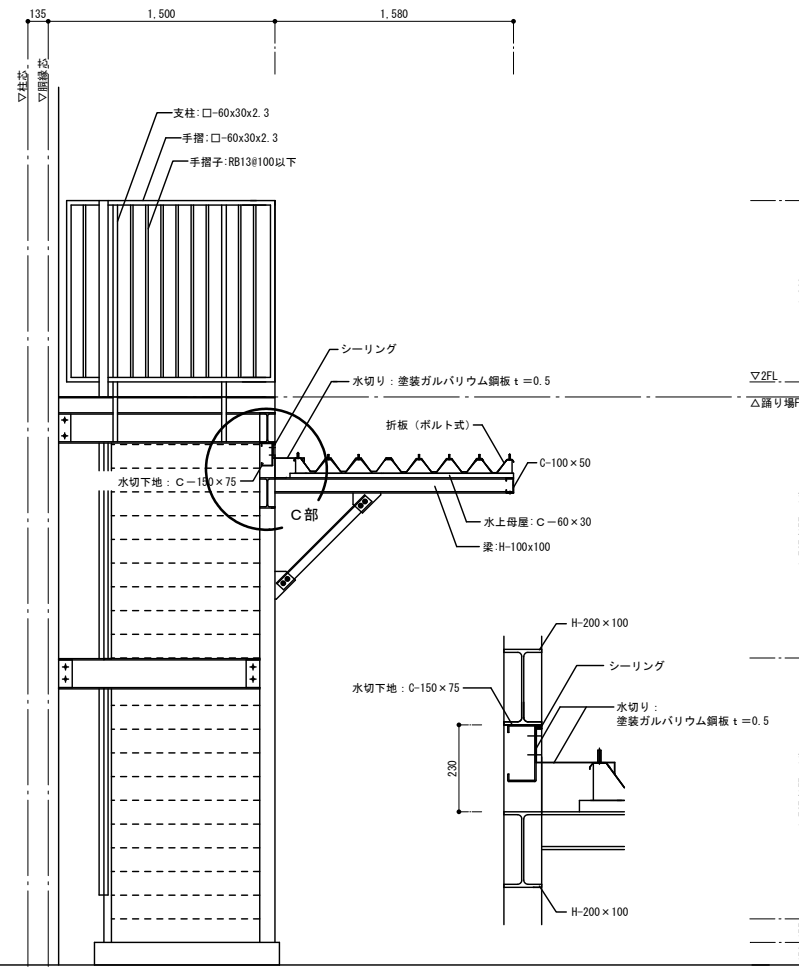


A部詳細図 S=1/10

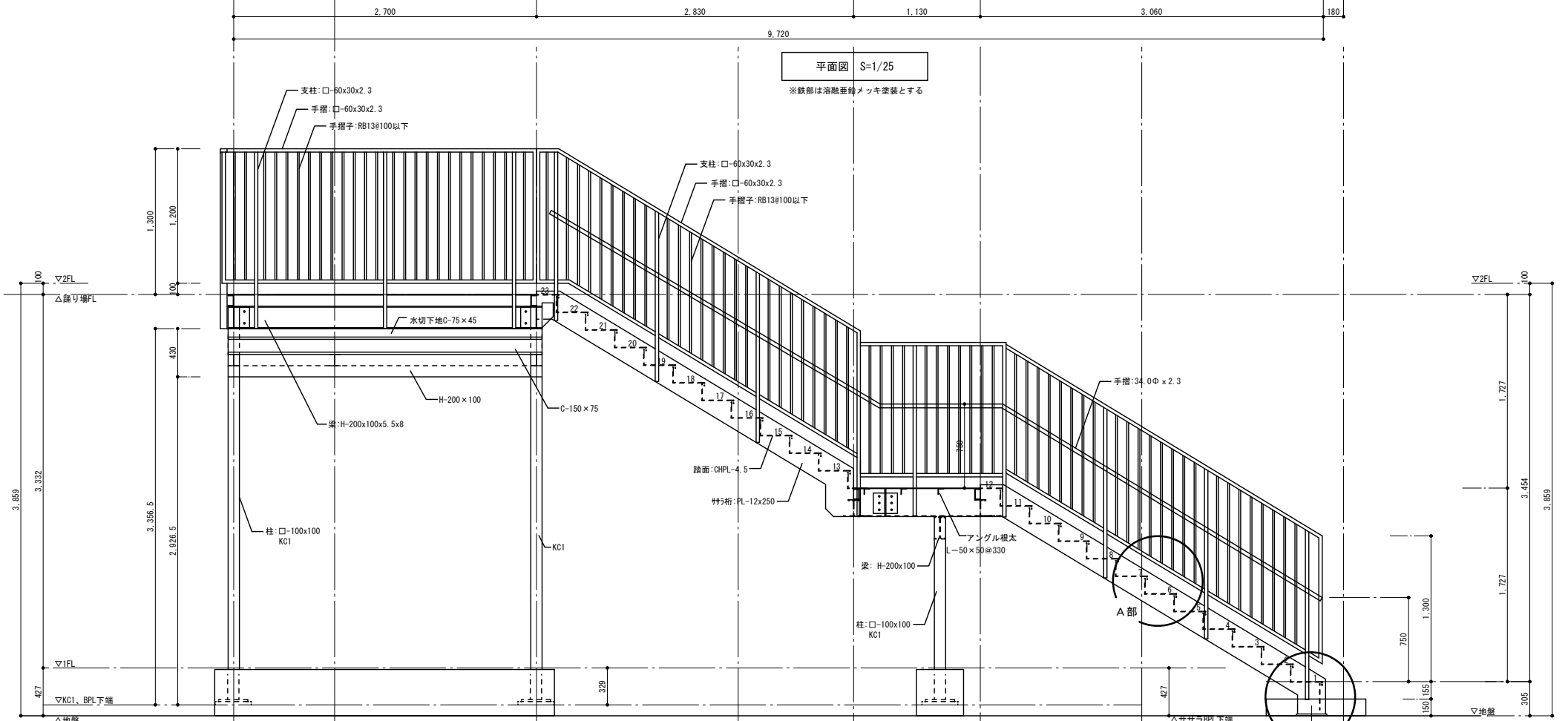


平面図 S=1/25

※鉄部は溶融亜鉛メッキ塗装とする



C部詳細図 S=1/10



X0通り立面図 S=1/25

※鉄部はすべて溶融亜鉛めっきとする



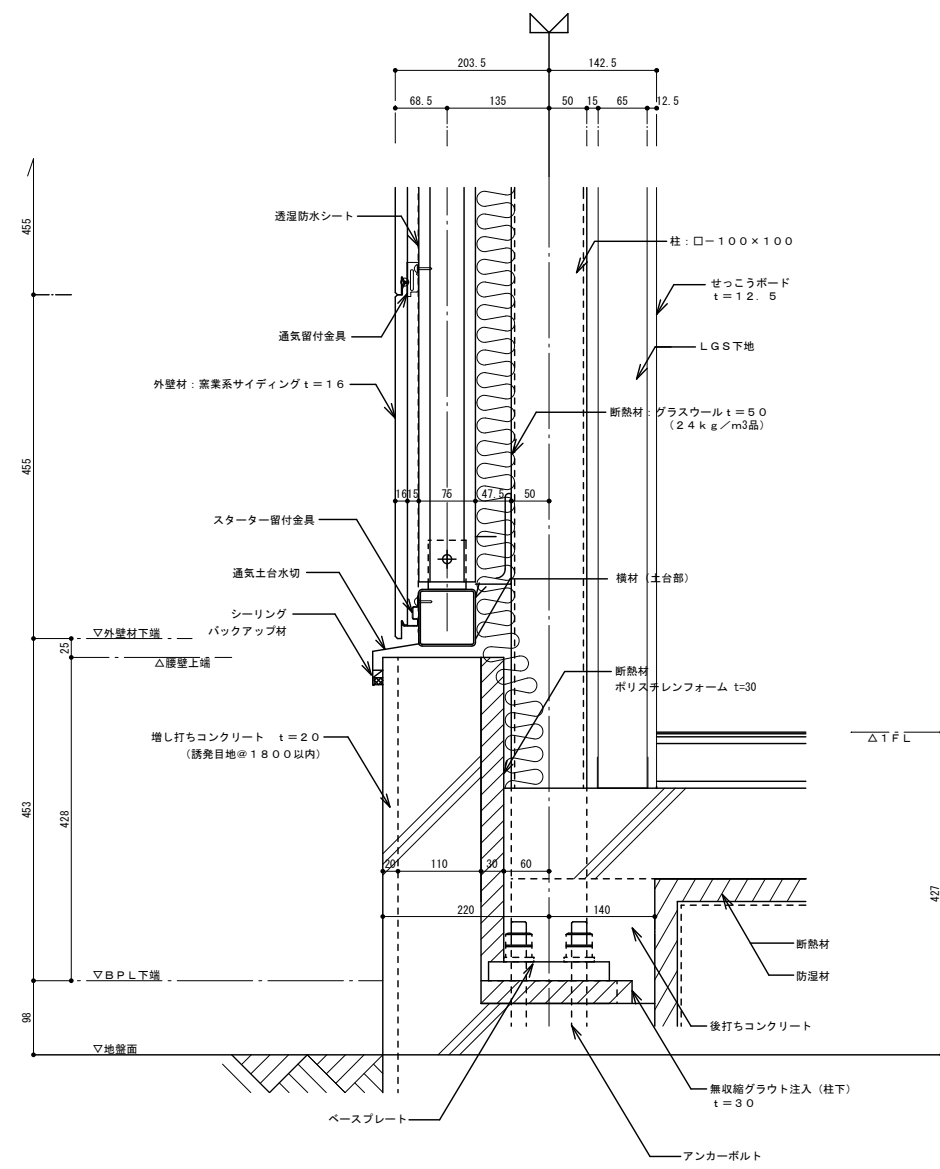
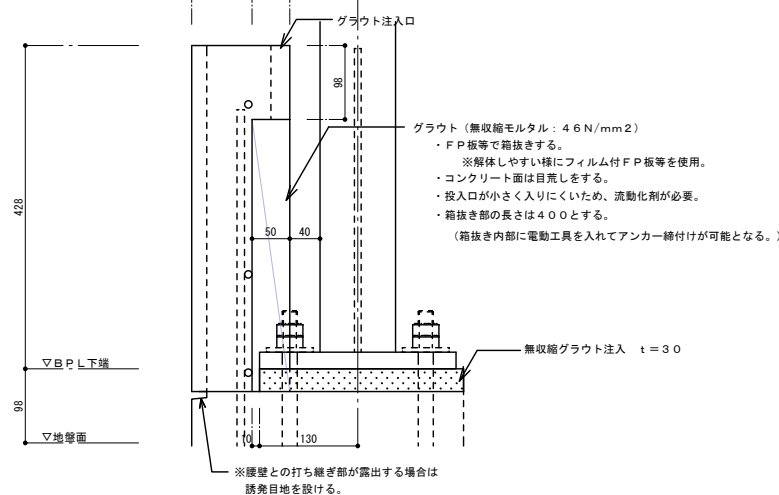
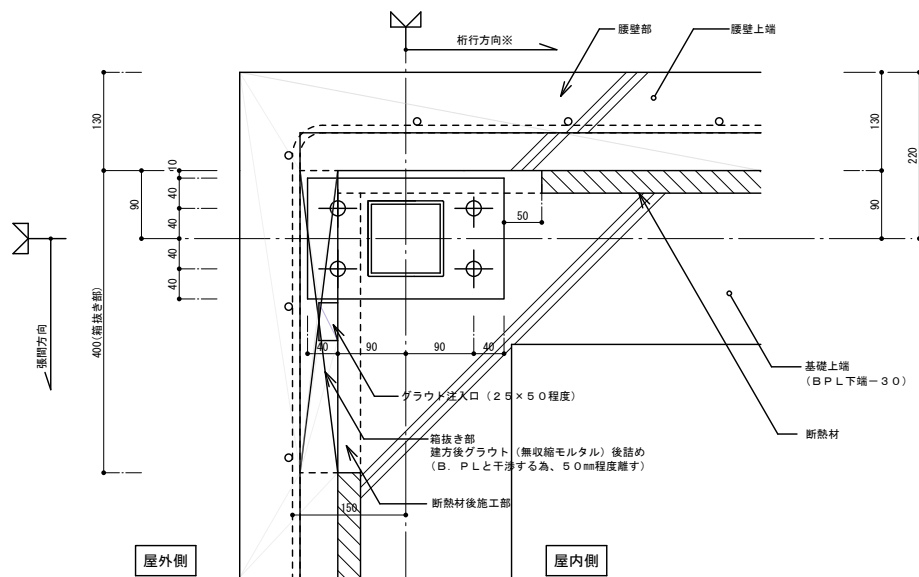
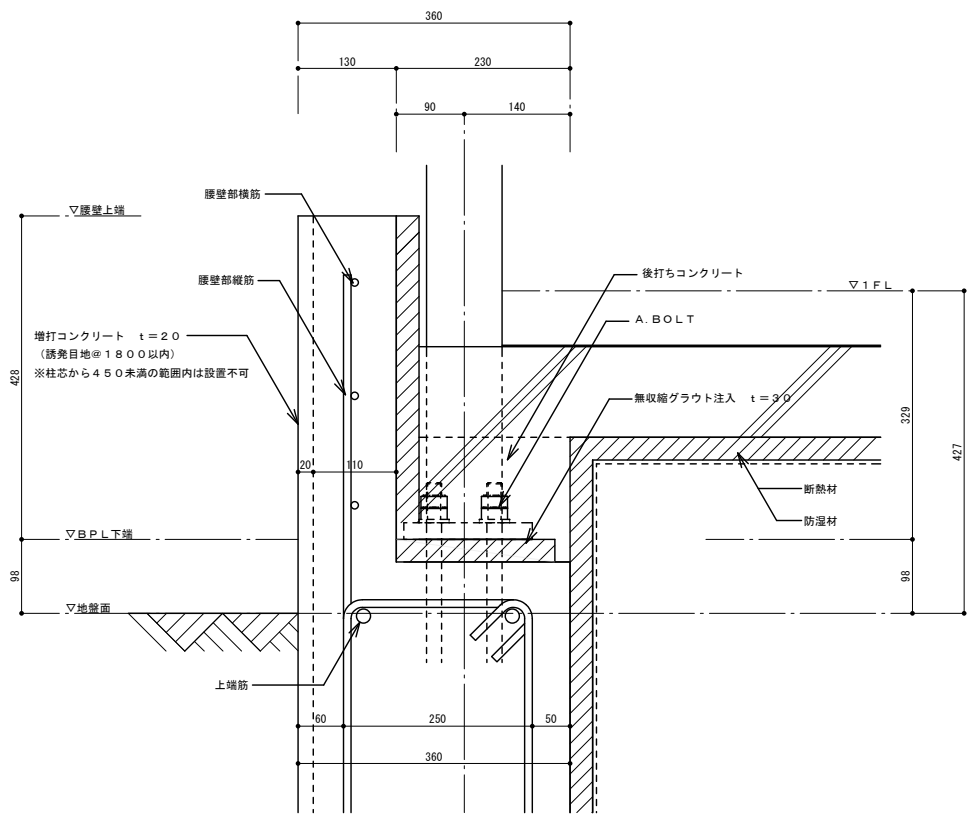
Y7通り立面図 S=1/25

※鉄部はすべて溶融亜鉛めっきとする

設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

工事名	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺	A1: 1/10-25 A3: 1/20-50	図番	A
図名	外部階段 詳細図	設計年月日		一級建築士登録第 号	33

※出隅部のベースプレートは、基本的に桁側の柱と同様の向きとする。
(ベースプレート長辺側を基礎の桁行方向に合わせる)

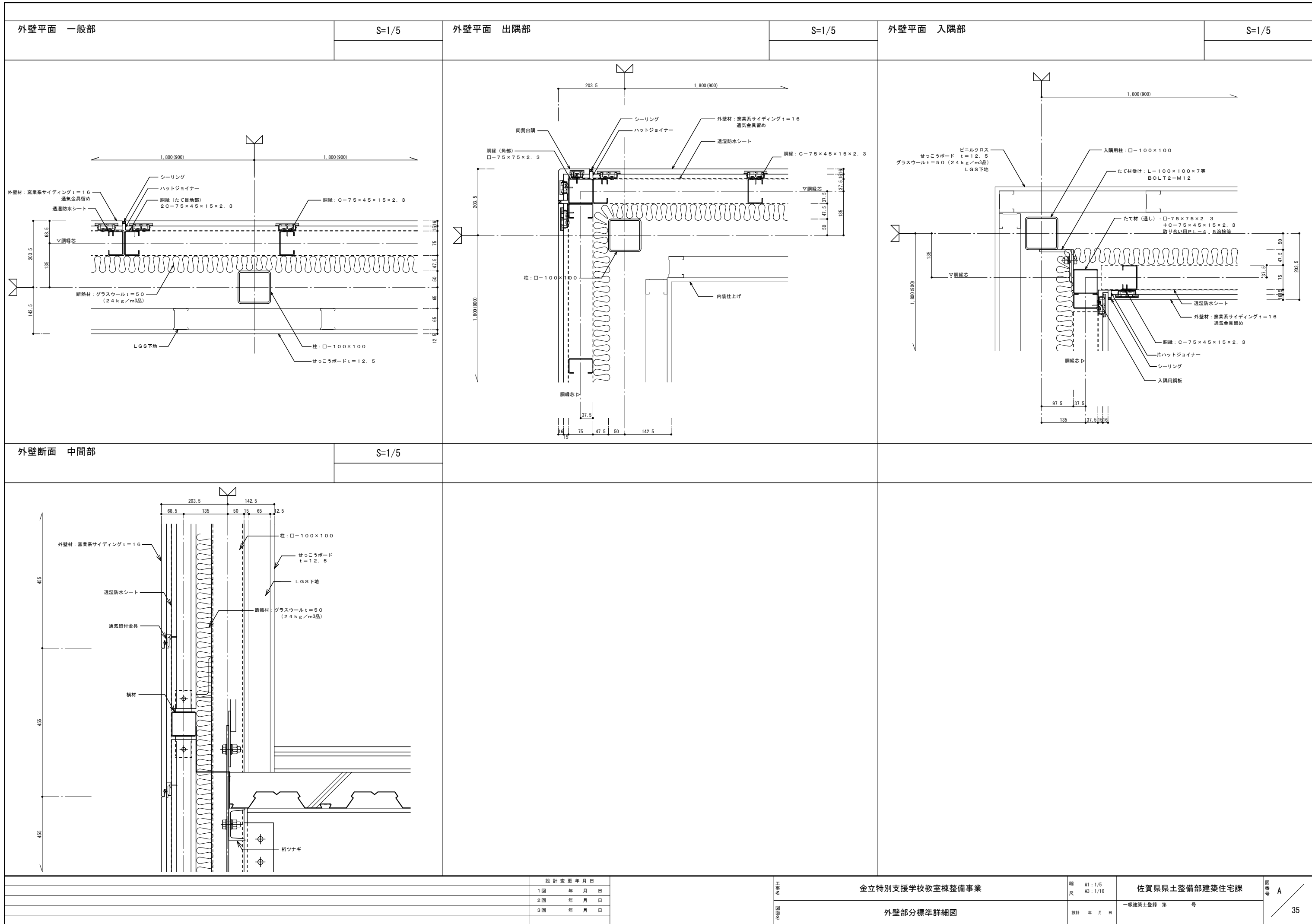


設計変更年月日	
1回 年 月 日	
2回 年 月 日	
3回 年 月 日	

工書	金立特別支援学校教室棟整備事業
図面	基礎・柱脚標準詳細図

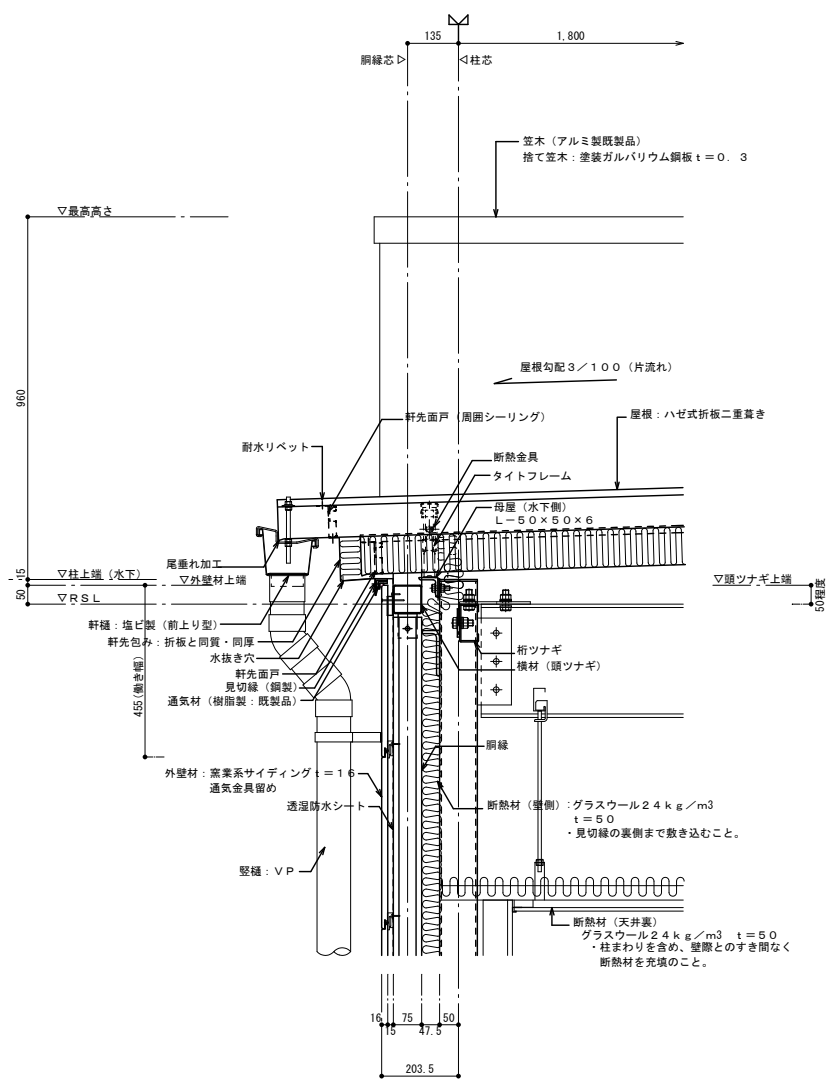
縮尺	A1: 1/5 A3: 1/10
設計年月日	

図番	A
図名	佐賀県県土整備部建築住宅課 一級建築士登録 第 号

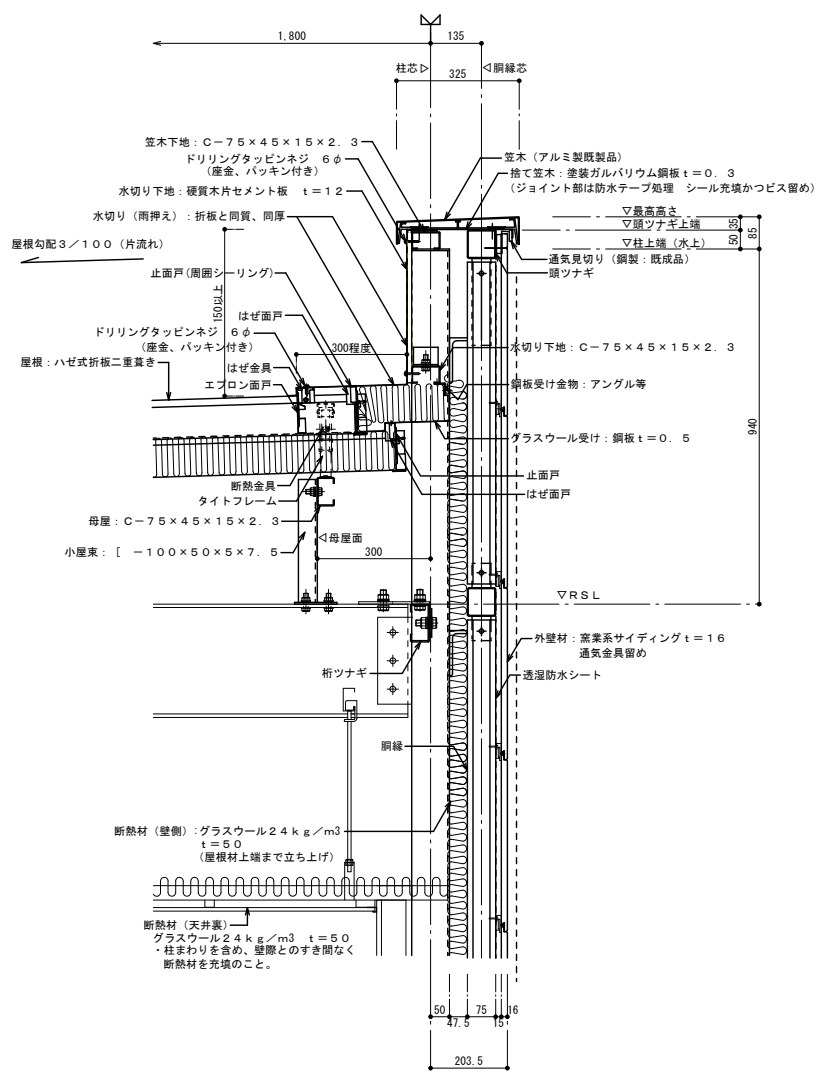


設計変更年月日	
1回	年月日
2回	年月日
3回	年月日

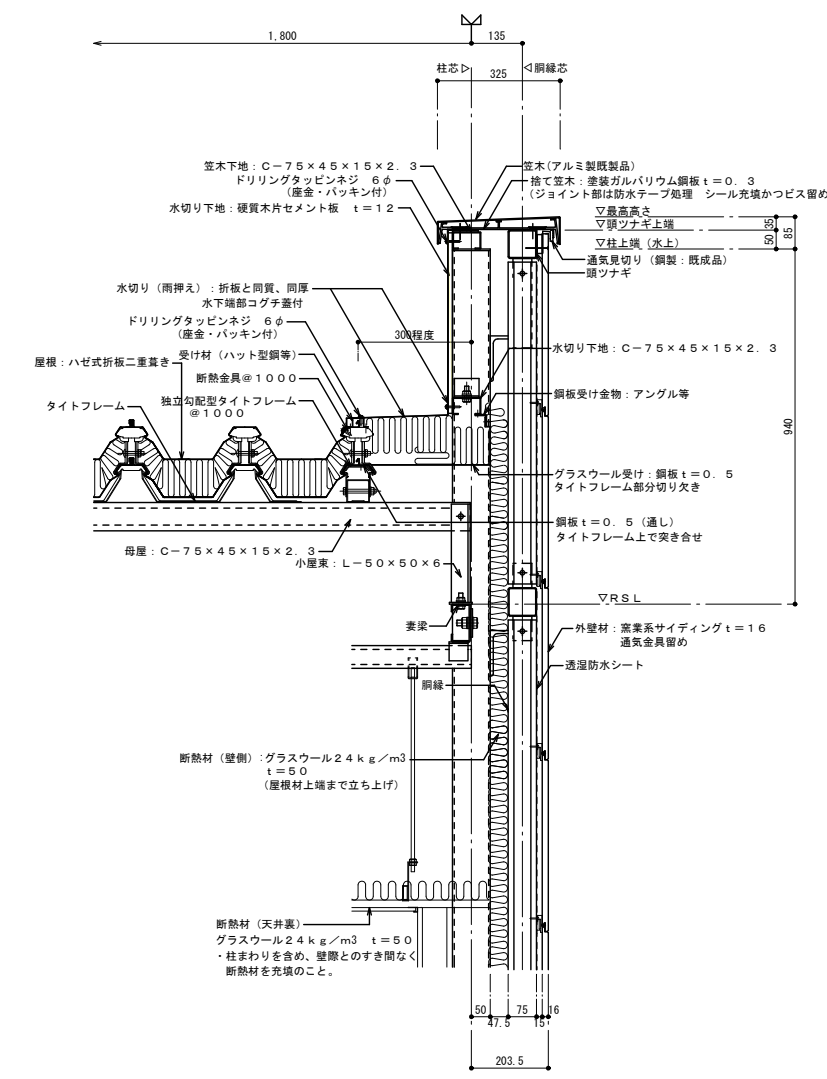
工 事 名 称	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮 尺	A1: 1/5 A3: 1/10	図 番 号	A
	外壁部分標準詳細図		設計年月日		佐賀県県土整備部建築住宅課 一級建築士登録第 号



※面戸周りは必ずシーリングすること。



※面戸周りは必ずシーリングすること。

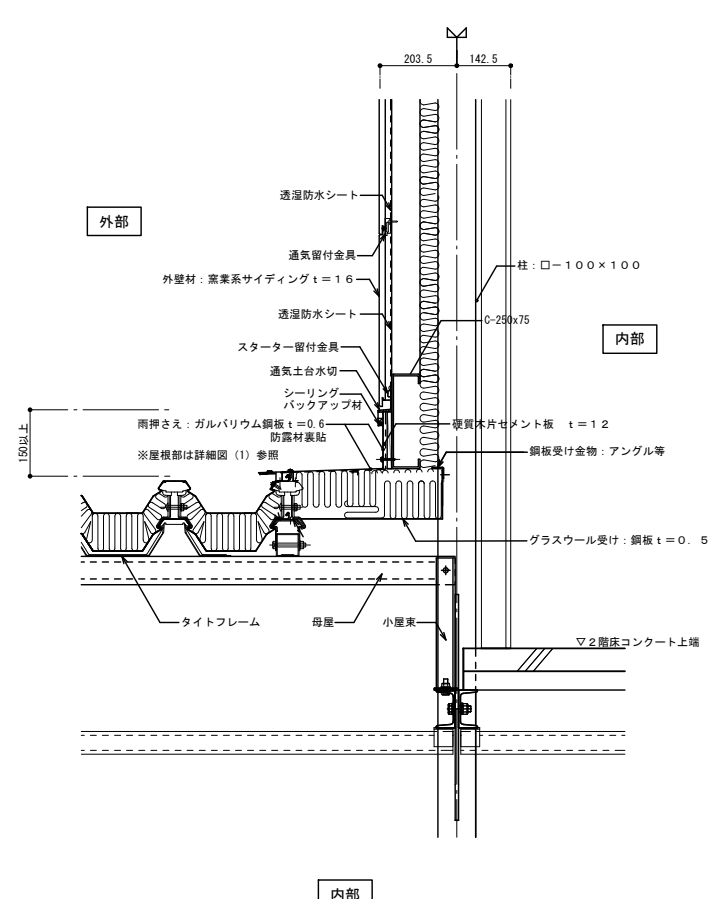
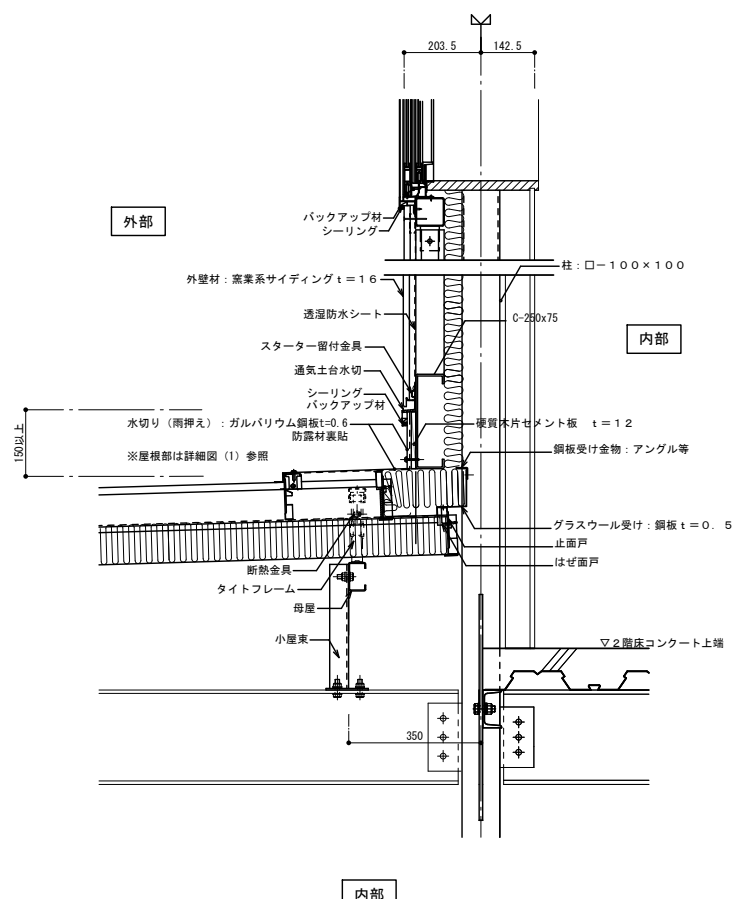
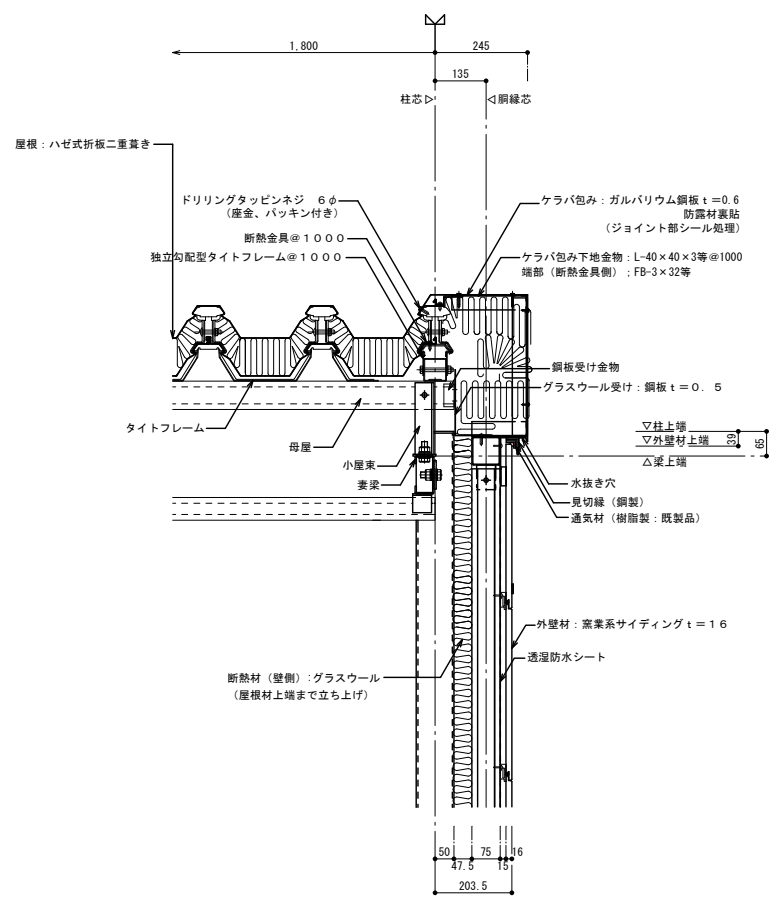


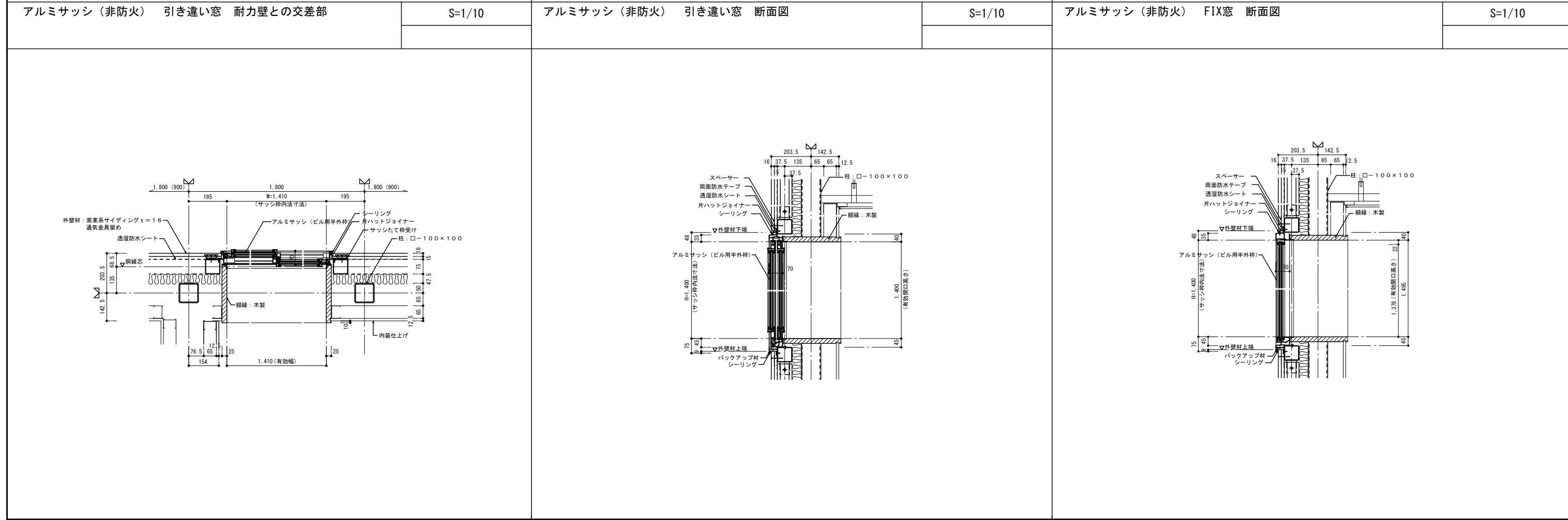
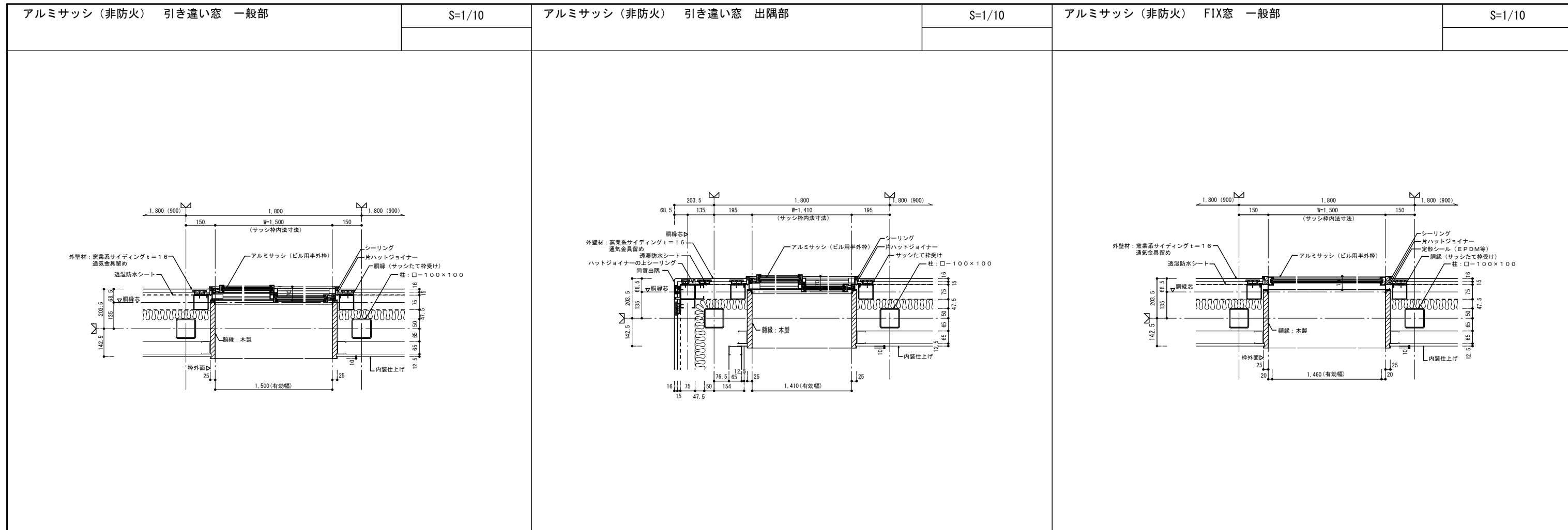
※面戸周りは必ずシーリングすること。

※ 外部で使用する金物、ビス、ネジは溶融亜鉛めっきまたはステンレスとする事。

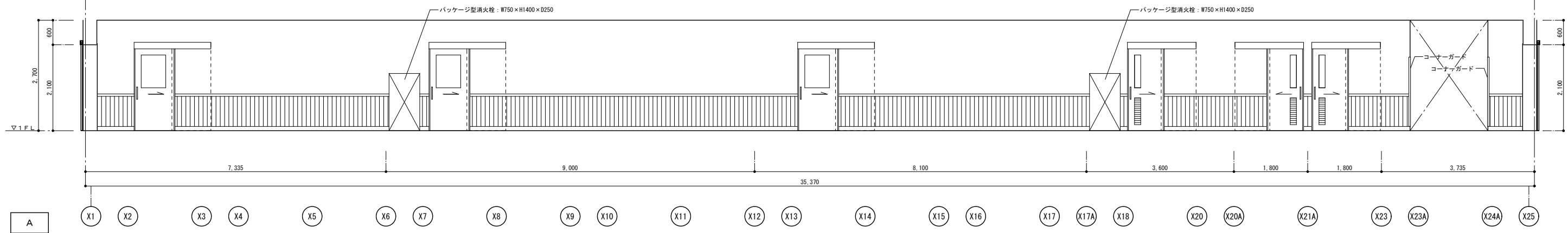
設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

工事 内容	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮 尺	A1: 1/10 A3: 1/20	図 番 号	A
	屋根部分詳細図 (1)		設計 年 月 日		佐賀県県土整備部建築住宅課

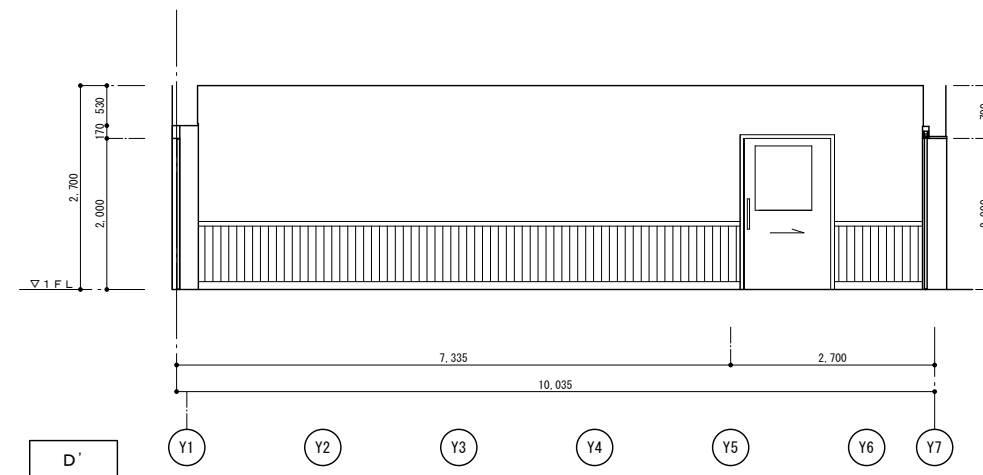
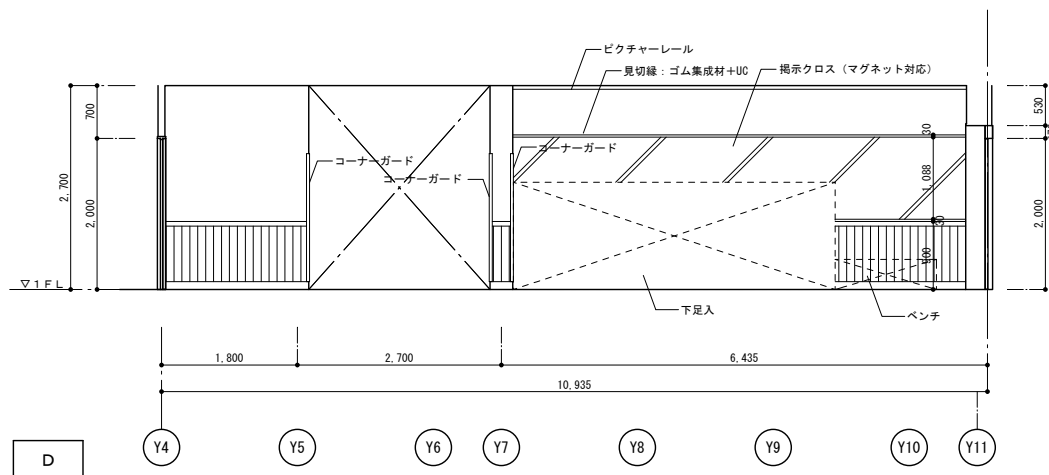
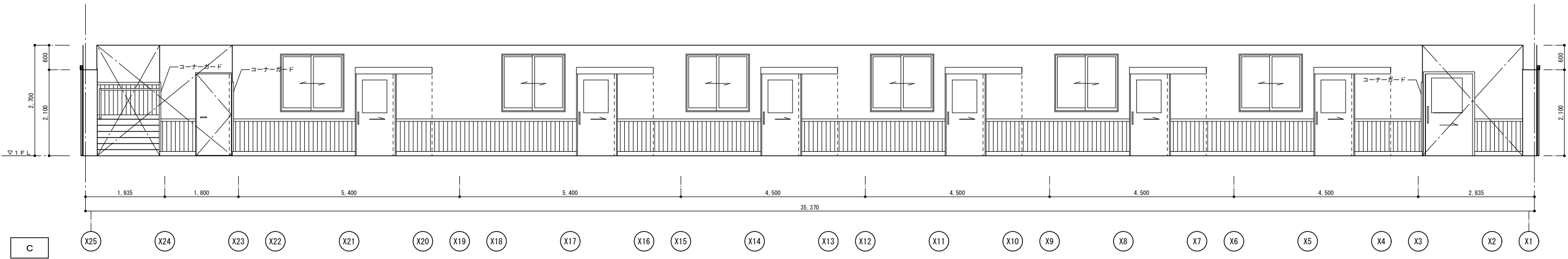
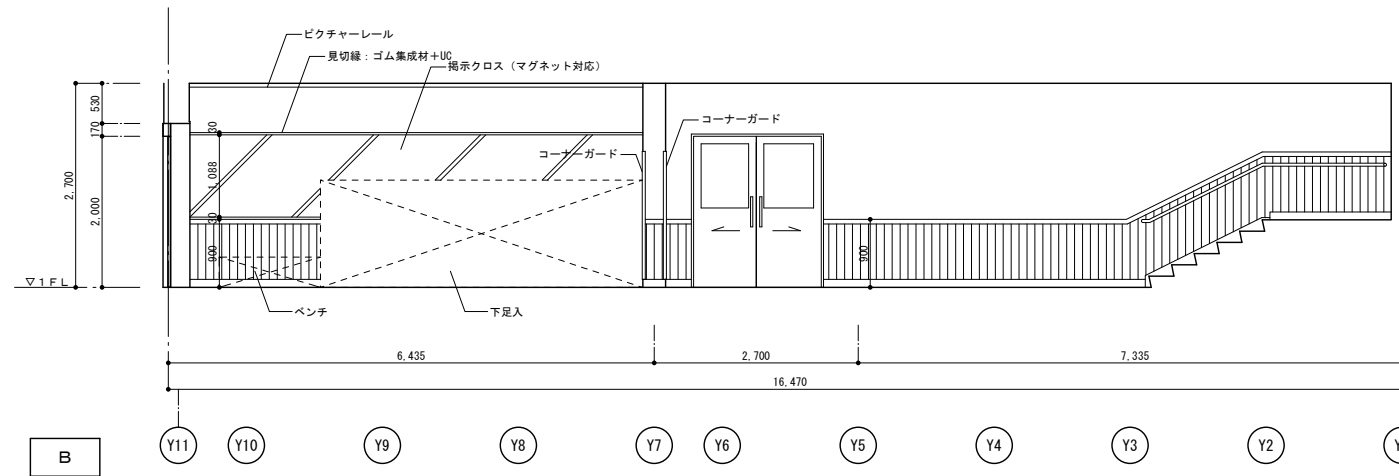
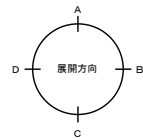




アルミサッシ (防火設備) 引き違い窓 一般部	S=1/10	アルミサッシ (防火設備) 引き違い窓 断面図	S=1/10	アルミサッシ (非防火) 引き違い戸 一般部	S=1/10	
アルミサッシ (防火設備) 引き違い窓 耐力壁との交差部	S=1/10			アルミサッシ (非防火) 引き違い戸 土間納まり 1階断面図	S=1/10	
	設計変更年月日 1回 年 月 日 2回 年 月 日 3回 年 月 日		金立特別支援学校教室棟整備事業 防火引き違い窓・引き違い戸詳細図	縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20 設計 年 月 日	佐賀県土整備部建築住宅課 一般建築士登録第 号	図番 A 39



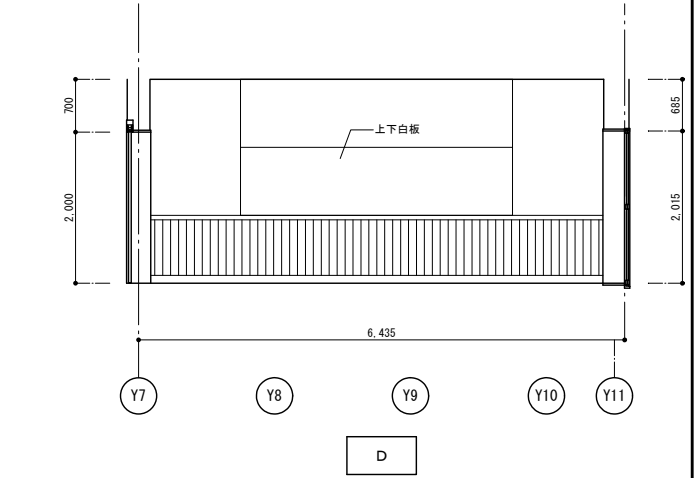
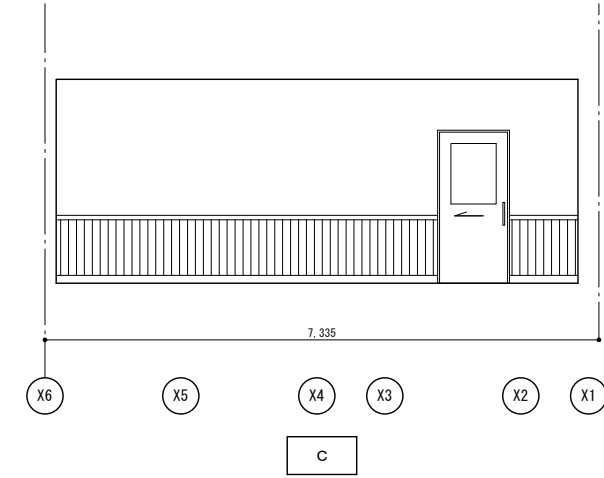
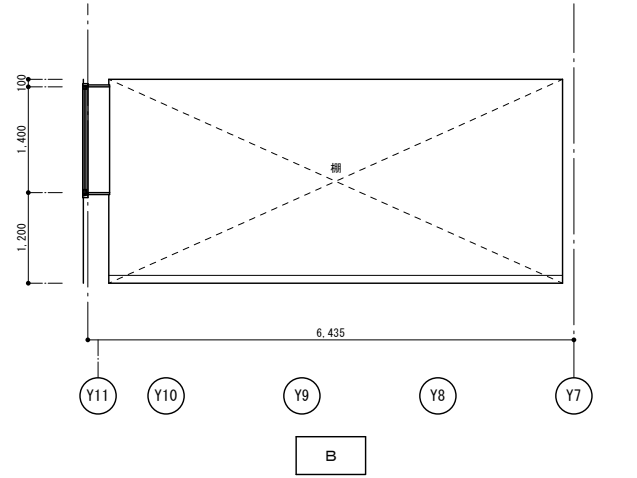
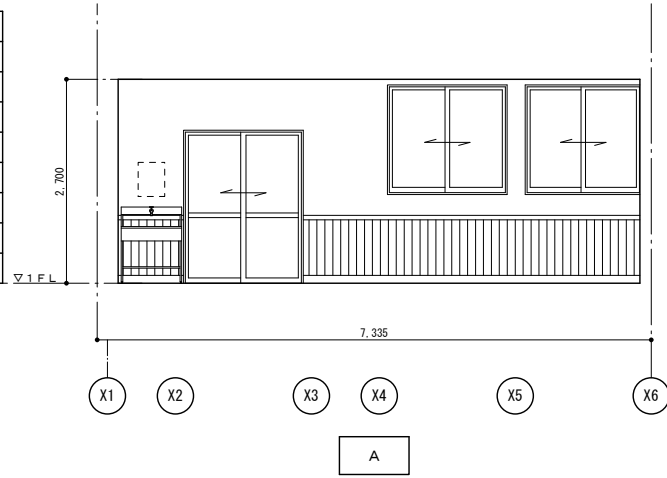
室名	1F:廊下
天井	GB-P9.5 (天井)
珪藻土	珪藻土製
壁	ビニルクロス
床	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	長尺珪藻土シート t=2
備考	



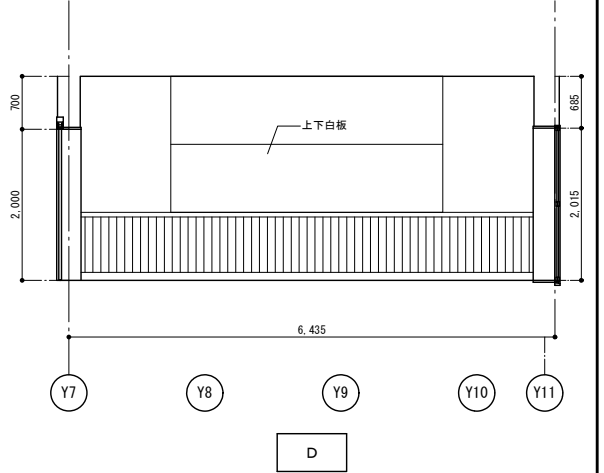
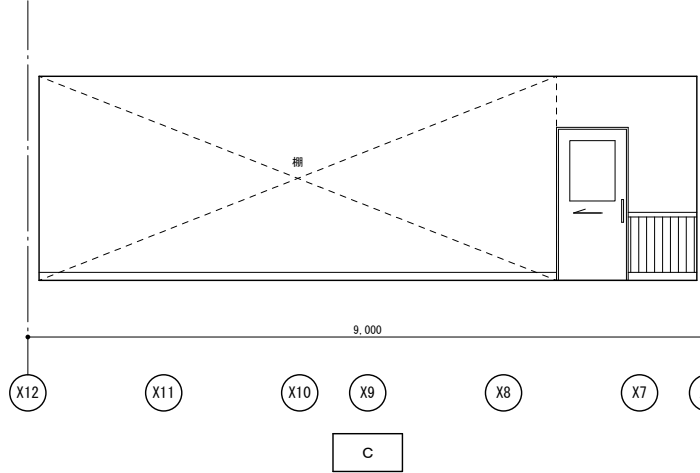
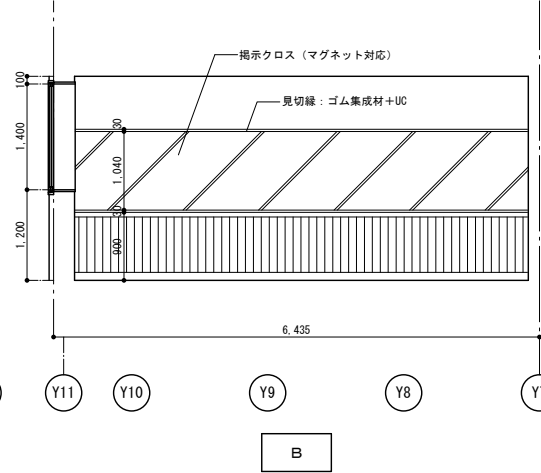
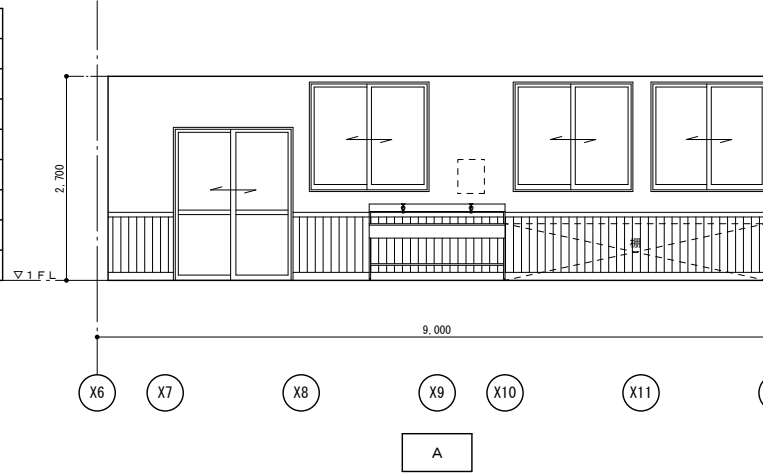
設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

設計	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	佐賀県土木整備部建築住宅課	図番	A
図名	展開図 (1)	設計	年月日	一級建築士登録第 号		40

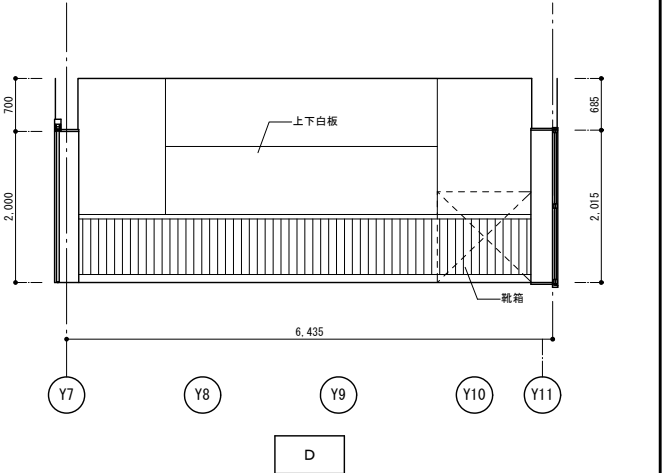
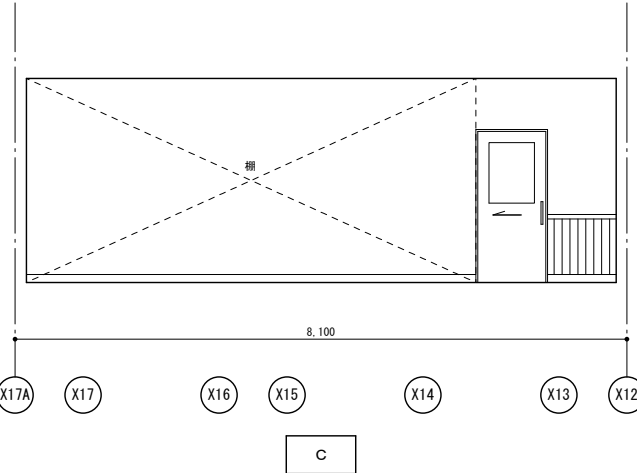
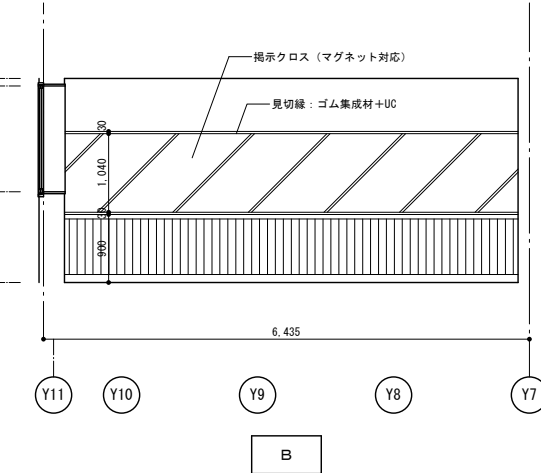
室名	1F:作業室C
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリング t=12
備考	SUSシンク槽(既製品)



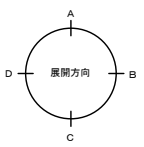
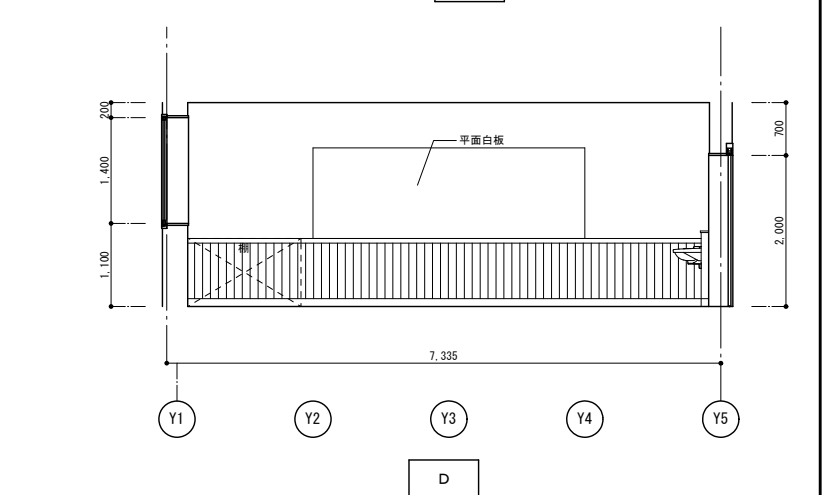
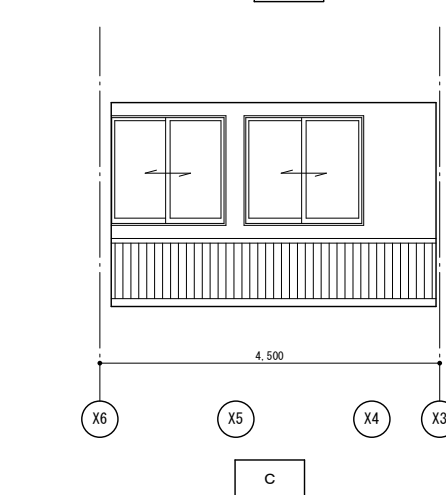
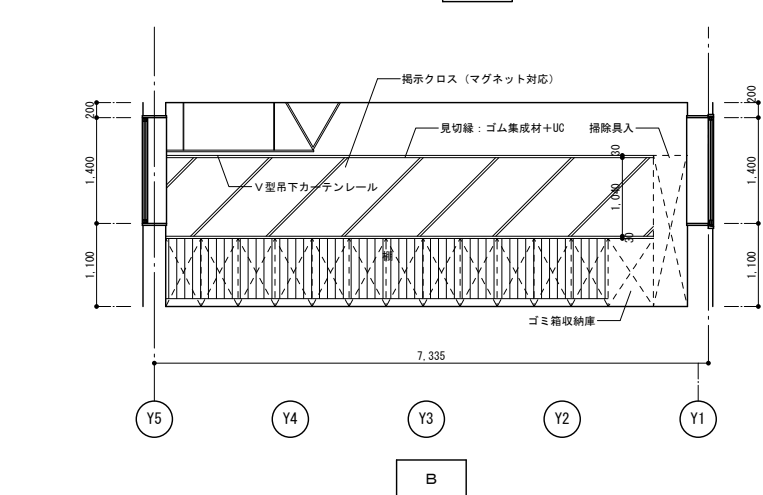
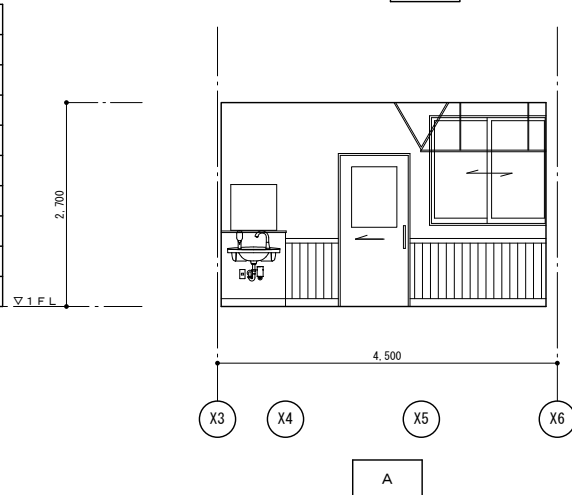
室名	1F:作業室B
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリング t=12
備考	SUSシンク槽(既製品)



室名	1F:作業室A
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	SUSシンク槽(既製品)



室名	1F:教室1
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリング t=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



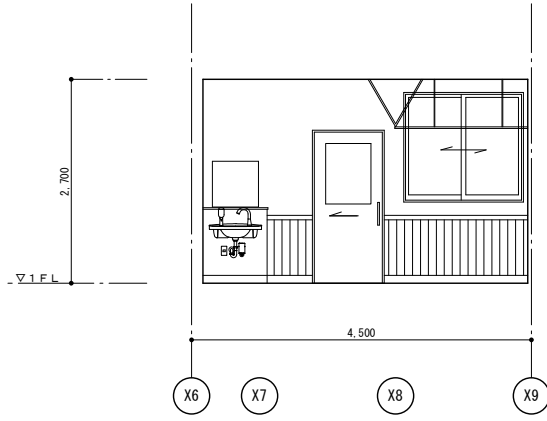
設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

設計者	
承認者	
校務主任	

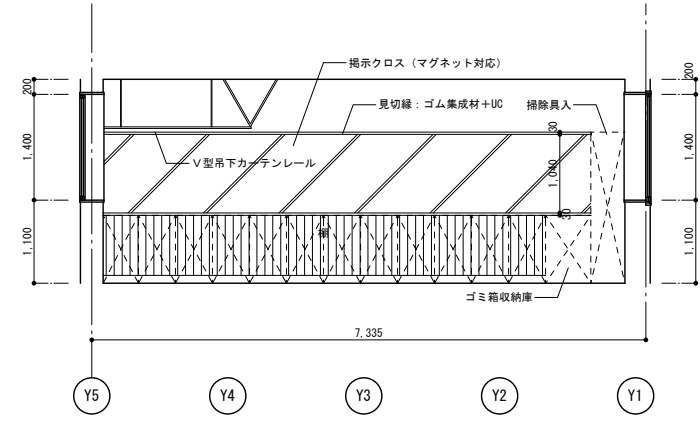
金立特別支援学校教室棟整備事業
展開図(2)

縮尺	A1:1/50 A3:1/100
設計	年月日
図番	A
頁	41

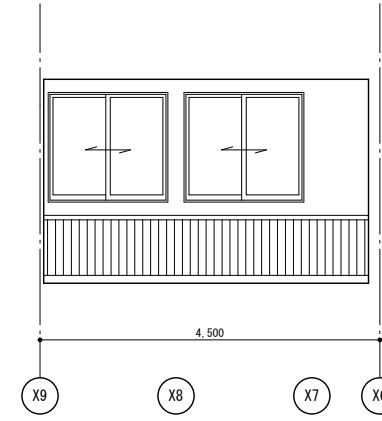
室名	1F:教室2
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリングt=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



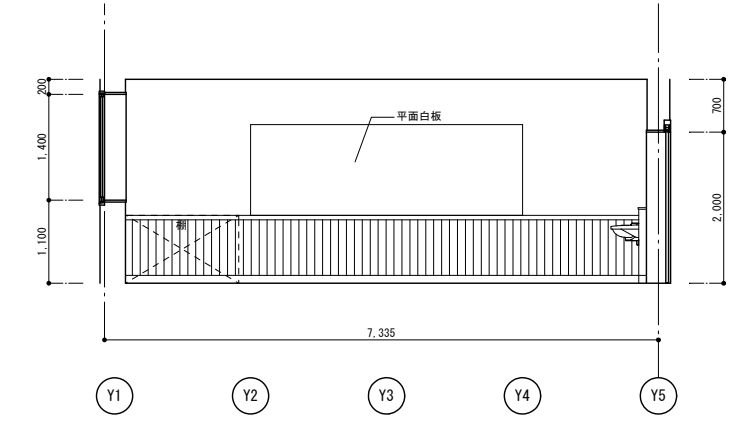
A



B

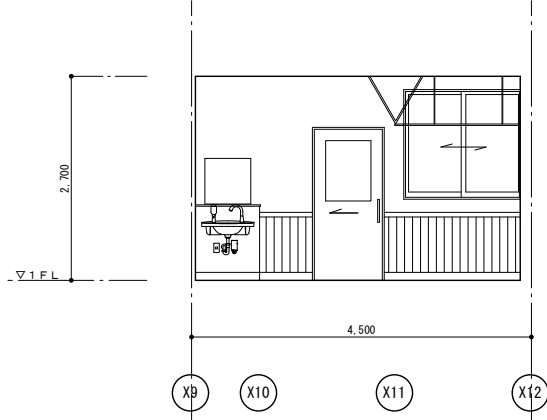


C

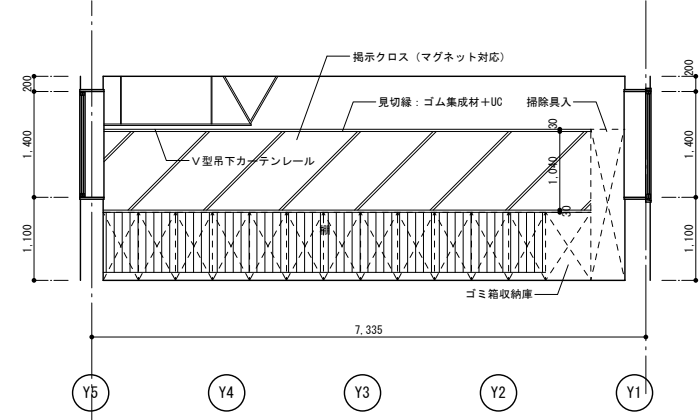


D

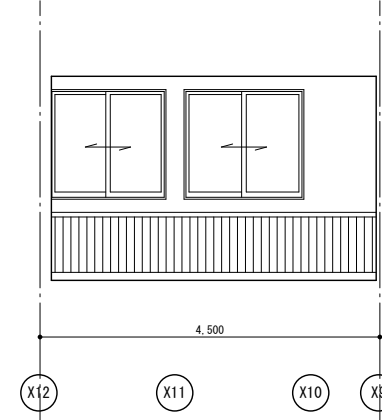
室名	1F:教室3
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリングt=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



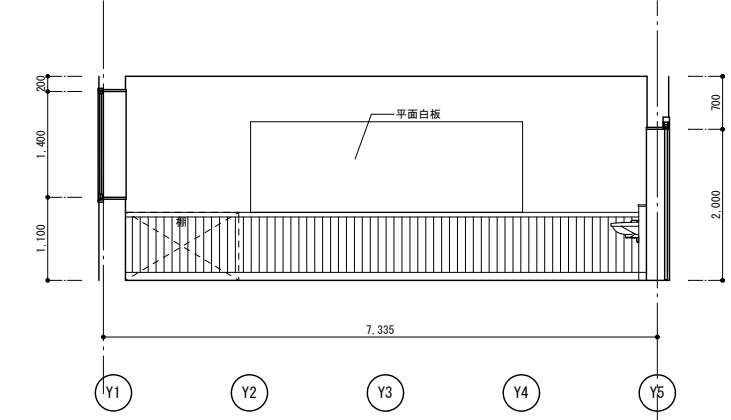
A



B

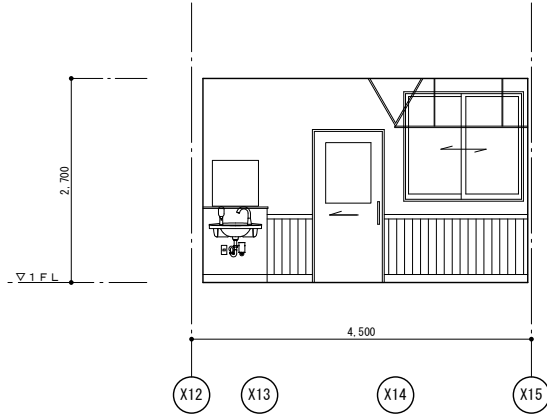


C

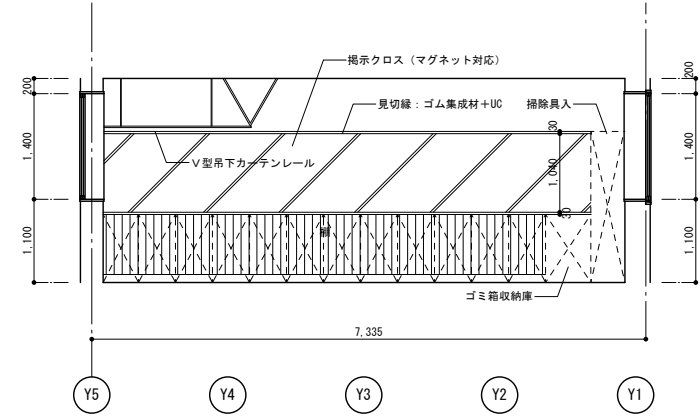


D

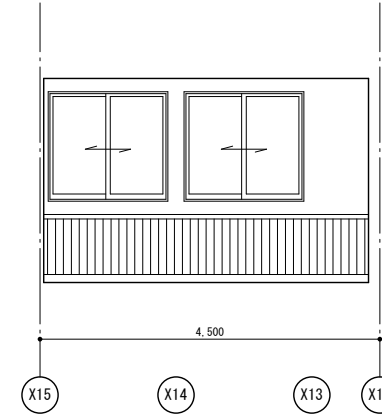
室名	1F:教室4
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリングt=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



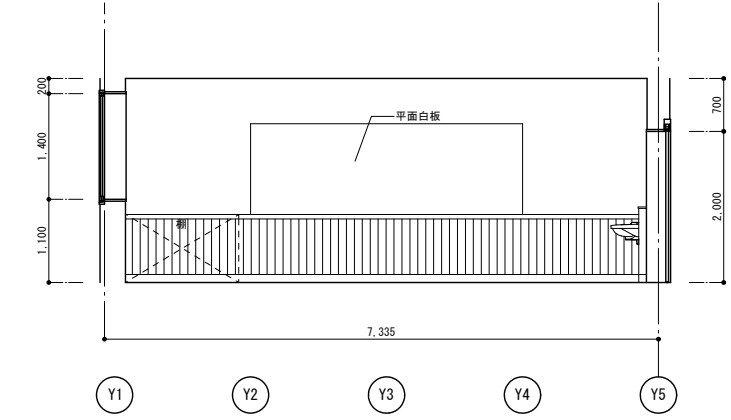
A



B

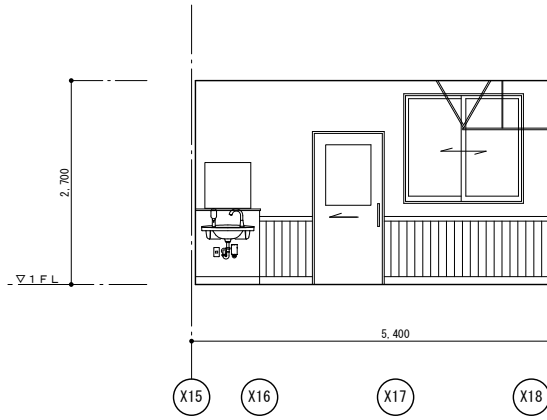


C

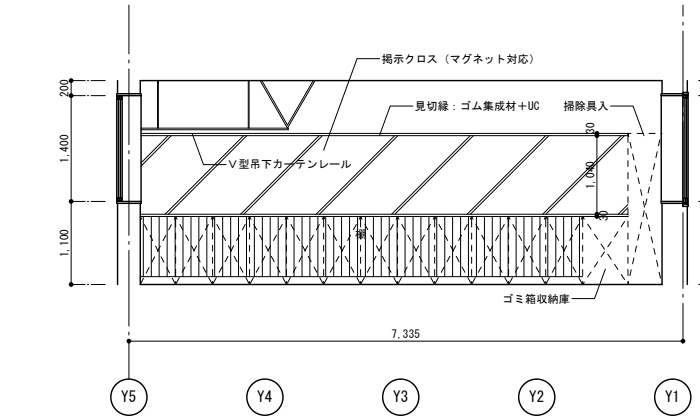


D

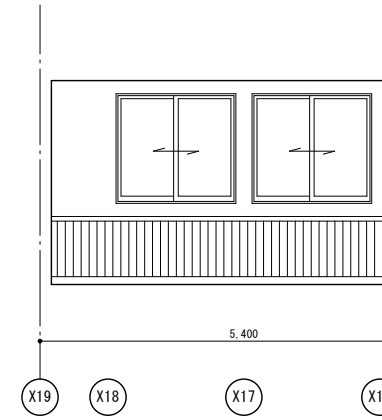
室名	1F:教室5
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリングt=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



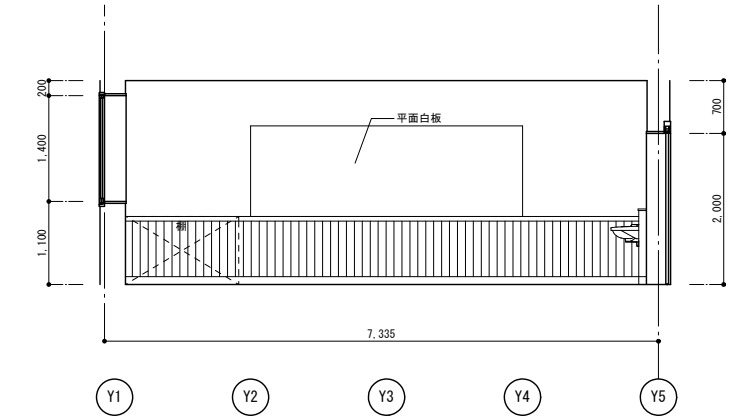
A



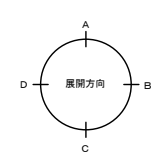
B



C



D



設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

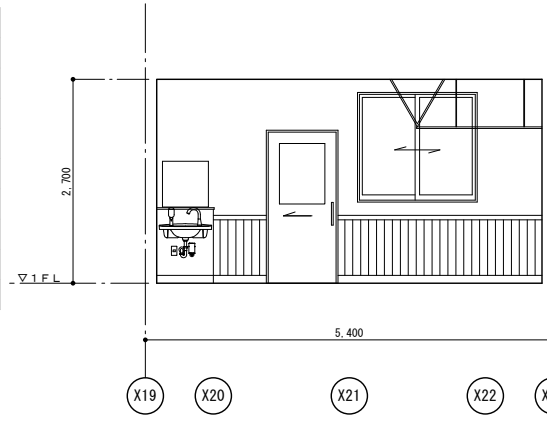
金立特別支援学校教室棟整備事業
展開図(3)

縮尺 A1:1/50
A3:1/100
設計 年 月 日

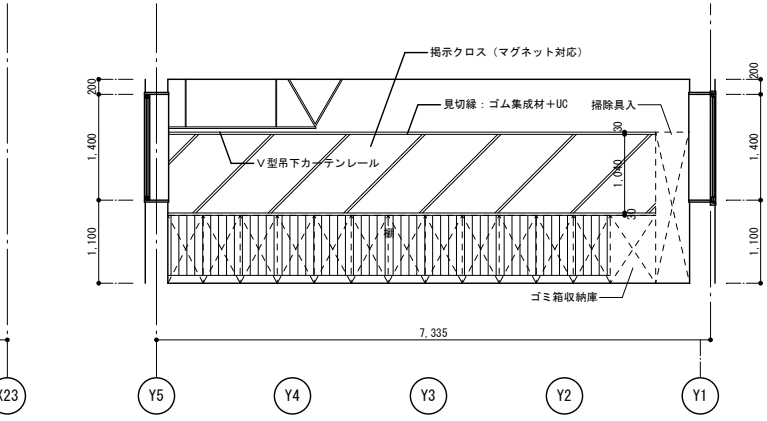
佐賀県土木整備部建築住宅課
一級建築士登録 第 号

図番 A
42

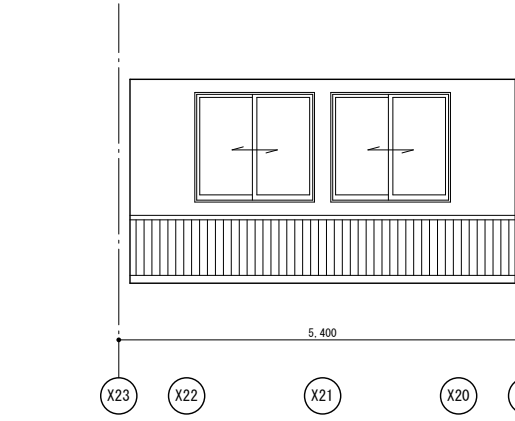
室名	1F:教室6
天井	GB-P9.5 (天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリング t=12
床一部	防滑性ビニル床シート t=2
備考	



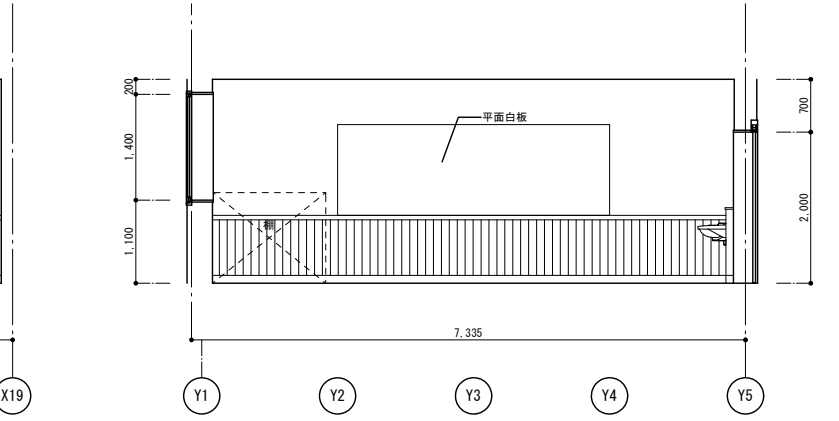
A



B

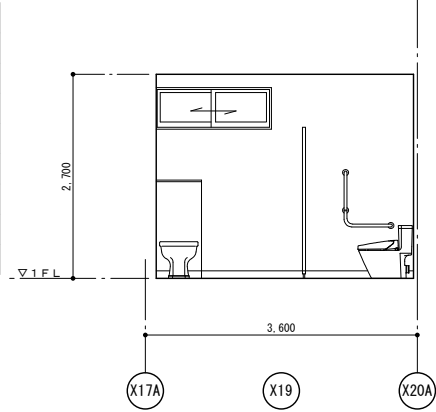


C

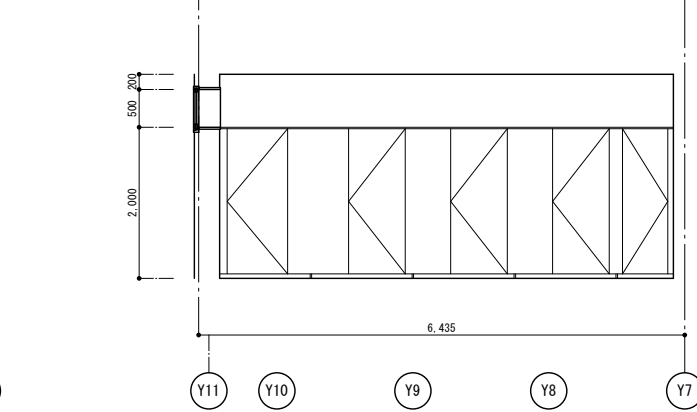


D

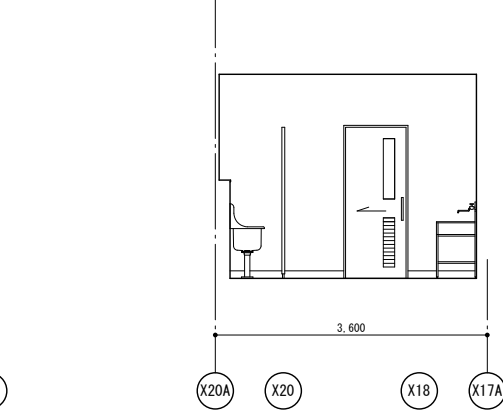
室名	1F:女子便所
天井	GB-D9.5 (天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	-
巾木	シート立上 H=100
床	防滑性ビニル床シート t=2
備考	SUSシンク槽 (既製品)



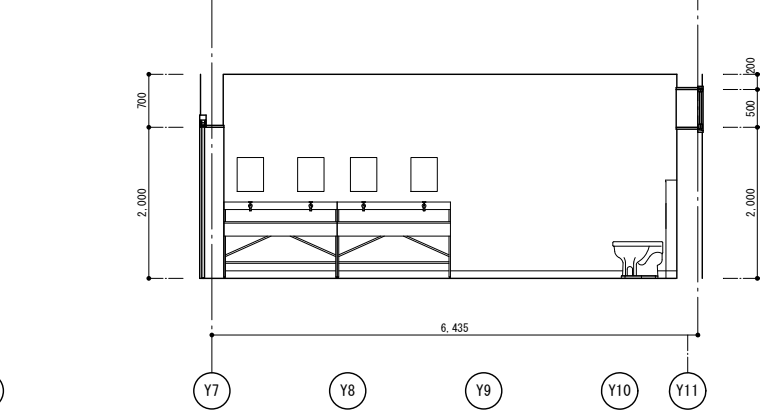
A



B

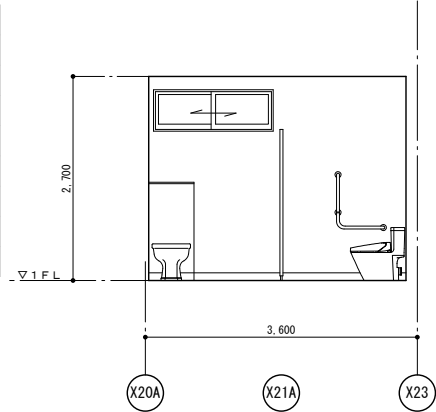


C

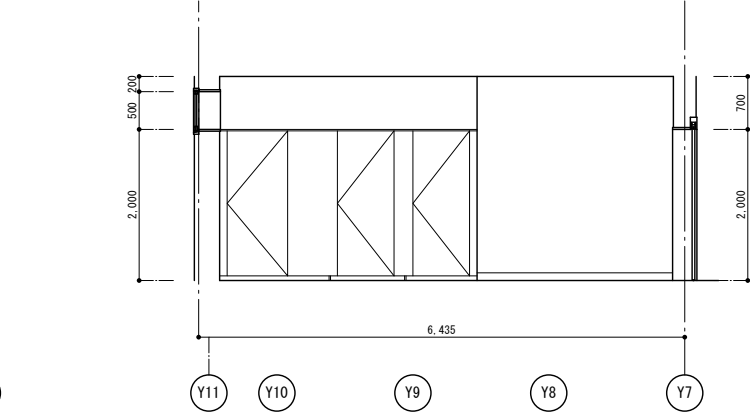


D

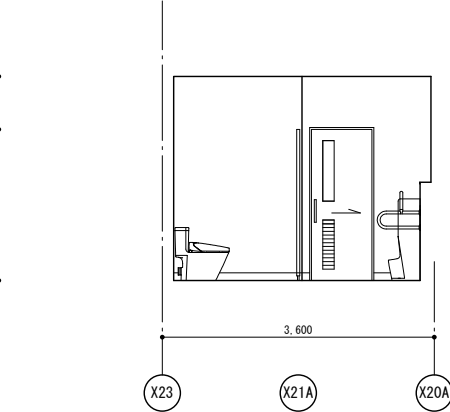
室名	1F:男子便所
天井	GB-D9.5 (天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	-
巾木	シート立上 H=100
床	防滑性ビニル床シート t=2
備考	汚濁石タイル, SUSシンク槽 (既製品)



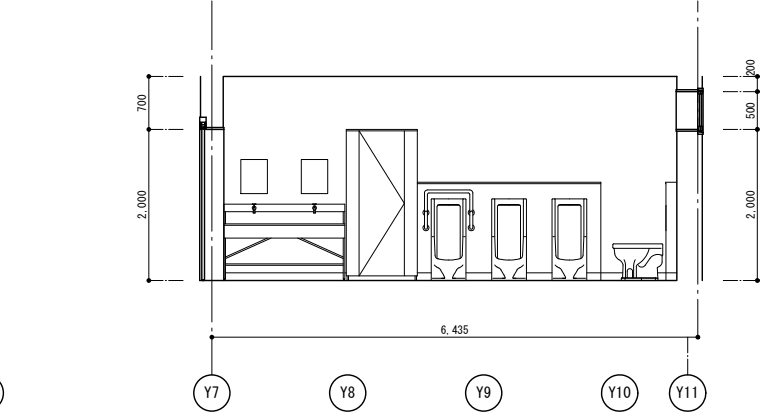
A



B

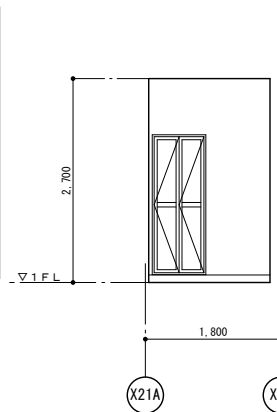


C

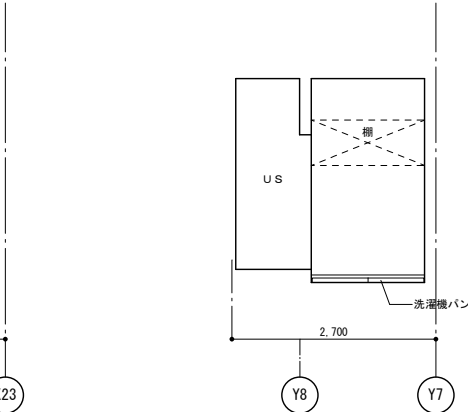


D

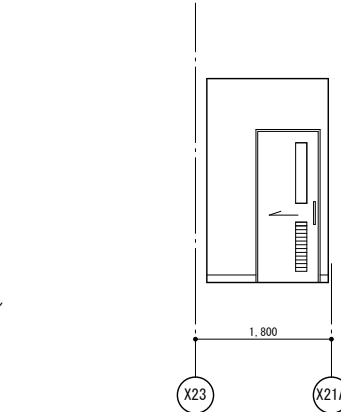
室名	1F:脱衣室
天井	GB-D9.5 (天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	-
巾木	シート立上 H=100
床	防滑性ビニル床シート t=2
備考	洗濯機パン



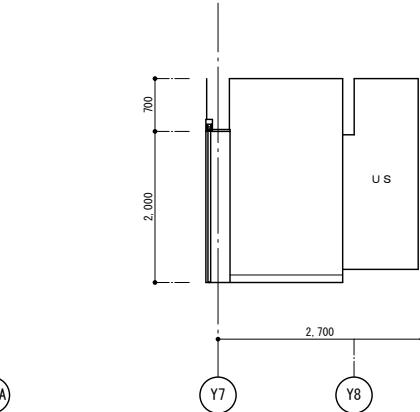
A



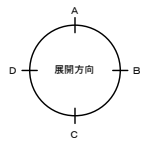
B



C



D



設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

工事名	金立特別支援学校教室棟整備事業
図番	展開図 (4)

縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100
設計年月日	

図番	A
頁	43

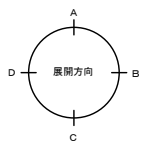


室名	2F:廊下
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	長尺塩ビシート t=2
備考	

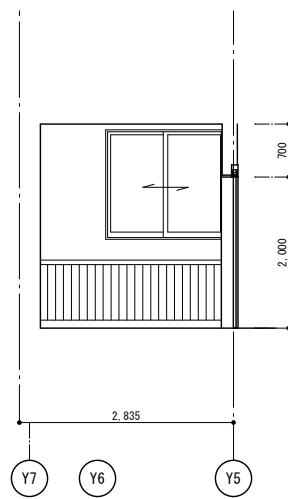
A



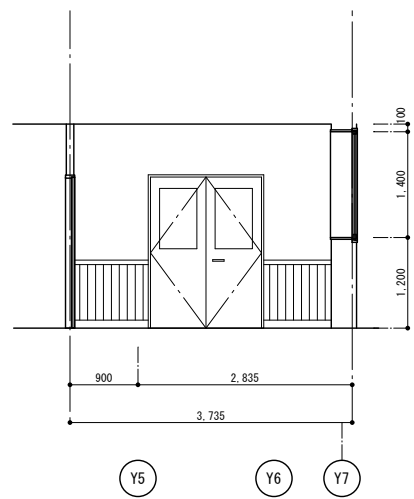
C



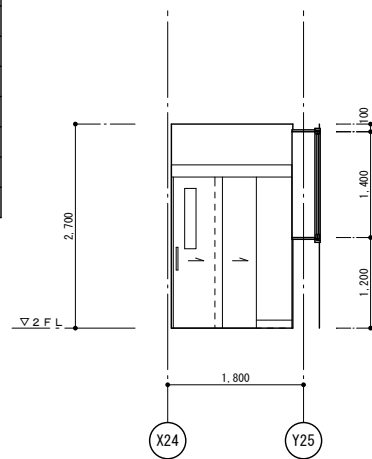
室名	2F:倉庫
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	—
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	長尺塩ビシート t=2
備考	



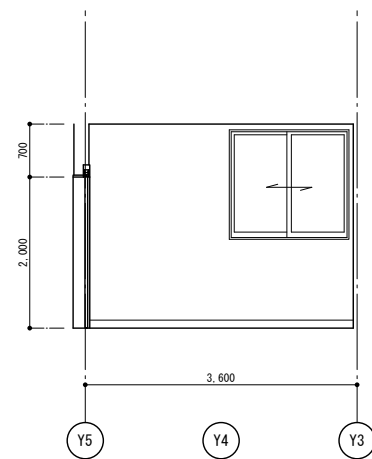
B



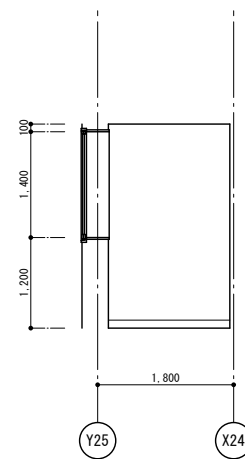
D



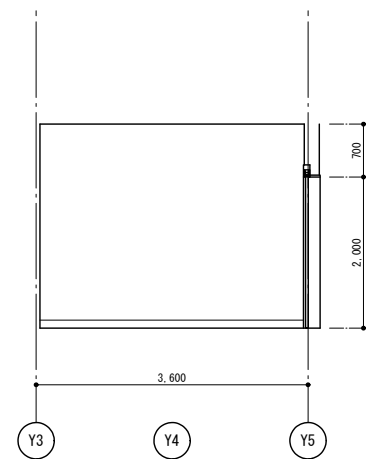
A



B



C

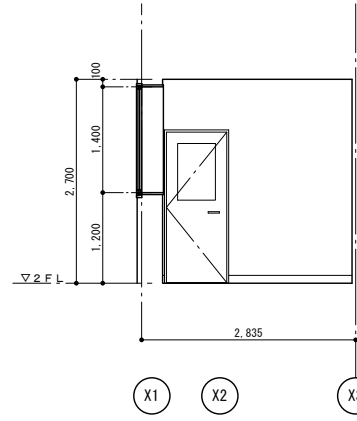


D

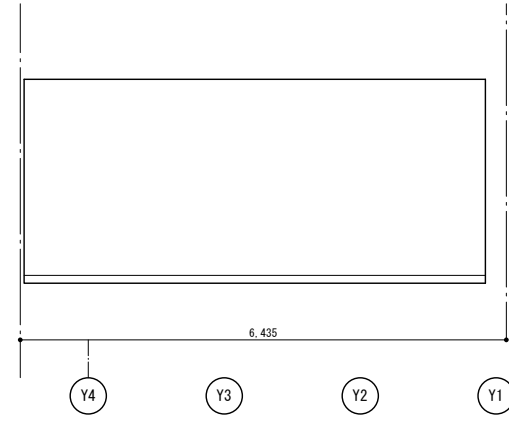
設計変更年月日	
1回	年月日
2回	年月日
3回	年月日

工事名	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	図番	A
図名	展開図(5)	設計年月日		一級建築士登録第 号	44
		佐賀県土木整備部建築住宅課			

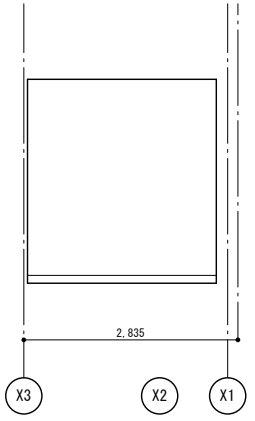
室名	2F:カームダウン室
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ガラスクロスボード
腰壁	-
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	長尺塩ビシート t=2
備考	



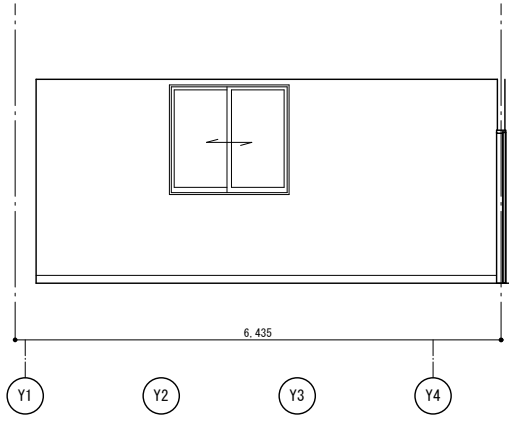
A



B

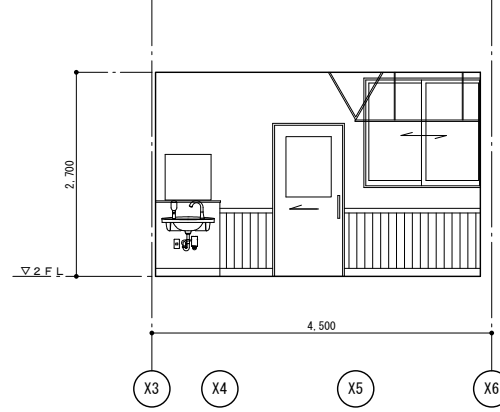


C

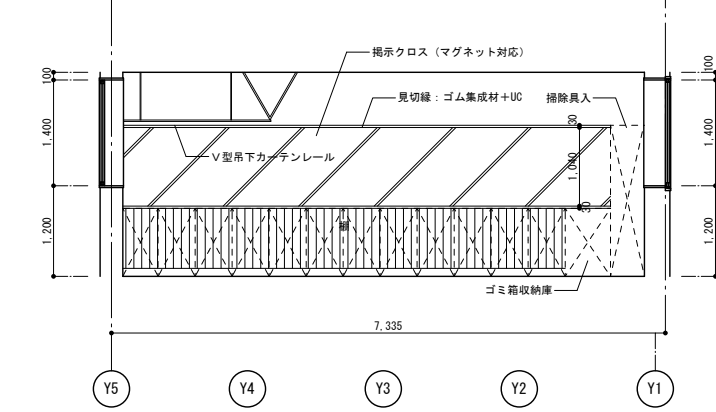


D

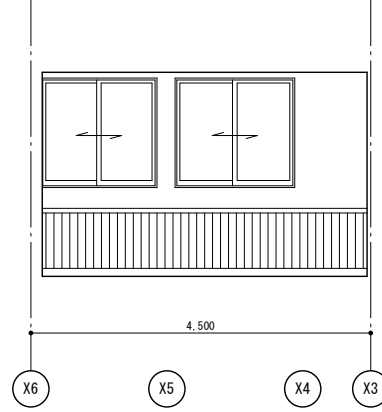
室名	2F:教室7
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリング t=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



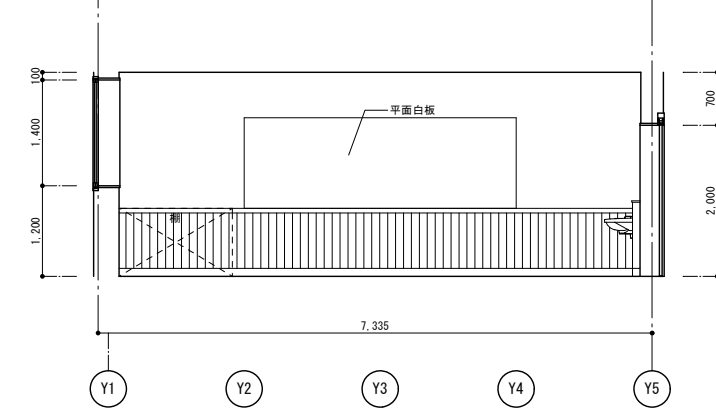
A



B

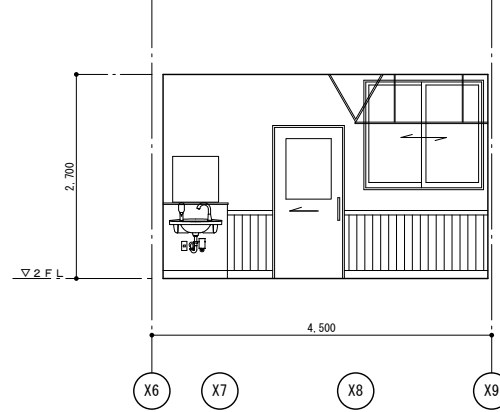


C

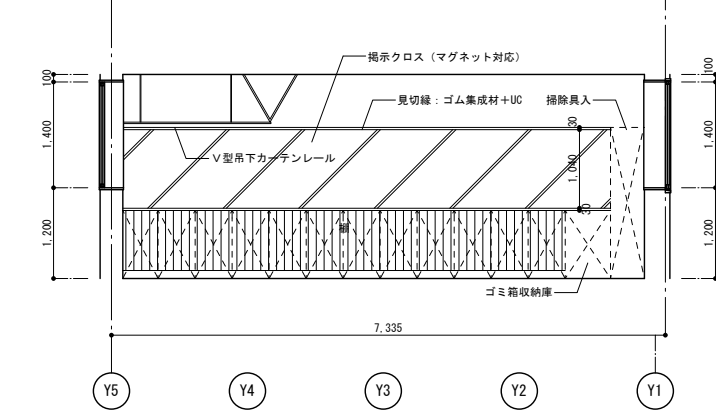


D

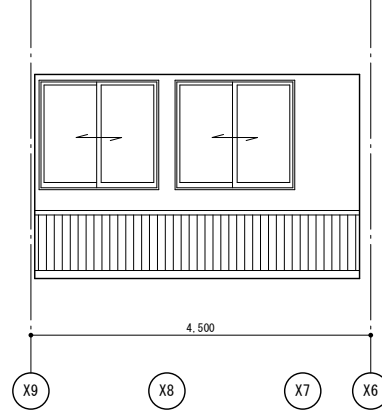
室名	2F:教室8
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリング t=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



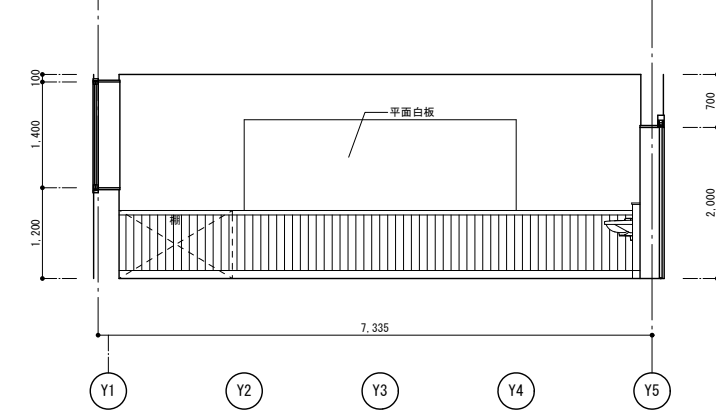
A



B

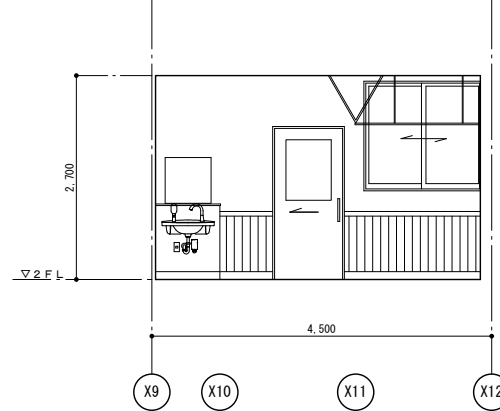


C

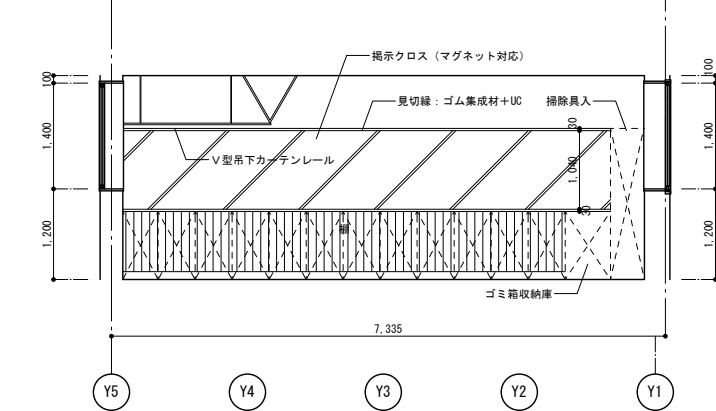


D

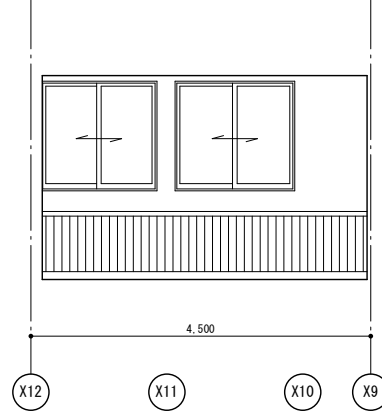
室名	2F:教室9
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリング t=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



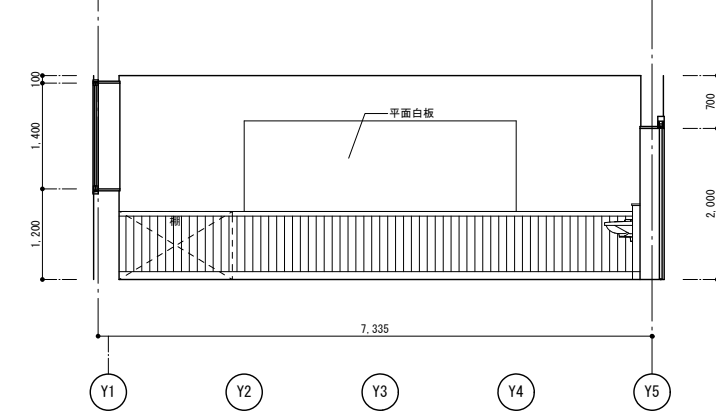
A



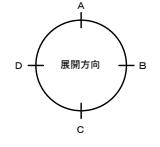
B



C



D



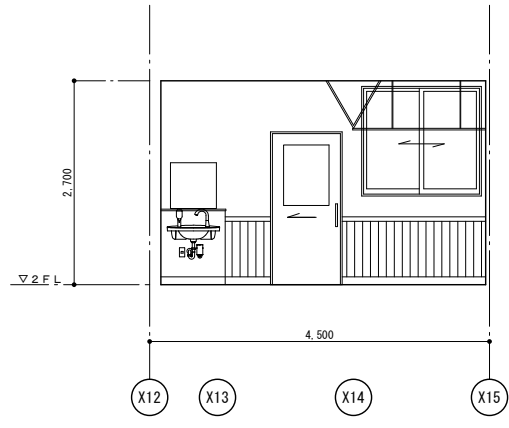
設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

工事	金立特別支援学校教室棟整備事業
図面	展開図(6)

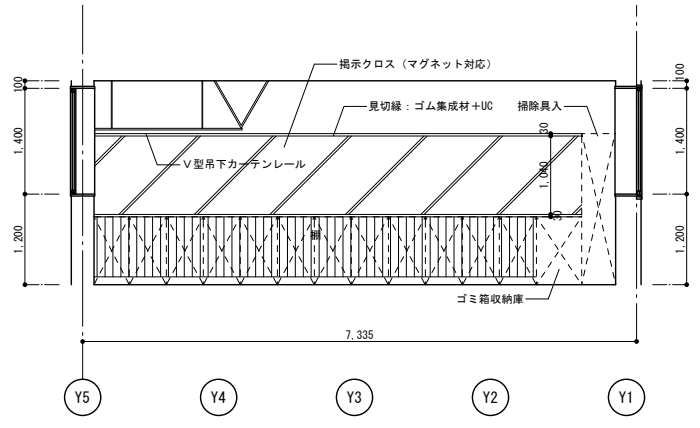
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
設計	年月日

佐賀県県土整備部建築住宅課
一級建築士登録第 号

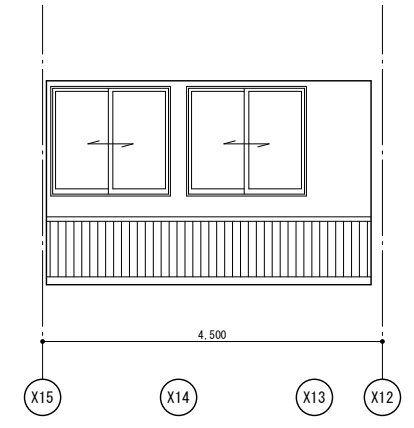
室名	2F:教室10
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリングt=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



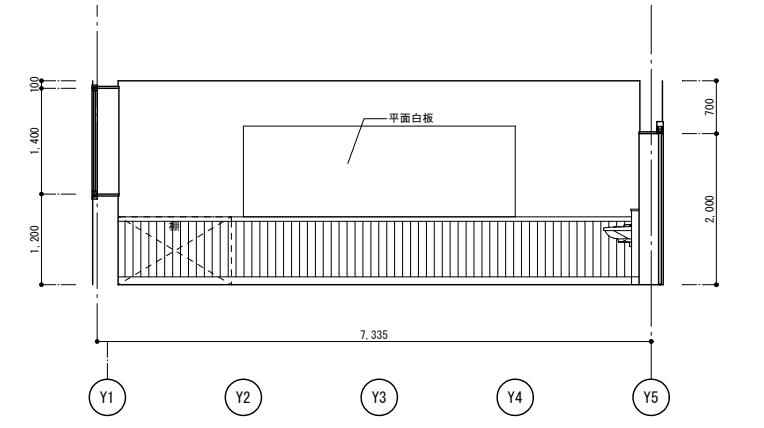
A



B

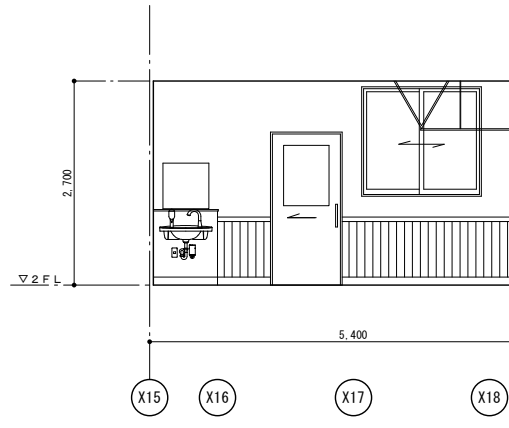


C

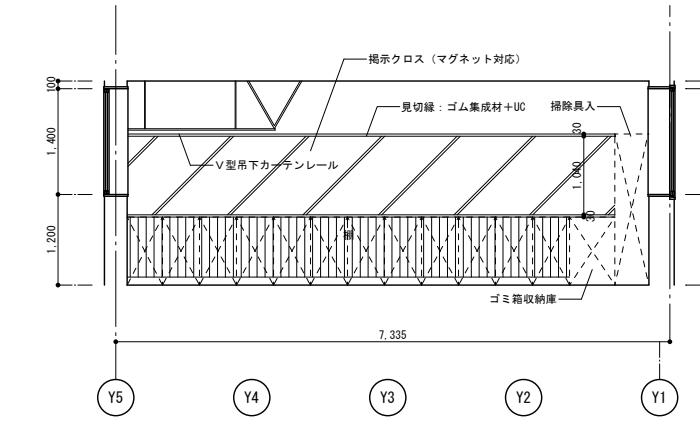


D

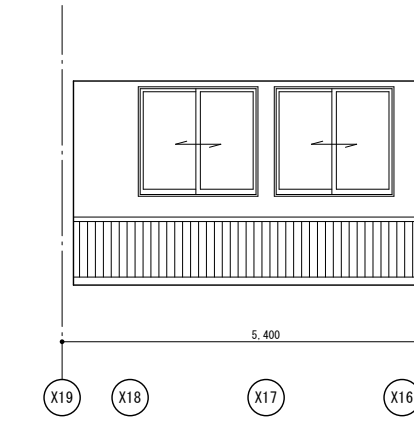
室名	2F:教室11
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリングt=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



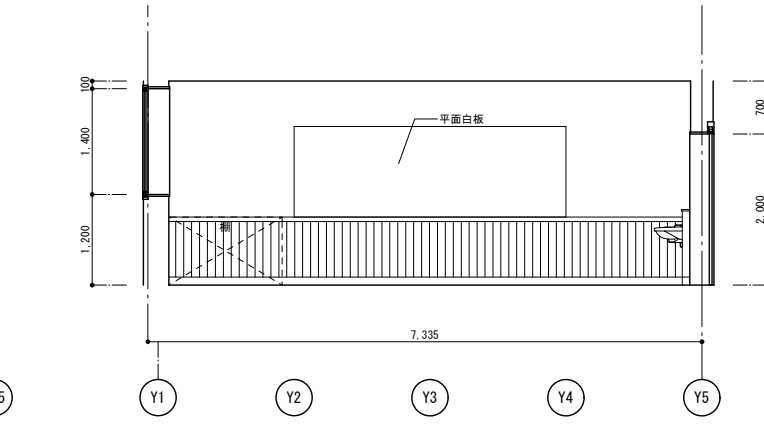
A



B

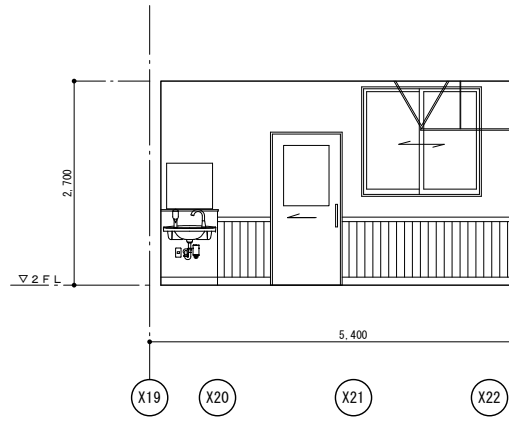


C

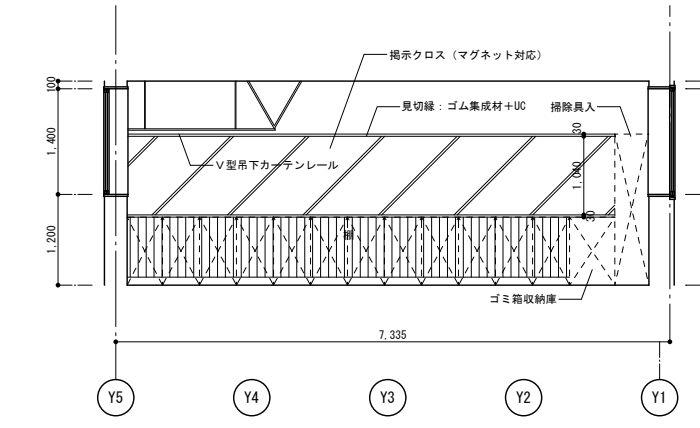


D

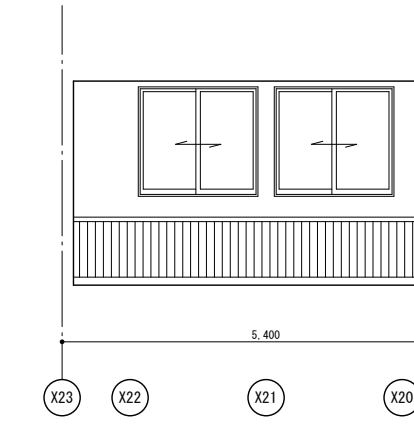
室名	2F:教室12
天井	GB-P9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	杉板 H=900
巾木	ゴム集成材H=105+UC
床	単層フローリングt=12
床一部	防滑性長尺塩ビシート t=2
備考	



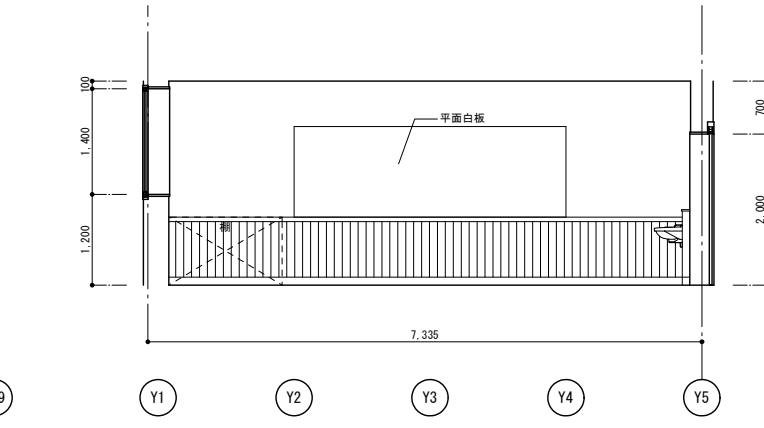
A



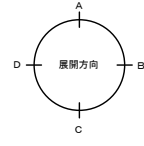
B



C



D

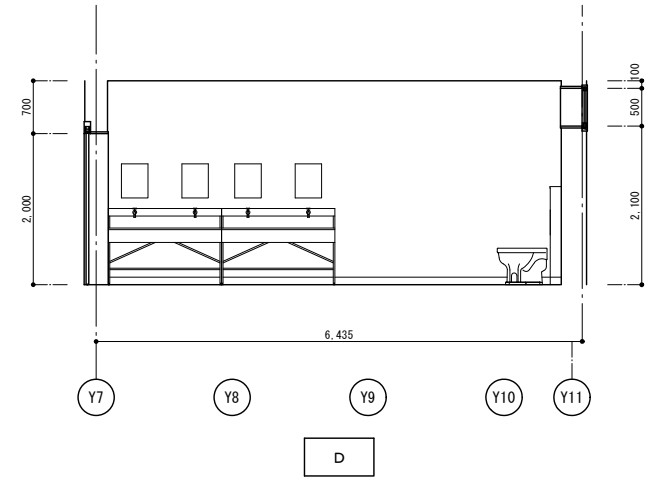
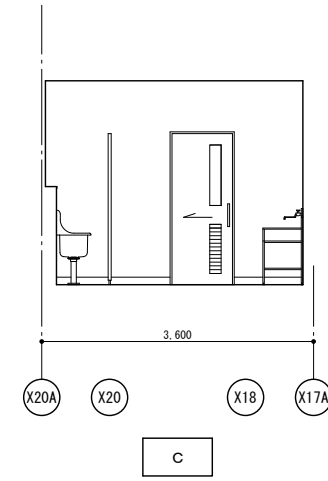
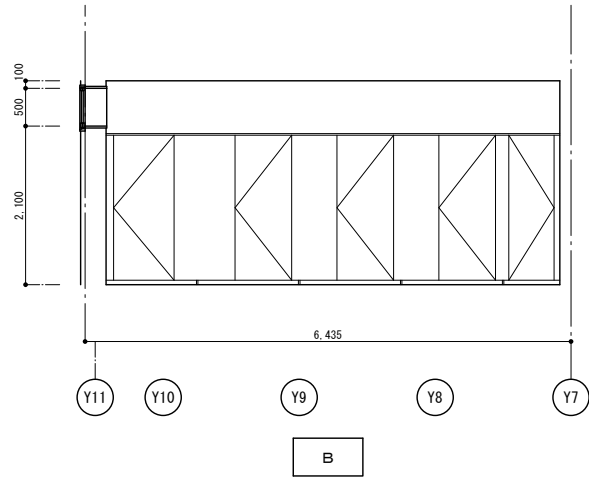
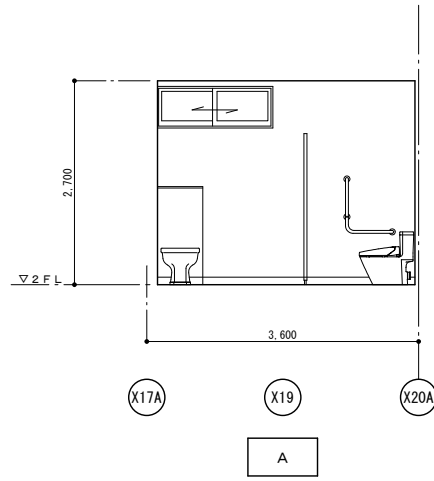


設計変更年月日	
1回	年 月 日
2回	年 月 日
3回	年 月 日

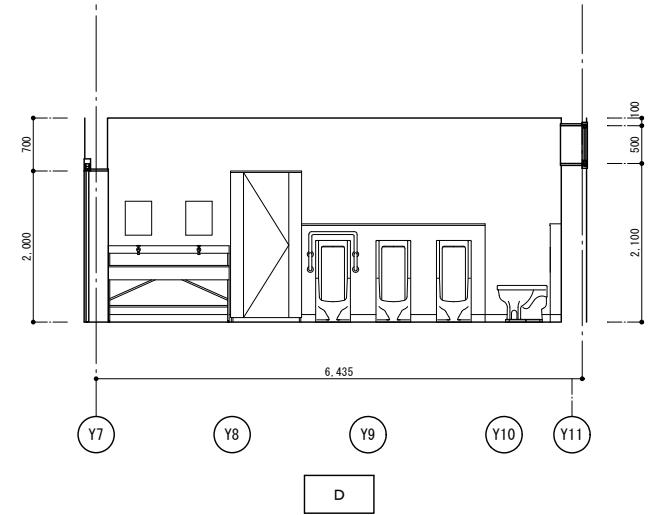
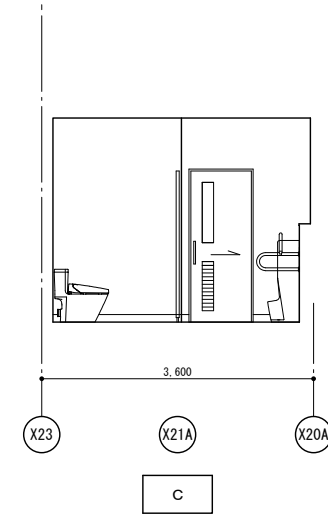
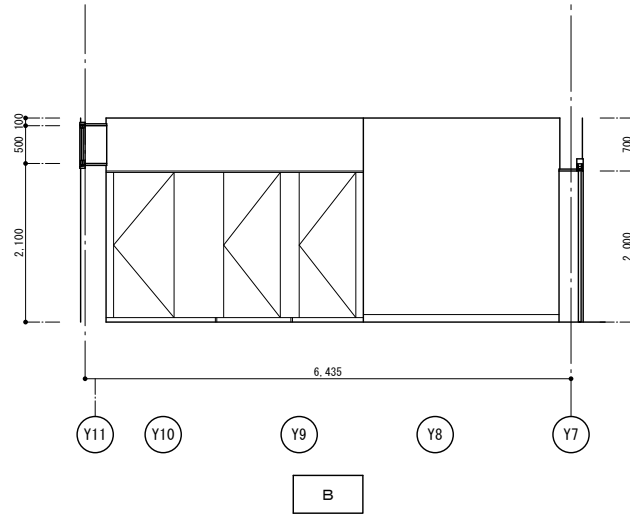
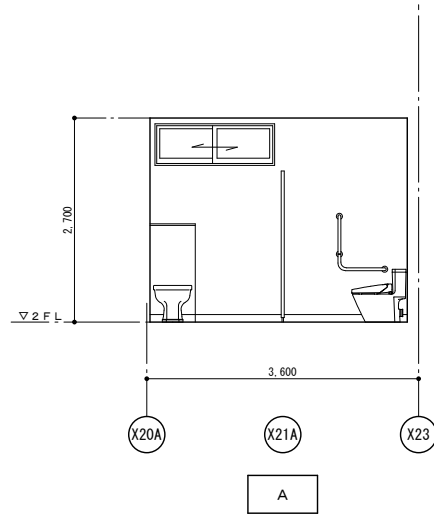
工務社	金立特別支援学校教室棟整備事業
図面	展開図(7)

縮尺	A1:1/50 A3:1/100
設計	年月日
佐賀県	佐賀県土木整備部建築住宅課
図番	A

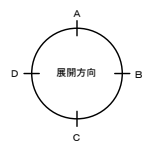
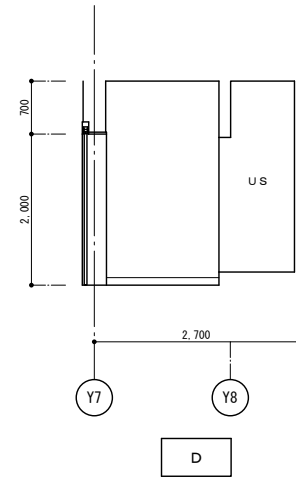
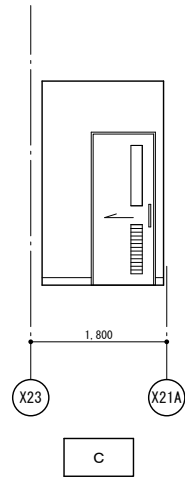
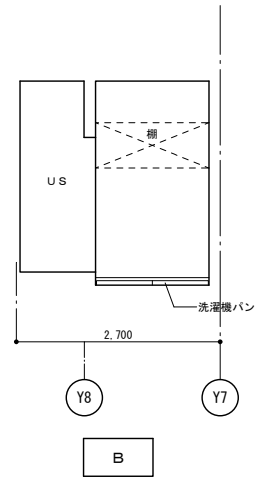
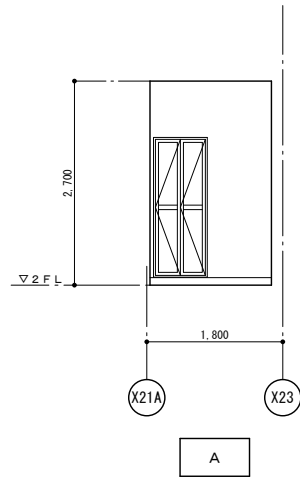
室名	2F:女子便所
天井	GB-D9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	-
巾木	シート立上 H=100
床	防滑性ビニル床シート t=2
備考	SUSシンク槽(既製品)



室名	2F:男子便所
天井	GB-D9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	-
巾木	シート立上 H=100
床	防滑性ビニル床シート t=2
備考	汚重石タイル、SUSシンク槽(既製品)

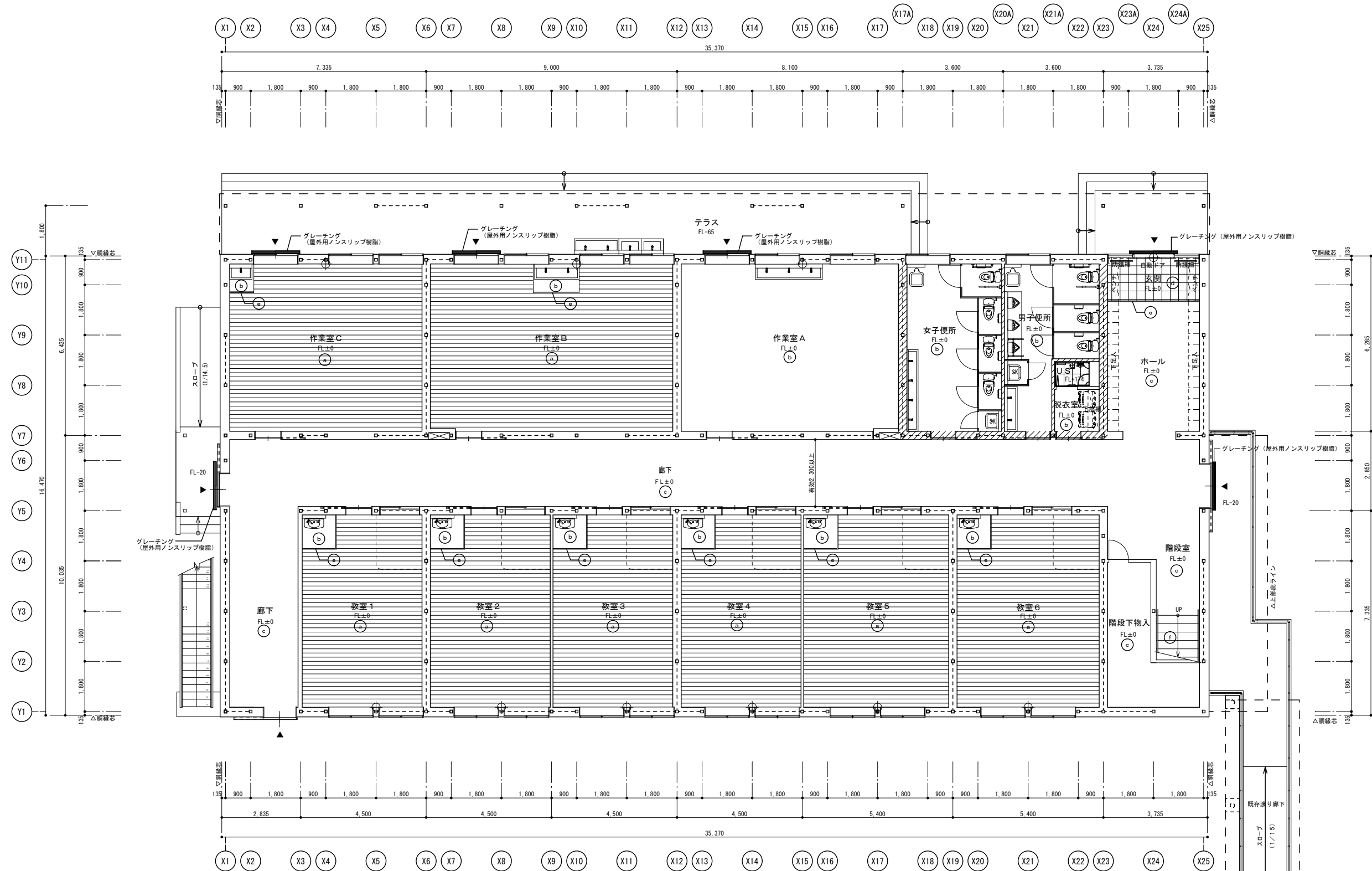


室名	2F:脱衣室
天井	GB-D9.5(天井)
廻縁	塩ビ製
壁	ビニルクロス
腰壁	-
巾木	シート立上 H=100
床	防滑性ビニル床シート t=2
備考	洗濯機パン



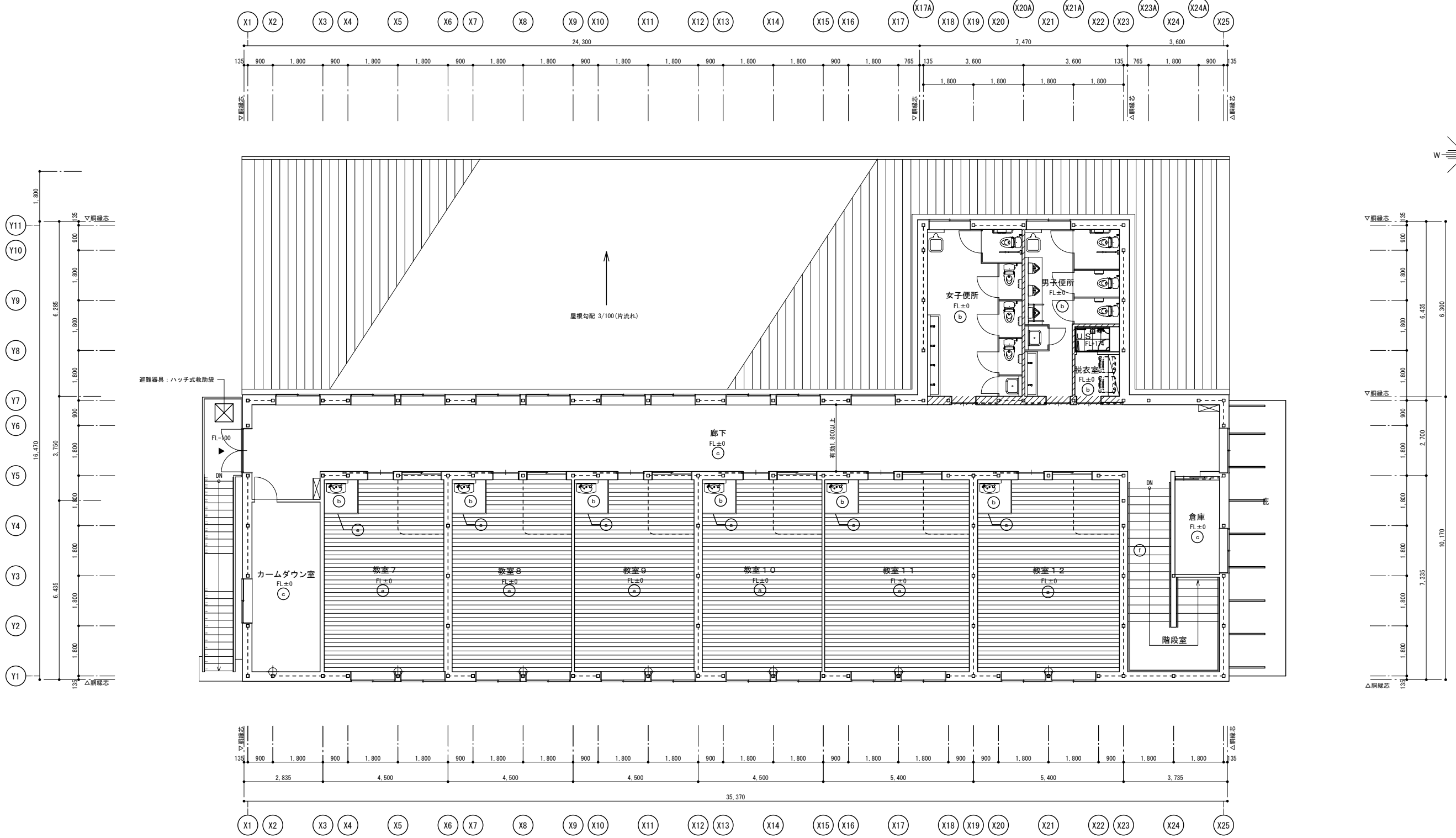
設計変更年月日	
1回	年月日
2回	年月日
3回	年月日

設計	金立特別支援学校教室棟整備事業	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	佐賀県県土整備部建築住宅課	図番	A
図名	展開図(8)	設計	年月日	一級建築士登録第 号		47



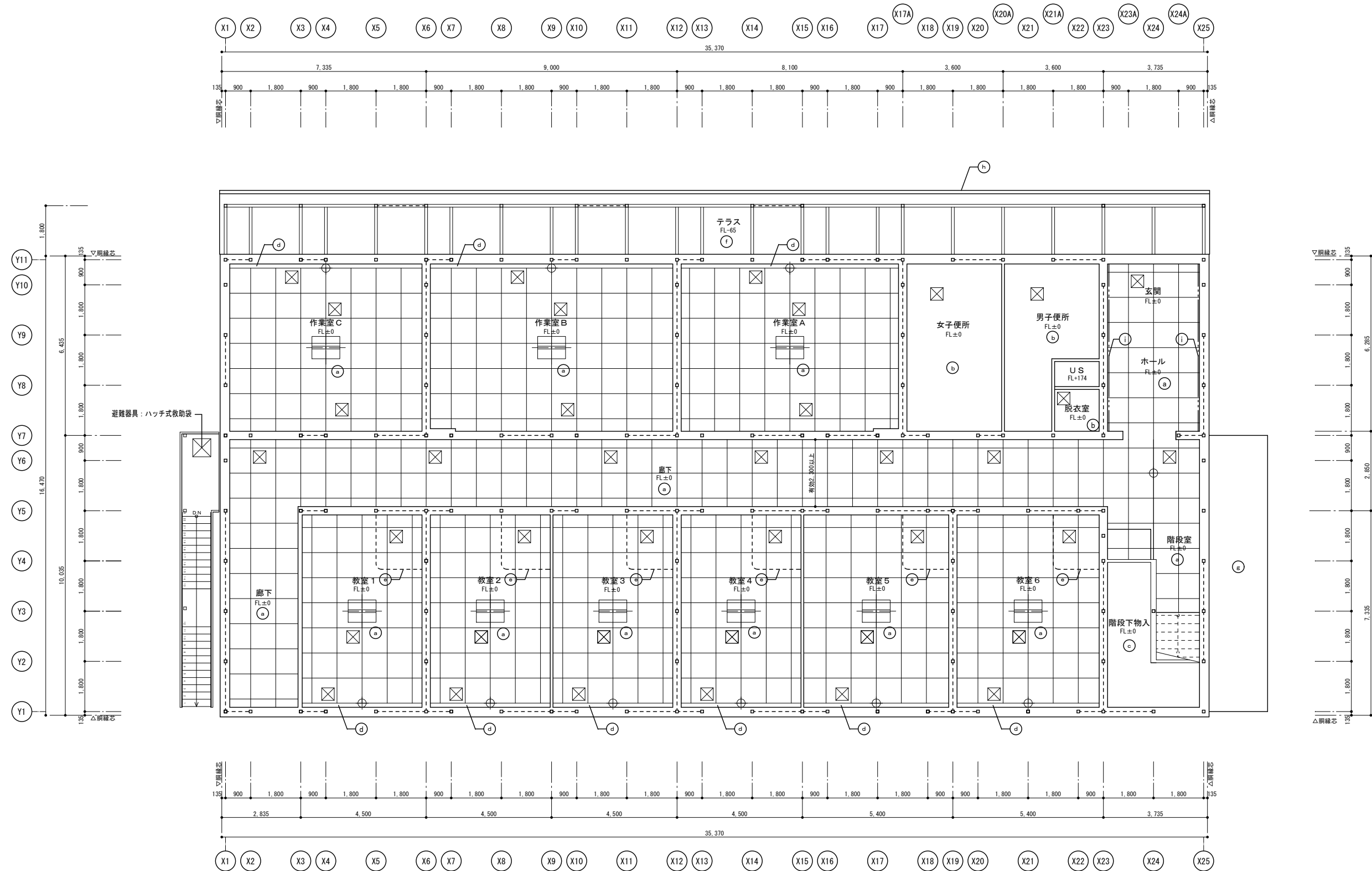
1階床伏図 S=1/75

記号	床仕上	凡例
a	単層フローリング t=12	床材割付ポイントを示す
b	防滑性ビニル床シート t=2	
c	長尺塩ビシート t=2	
d	磁器質300角タイル	
e	SUS床見切W30	
f	防滑性長尺塩ビシート t=2	



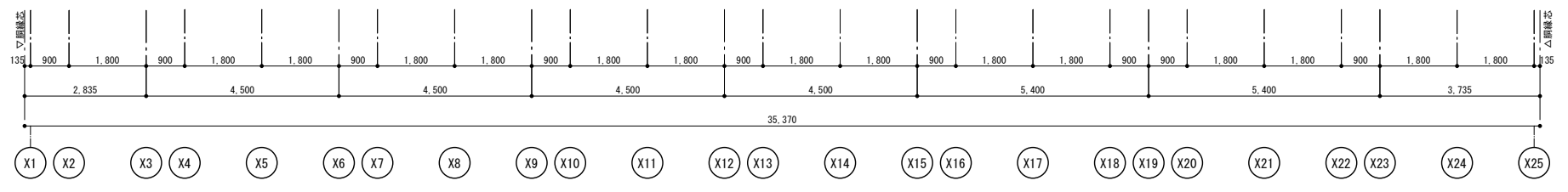
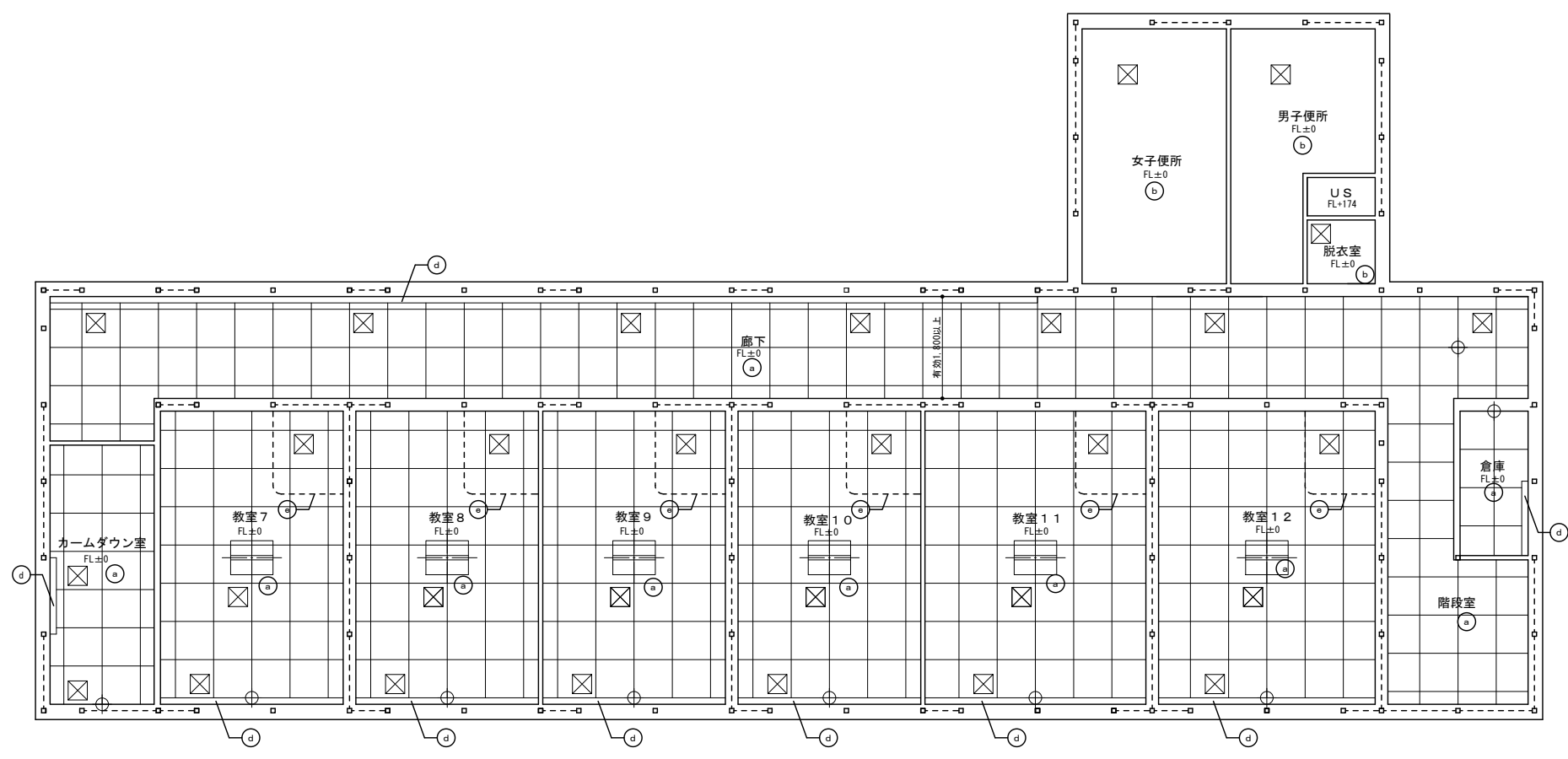
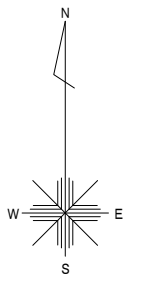
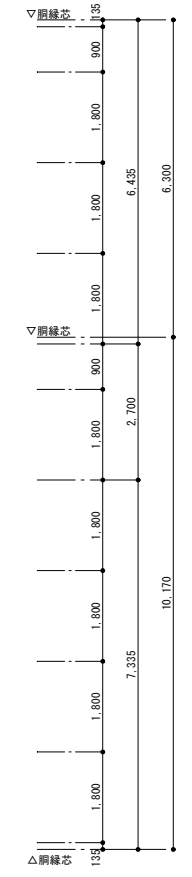
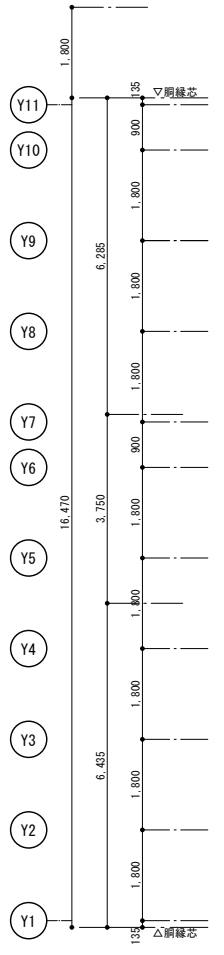
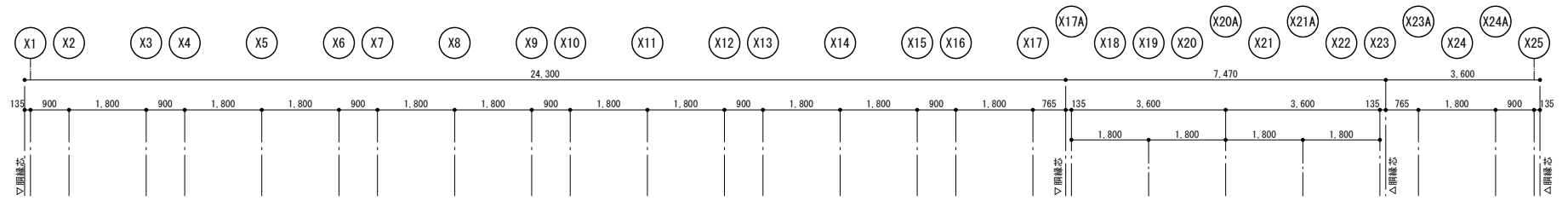
2階床伏図 S=1/75

記号	床仕上	凡例
a	単層フローリング t=12	⊕ 床材割付ポイントを示す
b	防滑性ビニル床シート t=2	
c	長尺塩ビシート t=2	
d	磁器質300角タイル	
e	SUS床見切W30	
f	防滑性長尺塩ビシート t=2	



1階天井伏図 S=1/75

記号	天井仕上	凡例
a	GB-P9.5 (天井):吸音用穴あき石膏ボード	天井材割付ポイントを示す
b	GB-D9.5 (天井):化粧石膏ボード	天井点検口:450×450を示す 38か所
c	SOP塗装(階段下表し)	天井開口補強 9か所
d	アルミ製カーテンボックス W150×H100	
e	天吊式カーテン レール+アルミ中型	
f	折板 梁表し	
g	片持式アルミ製既製品 D2100×L9900	
h	軒樋:カラ一場ビ製前上り165型	
i	ビクチャーレール	



2階天井伏図 S=1/75

記号	天井仕上	凡例
a	GB-P9.5 (天井): 吸音用穴あき石膏ボード	天井材割付ポイントを示す
b	GB-D9.5 (天井): 化粧石膏ボード	天井点検口: 450×450 を示す 30か所
c	SOP塗装 (階段下表)	天井開口補強 6か所
d	アルミ製カーテンボックス W150×H100	
e	天吊式カーテン レール+アルミ中型	
f	折板 梁表	
g	片持式アルミ製既製品 D2100×L9900	
h	軒樋: カラー塩ビ製前上り165型	

■ 雨水枡リスト

符号	型式	枡種類	呼び名	枡深さ	蓋種類	備考
UM(A)1	既製品	コナリト枡	500	570	グレーチング蓋	
UM(A)2	既製品	コナリト枡	500	1120	グレーチング蓋	
UM(B)3	既製品	コナリト枡	500	1080	グレーチング蓋	耐荷重タイプ
UM(A)4	既製品	コナリト枡	360	900	コナリト蓋	

※ 管底深さは参考値とする

■ 舗装凡例

記号	種別
	密粒度アスファルト舗装 (A-5-15)

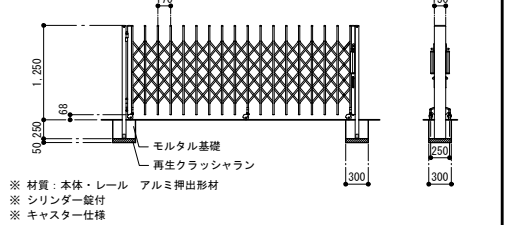
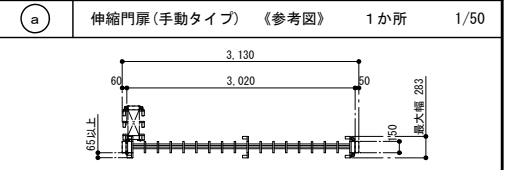
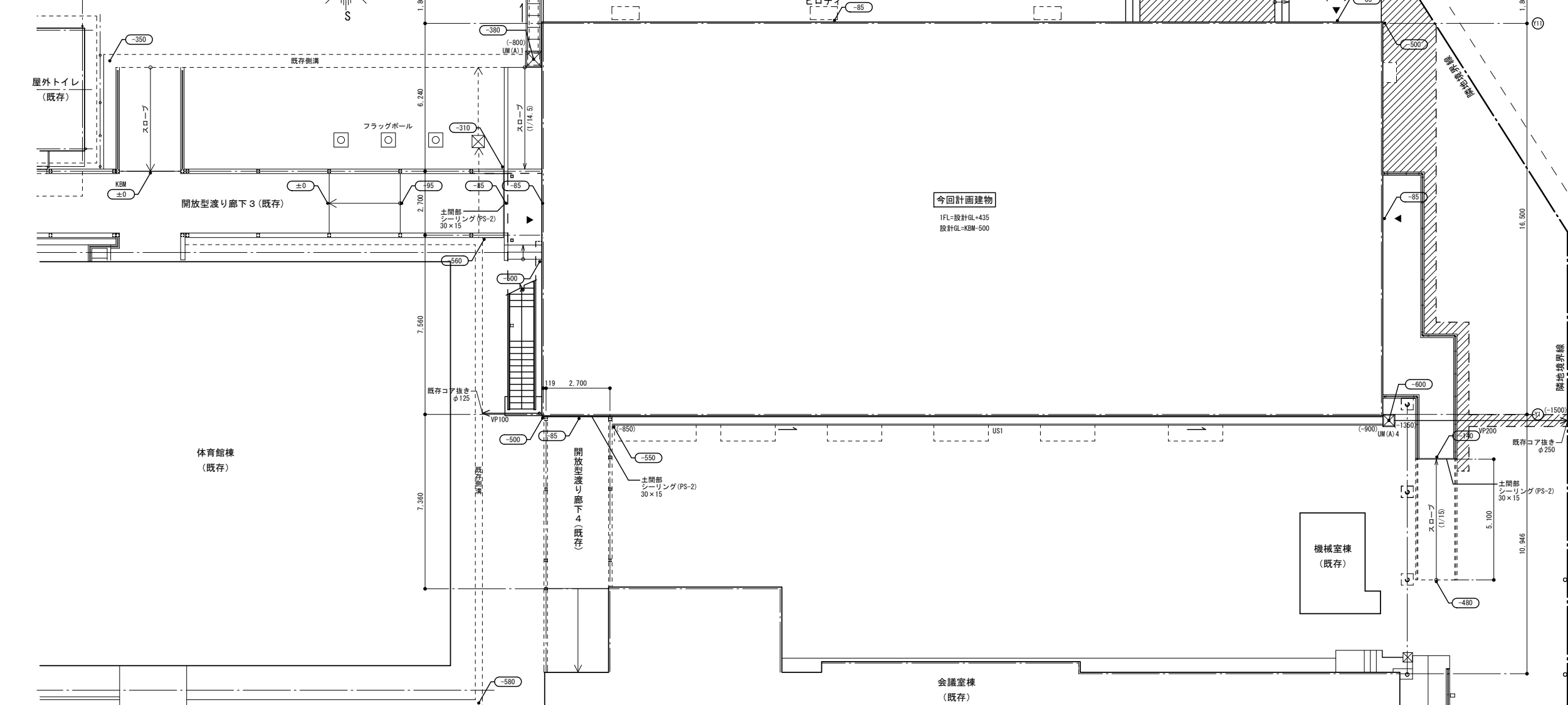
※ 舗装部以外は現場発生土敷均しとする

■ 工物リスト

記号	名称	仕様	対応
a	伸縮門扉(手動タイプ)	アルミ既製品 W3130×H1250 片引き キャスター仕様 ※詳細図参照	新規(基礎共)
b	メッシュフェンス	W1690×H1000 ブロック基礎:180角(2か所) 新日スチール工業(株) PCフェンス 同等品	新規(基礎共)

■ 雨水排水凡例

記号	仕上
US1	U型側溝 呼び名: 300B
US2	落し蓋式U型側溝 呼び名: 400
VP	硬質ポリ塩化ビニル管(厚肉管)
UM	雨水枡
	側溝排水勾配
(-500)	側溝の管底レベルを示す。(参考)



US1	U型側溝 呼び名: 300B L=32.6m	1/20	US2	落し蓋式U型側溝 呼び名: 400 L=25.1m	1/20	UM(A)	落し蓋式雨水枡 呼び名: 360/500	3か所	1/20	UM(B)	雨水枡(耐荷重タイプ) 呼び名: 500	1か所	1/20	VP	硬質ポリ塩化ビニル管(厚肉管)	1/20		密粒度アスファルト舗装	64.7㎡	1/10
-----	------------------------	------	-----	---------------------------	------	-------	----------------------	-----	------	-------	----------------------	-----	------	----	-----------------	------	--	-------------	-------	------

